



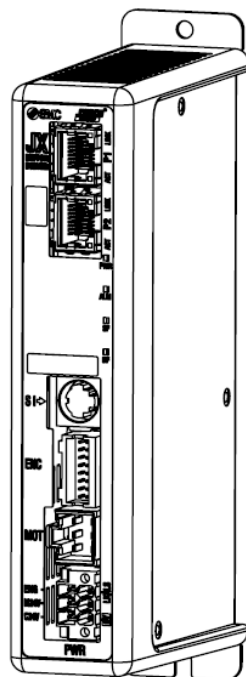
取扱説明書

製品名称

PROFINET 直接入力タイプ 高タクト対応 ステップモータコントローラ (サーボ DC24V)

型式 / シリーズ / 品番

JXCPH



SMC株式会社

1. 安全上のご注意	4
2. 製品概要	6
2.1 製品特長	6
2.2 型式表示方法	8
2.3 製品構成	9
2.4 手順(アクチュエータを動作させるまで)	10
(1) 梱包内容の確認	10
(2) コントローラ取付	10
(3) コントローラ配線・接続	10
(4) 電源投入	10
(5) コンフィグレーション	11
(6) 設定データ(運転パターン)の設定	11
(7) 試運転	11
3. 製品仕様	12
3.1 仕様	12
3.2 各部詳細	13
3.3 外形寸法図	14
3.4 取付方法	16
(1) 取付方法	16
(2) アース線の取付	16
(3) 取付位置	17
4. 初期設定方法	18
4.1 GSDML ファイルおよびアイコン	18
4.2 GSDML ファイルのインストール	18
4.3 PROFINET ネットワークへの JXCPH コントローラ追加	19
4.4 接続する JXCPH コントローラのデバイスネーム登録	20
4.5 Assign Device Name の方法	20
5. 外部接続図	22
5.1 PWR: 電源コネクタ	22
5.2 MOT: モータ動力コネクタ、ENC: エンコーダコネクタ	22
5.3 SI: シリアル I/O コネクタ	22
(1) ティーチングボックス接続の場合	22
(2) パソコン接続の場合	23
5.4 P1、P2: PROFINET 通信コネクタ	23
6. PWR: 電源プラグ詳細	24
6.1 電源プラグ仕様	24
6.2 電線仕様	24
6.3 電源プラグの配線	25
(1) 電源部の配線(C24V,M24V,0V)	25
(2) 停止スイッチの配線(EMG)	25
(3) ロック強制解除スイッチの配線(LK RLS)	25
6.4 停止回路の配線	26
(1) 停止(推奨回路例)	26
(2) 停止(リレー接点(1))	27
(3) モータ動力電源の遮断(リレー接点(2))	28

7. LED 表示詳細	29
7.1 LED 表示内容	29
7.2 コントローラ状態とLED 表示内容	29
8. 運転方法	30
8.1 概要	30
8.2 ステップ No.指示運転機能	30
8.3 位置/速度モニタ機能	30
8.4 数値指示運転機能	30
9. メモリマップ詳細	31
9.1 メモリ割付	31
(1) 入力データエリアマッピング	31
(2) 上位機器における入力エリア詳細(コントローラから上位機器)	32
(3) 出力エリアマッピング	36
(4) 上位機器における出力エリア詳細(上位機器からコントローラ)	37
(5) レコードデータ	42
10. 設定データ入力	43
10.1 ステップデータ	43
10.2 基本パラメータ	46
10.3 原点復帰パラメータ	48
10.4 拡張機能	49
11. 運転説明	50
11.1 原点復帰	50
11.2 位置決め運転	51
11.3 押当て運転	51
(1) 押当て動作が成功の時	51
(2) 押当て動作が失敗した時(空振り)	51
(3) 押当て動作完了後にワークが動いてしまう場合	52
11.4 コントローラの入力信号に対する応答時間について	53
11.5 運転中の中断方法について	53
12. 運転(例)	54
12.1 位置決め運転	54
12.2 押当て運転	55
13. 運転指示方法	56
13.1 運転指示方法概要	56
13.2 バッテリレスアブソリュートエンコーダの電源立ち上げ手順	56
[1] 立ち上げ手順概要	56
[2] 初めて電源を投入する場合	57
[3] 電源復帰(原点復帰済みの場合)	58
(4) アラーム(グループ E)を電源遮断によりアラーム解除した場合	59
13.3 インクリメンタルエンコーダの電源立ち上げ手順	60
13.4 ステップ No.指示運転機能の運転手順	61
[2]位置決め運転	61
[3]押当て運転	62
[4]一時停止(HOLD)	62
[5]リセット	63
[6]停止	63
[7]エリア出力	64
13.5 数値指示運転機能の運転手順	65
13.6 数値指示運転機能の補足説明	66

14. オプション	67
14.1 アクチュエータケーブル[5m 以下]	67
[1] アクチュエータケーブル	67
[2] アクチュエータケーブル(センサ・ロック対応)	68
14.2 インクリメンタルエンコーダ対応ケーブル	69
[1] アクチュエータケーブル[5m以下]	69
[2] アクチュエータケーブル[8~20m]	69
[3] アクチュエータケーブル(センサ・ロック対応)[8~20m]	70
[4] アクチュエータケーブル(センサ・ロック対応)[8~20m]	70
14.3 コントローラ設定用通信ケーブル	71
14.4 電源プラグ	71
14.5 ティーチングボックス	72
14.6 ノイズフィルタセット	73
15. モータ制御に関するアラーム検出詳細	74
15.1 アラームグループのリモート I/O 信号出力	74
15.2 PROFINET 診断機能	75
15.3 アラーム内容・対策	76
16. 配線・ケーブルのご注意/共通注意事項	83
17. 電動アクチュエータ/共通注意事項	84
17.1 設計上のご注意	84
17.2 取付	85
17.3 使用上のご注意	86
17.4 使用環境	87
17.5 保守・点検のご注意	87
17.6 ロック付アクチュエータのご注意	88
18. コントローラおよび周辺機器/個別注意事項	89
18.1 設計上のご注意/選定	89
18.2 取扱い上のご注意	90
18.3 取付	91
18.4 配線	91
18.5 電源	92
18.6 接地	92
18.7 保守点検	92
19. バッテリレスアブソリュートエンコーダ/個別注意事項	93
20. トラブルシューティング	95
21. 送受信データの取扱いについて	101
22. 用語集	102



JXCPH/コントローラ

1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格(ISO / IEC)、日本工業規格(JIS)*1) およびその他の安全法規*2)に加えて、必ず守ってください。

*1) ISO 4414: Pneumatic fluid power — General rules relating to systems

ISO 4413: Hydraulic fluid power — General rules relating to systems

IEC 60204-1: Safety of machinery — Electrical equipment of machines (Part 1: General requirements)

ISO 10218: Manipulating industrial robots—Safety

JIS B 8370: 空気圧システム通則

JIS B 8361: 油圧システム通則

JIS B 9960-1: 機械類の安全性-機械の電気装置(第1部: 一般要求事項)

JIS B 8433: 産業用マニピュレーティングロボット—安全性 など

*2) 労働安全衛生法 など



注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。



警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



危険

切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



警告

- ①当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。
このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。
常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。
- ②当社製品は、十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。
機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- ③安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。
 1. 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
 2. 製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解してから行ってください。
 3. 機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策への格別のご配慮をいただくと共に、あらかじめ当社へご相談くださるようお願い致します。
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
 2. 原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、医療機器、飲料・食料に触れる機器、燃焼装置、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログの標準仕様に合わない用途の場合。
 3. 人や財産に大きな影響をおよぼすことが予想され、特に安全が要求される用途への使用。
 4. インターロック回路に使用する場合は、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの2重インターロック方式にしてください。また、定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。



JXCPH/コントローラ

1. 安全上のご注意

⚠ 注意

当社の製品は、製造業向けとして提供しています。

ここに掲載されている当社の製品は、主に製造業を目的とした平和利用向けに提供しています。

製造業以外でのご使用を検討される場合には、当社にご相談いただき必要に応じて仕様書の取り交わし、契約などを行ってください。

ご不明な点などがありましたら、当社最寄りの営業拠点にお問い合わせ願います。

保証および免責事項/適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の[保証および免責事項]、[適合用途の条件]を適用させていただきます。

下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

①当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。^{*3)}

また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。

②保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換部品の提供を行わせていただきます。

なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。

③その他製品個別の保証および免責事項も参照、理解の上、ご使用ください。

^{*3)} 真空パッドは、使用開始から1年以内の保証期間を適用できません。

真空パッドは消耗部品であり、製品保証期間は納入後1年です。

ただし、保証期間内であっても、真空パッドを使用したことによる摩耗、またはゴム材質の劣化が原因の場合には、製品保証の適用範囲外となります。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。

⚠ 注意

当社製品は、法定計量器として使用できません。

当社が製造、販売している製品は、各国計量法に関連した型式認証試験や検定などを受けた計量器、計測器ではありません。

このため、当社製品は各国計量法で定められた取引もしくは証明などを目的とした用途では使用できません。

2. 製品概要

2.1 製品特長

コントローラの主な機能を下記に示します。

- PROFINET と接続可能

PROFINET に接続して、PROFINET 上から操作、および情報の読出し・書込みが可能です。

- アクチュエータ制御

サーボ制御により、アクチュエータに対して位置決め運転と速度・推力指定運転を行うことができます。

- 推力指定運転

アクチュエータの把持力や押当力を制御することができます。

- 電源分離入力

電源入力は、モータ動力電源と制御電源の 2 系統に分離されており、動力電源が OFF している間も制御電源が ON の場合は、エンコーダの位置情報を失うことなく、PROFINET 通信、およびシリアル通信が可能です。

- 原点復帰の自動シーケンス機能

PROFINET 上から原点復帰指示の 1 信号で原点復帰可能です。

- アラーム検出機能

異常状態を検出し、PROFINET 通信、およびシリアル通信から異常状態を外部へ出力します。また、アラームはコントローラ内部メモリに履歴を保存します。

- ステップデータ指示及び数値指示により位置決め/押当て運転可能

PROFINET 上から、ステップデータ指示もしくは数値指示によりアクチュエータを運転することが可能です。ステップデータ指示運転では、DRIVE 信号や INP 信号等の入出力ポートに相当するメモリを操作して動作指示します。アクチュエータは、指定したステップデータの運転パターンに従って動作します。数値指示運転では、位置や速度を数値で指定して動作指示します。アクチュエータは、数値で指定した位置や速度に従って動作します。

- エリア出力機能

アクチュエータの位置がステップデータ“エリア 1”、“エリア 2”によって指定される位置範囲内に存在する時、PROFINET 上でコントローラのエリア出力端子に相当するメモリが ON します。

- データ入力手段

PROFINET 通信上からの操作、またはコントローラ設定ソフトをインストールしたパソコンかティーチングボックスとのシリアル通信により、各パラメータの設定や状態のモニタ、テスト運転、アラームリセットを行うことができます。

- イーजीモードとノーマルモード

コントローラ設定ソフトとティーチングボックスには、速度・位置などを設定するだけで簡単に動作させることができるイーजीモードと、イーजीモードよりさらに細かく設定できるノーマルモードが選択できます。

- バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応

バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応電動アクチュエータを使用時、絶対位置を検出できるため、電源投入時からアクチュエータの位置が把握でき、それにより、原点復帰を行わずに運転が可能となっています。

- 高タクト対応

最大加速度、最高速度の向上により、装置のタクトタイムの向上が実現できます。

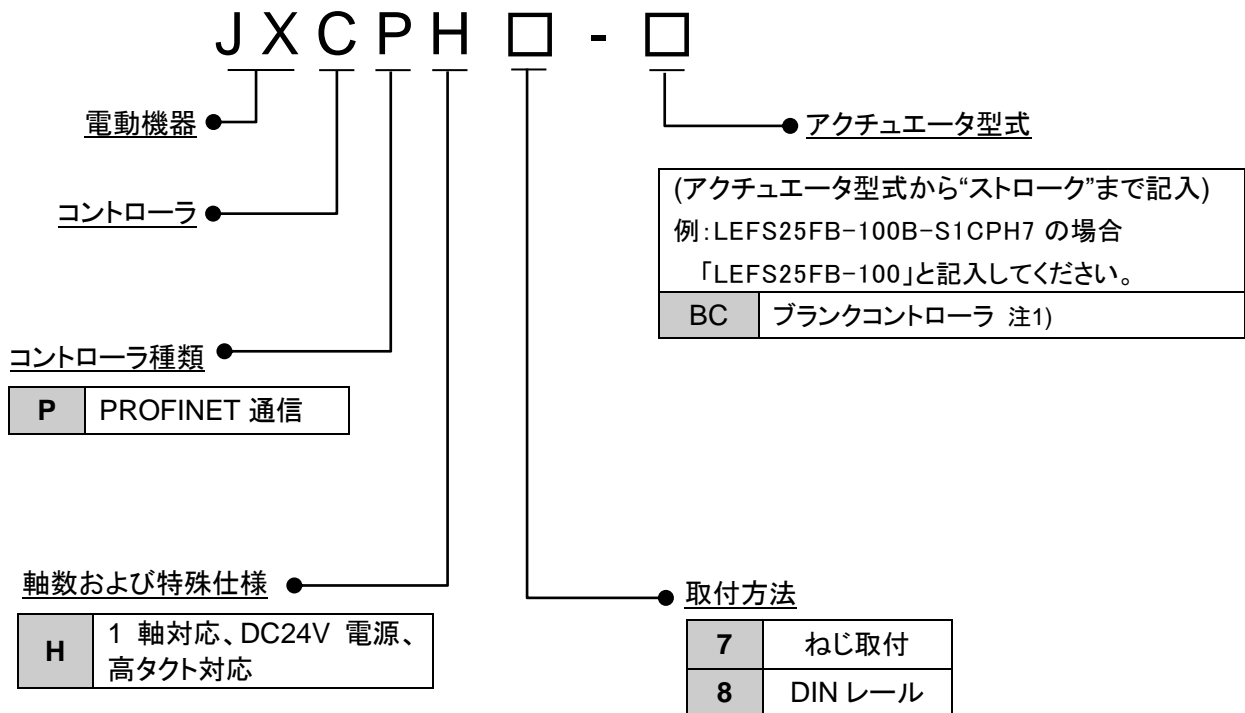
注意

実際に装置を立ち上げる際や故障が生じた時は、本書以外のアクチュエータ、ティーチングボックス等の説明書も併せて参照ください。

* 本書は、必要に応じてすぐ再読できる場所に保管してください。

2.2 型式表示方法

型式表示方法を下記に示します。



注 1)ブランクコントローラ仕様(BC)のコントローラは、アクチュエータ固有のデータが書き込まれていない製品です。本製品に使用するにあたり、専用ソフトウェア(ACT Controller2, JXC-BCW)により、組合せで使用するアクチュエータ固有のデータを書き込んでいただく必要があります。

⚠ 注意

コントローラのみでも、電動アクチュエータ仕様を設定出荷しています。
高タクト対応コントローラには、専用電動アクチュエータをご接続ください。

コントローラと電動アクチュエータの組合せが正しいか必ずご確認ください
(使用前に必ず下記をご確認ください)
・“アクチュエータ”と“コントローラ記載アクチュエータ品番”の一致

電動アクチュエータ



LEFS25FB-100

コントローラ



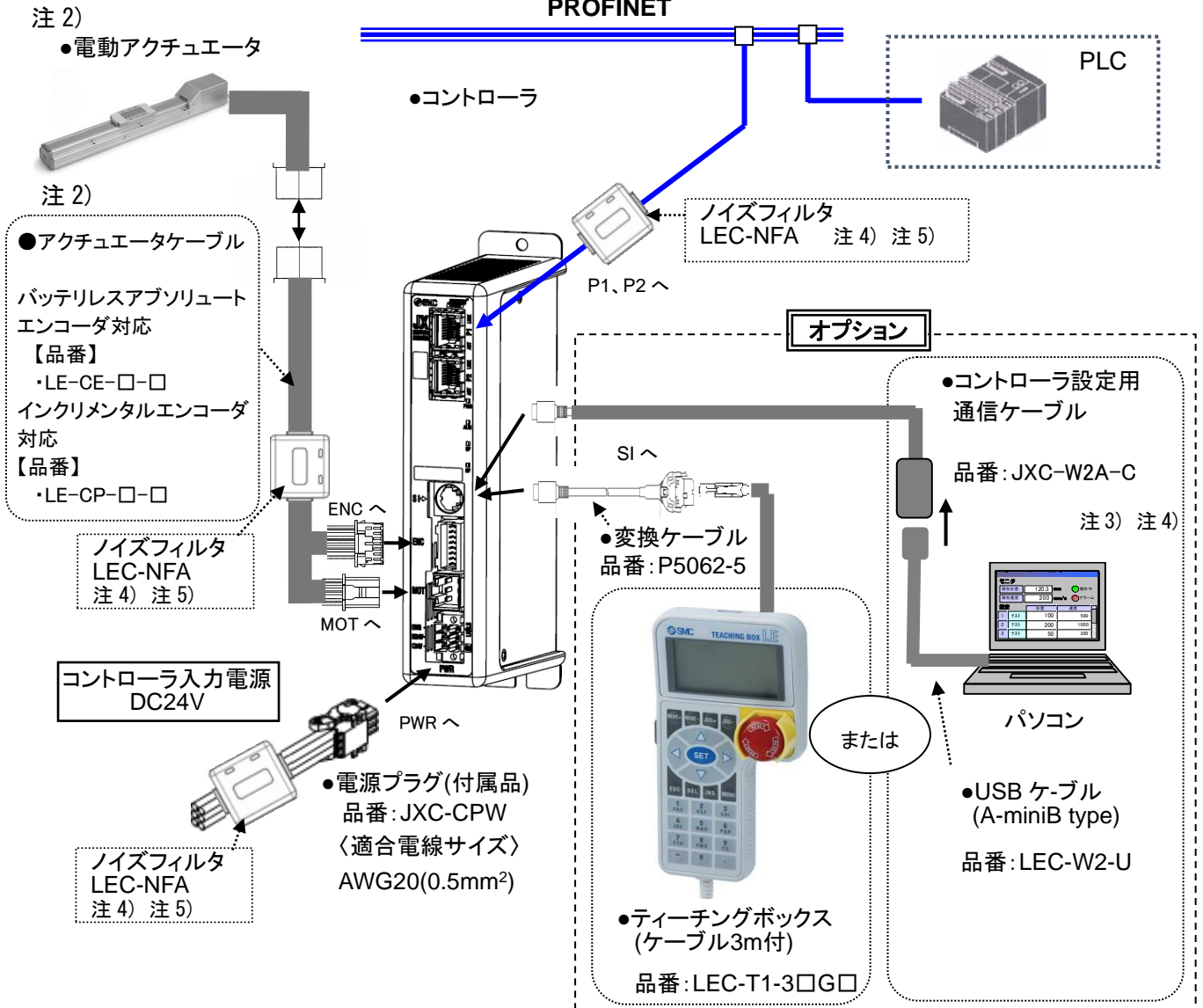
LEFS25FB-100

⚠ 注意

アクチュエータの<速度一般送質量グラフ>を確認する場合、カタログを参照してください。

2.3 製品構成

コントローラの製品構成例を下記に示します。注 1)



注 1) 上記構成は CE マーキング試験(適合規格は SMC ホームページより自己宣言書参照お願いします。)に合格した際の構成になっています。

注 2) 電動アクチュエータのセット品番にてご発注いただいた場合のみ同梱されています。

注 3) コントローラ設定ソフトは、最新のバージョンをご使用ください。また、コントローラ設定ソフトは、当社ホームページよりダウンロード願います。https://www.smcworld.com

注 4) オプション製品です。

注 5) ノイズフィルタの取付け方法は [14.6 ノイズフィルタセット](#)を参照ください。

警告

配線方法については、[5. 外部接続図](#)をご確認ください。
配線・ケーブルを取扱う際には、[16. 配線・ケーブルのご注意](#)をご確認ください。

パソコンとコントローラ設定用通信ケーブルは、USBケーブルで接続してください。
変換ケーブルには、ティーチングボックス以外の機器は接続しないでください。
また、ティーチングボックスはパソコンに直接接続しないでください。
指定機器以外との接続や誤接続をした場合、コントローラやパソコンが発火・破損する可能性があります。

2.4 手順(アクチュエータを動作させるまで)

本製品の初めてのご使用時は、以下の手順を参照しコントローラの設置・配線・設定・動作等を行ってください。

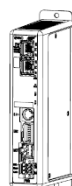
(1) 梱包内容の確認

梱包を開封されましたら、貴社が注文されたコントローラであるか銘板の記載内容や付属品の数量等をご確認ください。万が一、足りない物や破損している物があるときは、お手数ですが販売店までご連絡ください。

品名	数量
コントローラ (JXCPH□-□)	1台
電源プラグ (JXC-CPW)	1個
アクチュエータ *1	1台

*1 アクチュエータのセット品番にてご注文頂いたのみ同梱されています。

コントローラ



電源プラグ
(JXC-CPW)



オプション

コントローラ設定用
通信ケーブル



USB ケーブル



ティーチングボックス
(変換ケーブル必要)



アクチュエータケーブル



【オプション製品】

- コントローラ設定用通信ケーブル(型式品番:JXC-W2A-C)
- USB ケーブル(型式品番:LEC-W2-U)
- ティーチングボックス(型式品番:LEC-T1-3□G□)
(ティーチングボックスと JXC コントローラを接続時のみ、
変換ケーブル P5062-5 が必要です。)

(2) コントローラ取付

コントローラの取付方法に関しましては、**3.4 取付方法**を参照ください。

(3) コントローラ配線・接続

コントローラのコネクタ部分にケーブル等を接続します。

各コネクタの配線に関しましては、**5. 外部接続図**を参照ください。

(4) 電源投入

DC24V 電源を供給します。

電源投入時にコントローラ正面の LED が下表のように点灯していれば正常です。

名称	LED 状態	状態
PWR	緑点灯	電源投入
ALM	消灯	アラームなし

各 LED ランプの説明は **7. LED 表示詳細**を参照ください。

もし、コントローラ(JXC)正面の LED[ALM]が赤色に点灯すればアラームが発生しています。

⚠ 注意

アラームが発生した場合

PROFINET 上の該当するメモリを参照する、またはパソコン、ティーチングボックスを SI シリアル I/O コネクタに接続してアラーム内容を確認し、**15. モータ制御に関するアラーム検出詳細**を参照して原因を取除いてください。

* アラームの確認方法に関しましては、コントローラ設定ソフトまたはティーチングボックスの取扱説明書を参照ください。

(5) コンフィグレーション

下記について設定する必要があります。

- ・GSDML ファイルとアイコンのインストール
- ・PROFINET ネットワークへのデバイス(JXCPH コントローラ)追加
- ・追加デバイス(JXCPH コントローラ)のデバイス名と IP アドレスの設定
- ・接続する JXCPH コントローラのデバイス名設定

PLC と JXCPH コントローラの設定が正しく完了して PROFINET 通信が確立すると、コントローラ正面の LED が下表のように点灯します。

名称	LED 状態	状態
PWR	緑点灯	電源投入
ALM	消灯	アラームなし
SF	消灯	コントローラ正常動作中
BF	消灯	PROFINET コネクション確立中

各 LED ランプの説明は **7. LED 表示詳細** を参照ください。

コントローラ(JXC)正面の LED[BF]が赤点滅または赤点灯の場合は、PLC とコントローラの通信が確立していません。

⚠ 注意

PLC とコントローラの通信が確立しない場合

19. トラブルシューティング を参照して原因を取除いてください。

また、PLC とコントローラの通信速度、局情報等が正しく設定されているかを確認してください。

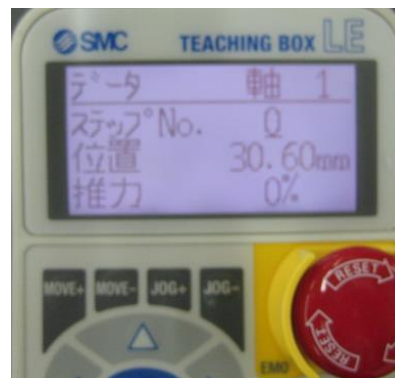
(6) 設定データ(運転パターン)の設定

パソコン(コントローラ設定ソフトを使用)、またはティーチングボックスにて、運転パターン(ステップデータ、基本パラメータ、原点復帰パラメータ)で位置や速度等を設定してください。

【パソコン(ノーマルモード)】



【ティーチングボックス】



設定方法に関しては、コントローラ設定ソフト、またはティーチングボックスの取扱説明書を参照ください。

(7) 試運転

メモリの割付については、**9. メモリマップ詳細** を参照ください。

実際に、PLC から信号を入力し動作を確認します。運転の操作方法に関しては、**13. 運転指示方法** を参照ください。

3. 製品仕様

3.1 仕様

本製品の基本仕様を下記に示します。

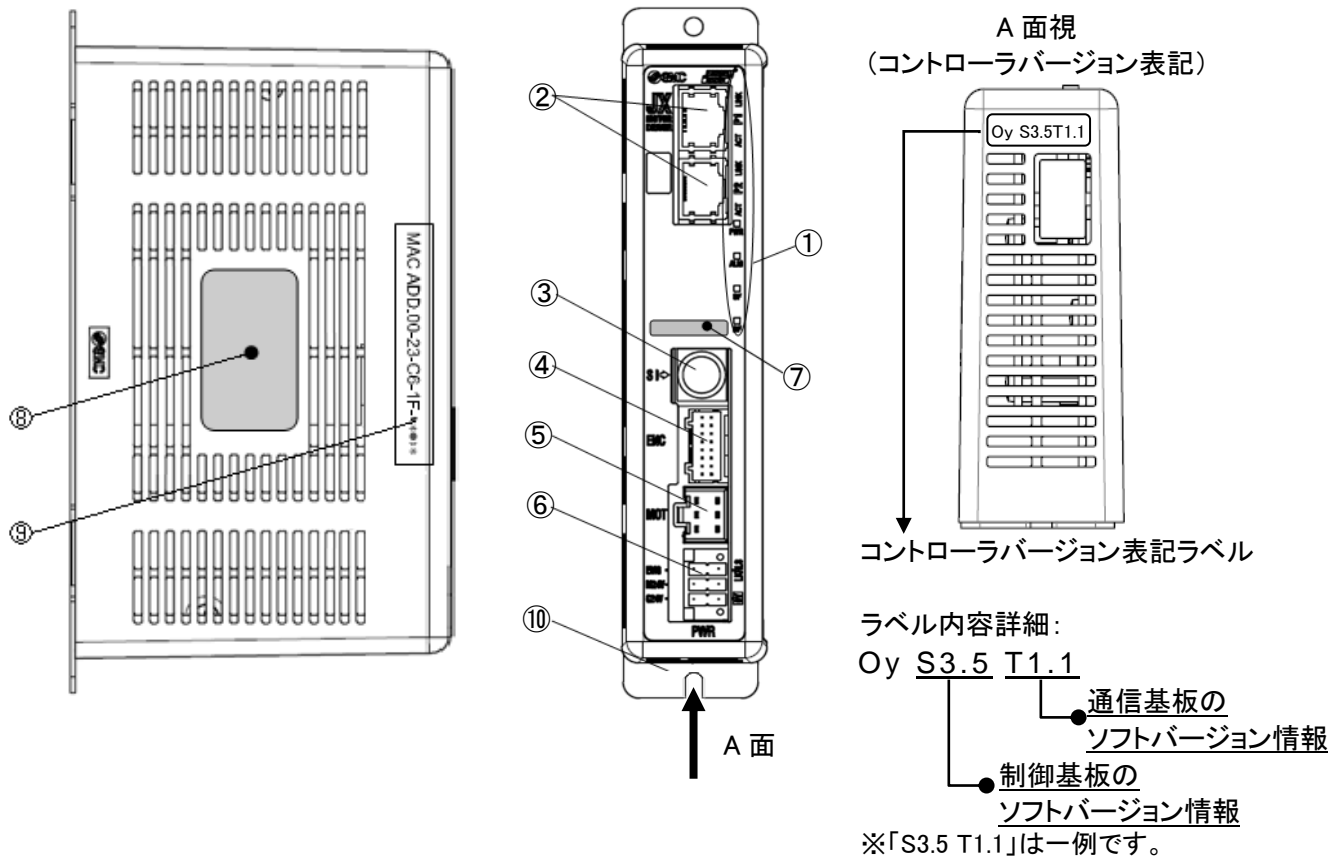
項目	仕様	
制御対象モータ	ステップモータ(サーボ DC24V)	
電源仕様	電源電圧:DC24V±10%	
消費電流	200mA 以下(コントローラ単体) 全体の消費電流は接続するアクチュエータ仕様をご確認ください。	
制御対象エンコーダ	インクリメンタル A/B 相(800 パルス/回転) バッテリーレスアブソリュート A/B 相 (4096 パルス/回転)	
メモリ	EEPROM	
LED 表示部	LED 名称	内容
	PWR	電源投入状態
	ALM	アラーム状態
	SF	コントローラ状態
	BF	PROFINET 通信状態
ロック制御	強制ロックリリース端子付	
ケーブル長	アクチュエータケーブル:20m 以下	
冷却方式	自然空冷	
使用温度範囲	0°C~40°C 凍結なきこと	
使用湿度範囲	90%RH 以下(結露なきこと)	
絶縁抵抗	外部端子一括-ケース間 50MΩ(DC500V)	
質量	260g(ねじ取付形) 280g(DIN レール取付形)	

【PROFINET 通信仕様】

項目	仕様
プロトコル名	PROFINET (Specification Version 2.32)
IP アドレス	0.0.0.0~255.255.255.255 ネットワーク経由設定
通信速度	100Mbps
通信方式	全二重/半二重(オートネゴシエーション)
通信ケーブル	標準 Ethernet ケーブル(シールド付 CAT5 以上、100BASE-TX)
設定ファイル	GSDML ファイル(当社ホームページからダウンロード可)
占有エリア	入力 36 バイト / 出力 36 バイト
Vendor ID	83h(SMC Corporation)
Device ID	52h
対応機能	I/O data Record data MRP Device Access Conformance Class C (RT/IRT)

3.2 各部詳細

コントローラの各部詳細を下記に示します。

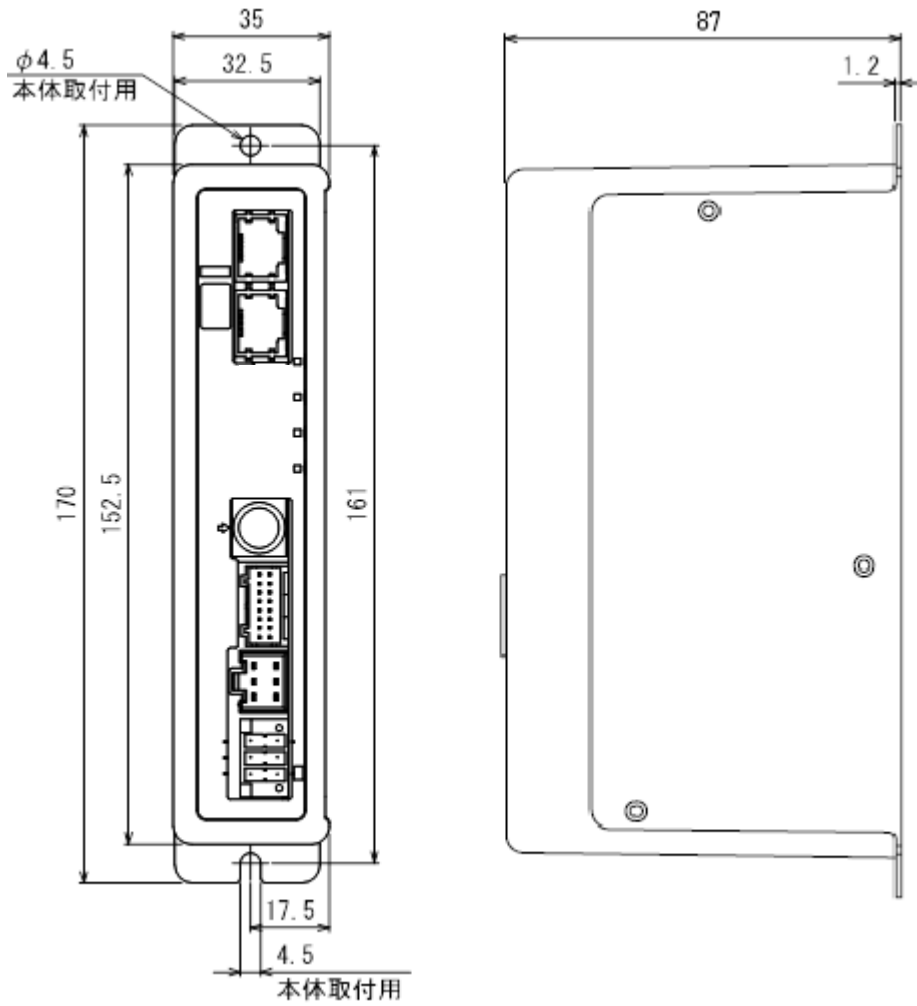


番号	表示	名称	詳細
1	-	LED	コントローラの状態を表すランプです。
2	P1, P2	PROFINET 通信モジュラー	PROFINET 通信ラインを接続します。
3	SI	シリアル I/O コネクタ (8 極)	ティーチングボックス (LEC-T1) もしくはコントローラ 設定通信ケーブル (JXC-W2A-C) を接続します。
4	ENC	エンコーダコネクタ (16 極)	アクチュエータケーブルを接続します。
5	MOT	モータ動力コネクタ (6 極)	
6	PWR	電源コネクタ (6 極)	電源プラグを使用してコントローラ入力電源 (DC24V) と接続します。 制御電源(+)、停止(+)、モータ動力電源 (+)、ロック解除(+)、共通(-)
7		対応アクチュエータ 型式銘板	コントローラと接続可能なアクチュエータの型式が 表記されています。
8	-	コントローラ型式銘板	コントローラの型式が表記されています。
9	-	MAC アドレス	PROFINET の MAC アドレスが表記されています。
10	-	FE	機能接地 コントローラ取付けの際、ビスを共締めし、アース 線を接地します。

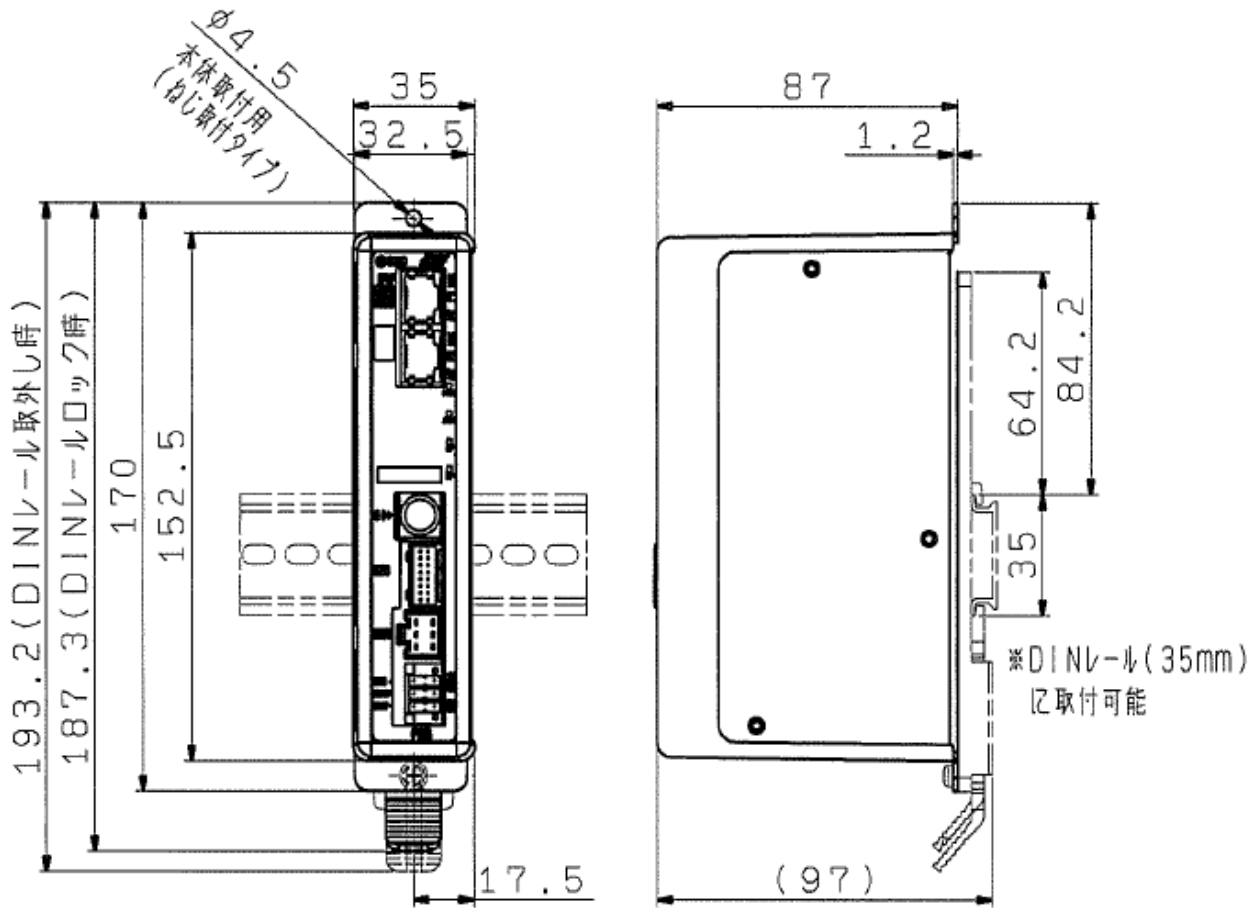
3.3 外形寸法図

本製品の外觀図を下图に示します。

(1) ねじ取付(JXCPH7-□)



(2) DIN レール取付 (JXCPH8-□)



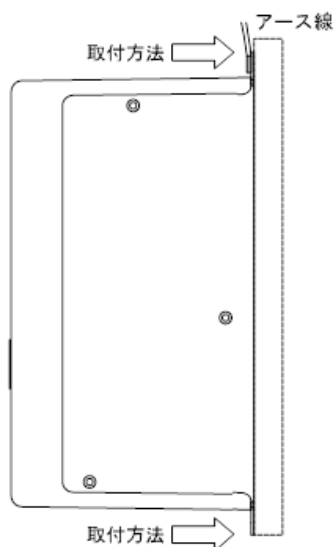
3.4 取付方法

(1) 取付方法

コントローラは、ねじ取付タイプとDINレール取付タイプの2種類、ご用意しております。
コントローラの取付方法を下記に示します。

[1]ねじ取付(JXCPH7-□)

(M4ねじを2本使用して取付する場合)

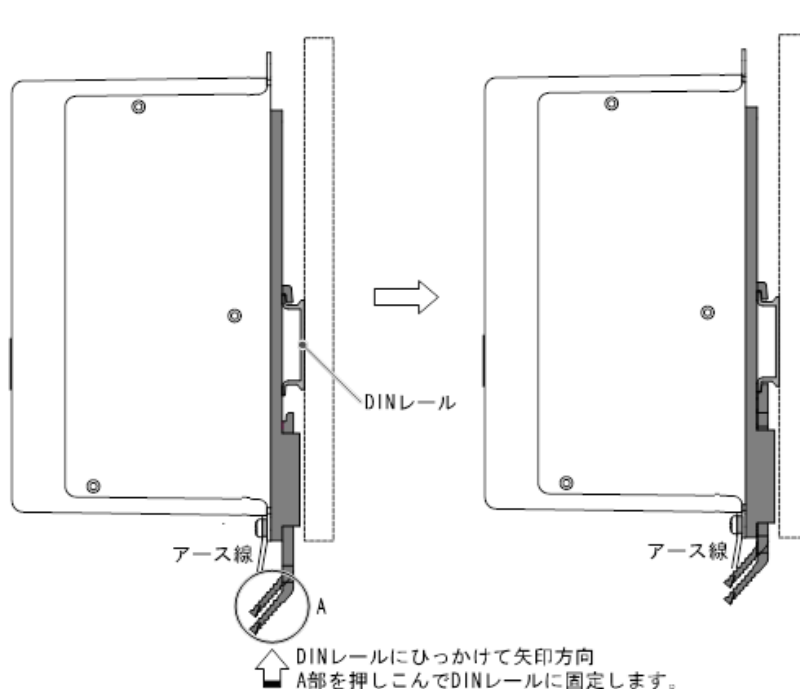


[2]DINレール取付(JXCPH8-□)

(DINレールを使用して取付する場合)

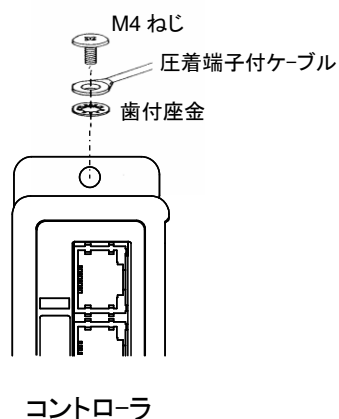
DINレールロック前

DINレールロック時



(2) アース線の取付

コントローラ部に下図のように、ねじと共締めしてアース線を取付けしてください。

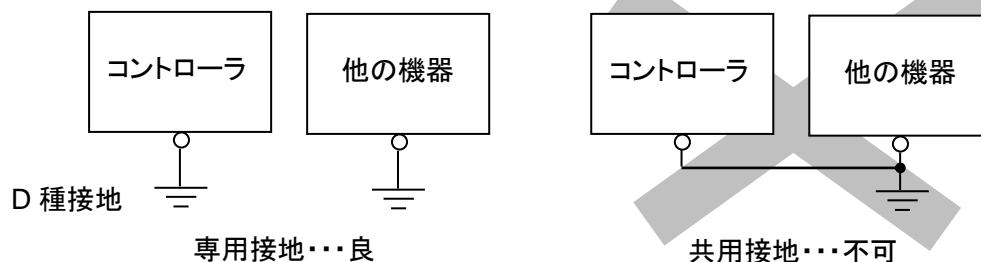


⚠ 注意

M4 ねじ、圧着端子付ケーブル、歯付座金は貴社にてご用意ください。
コントローラのノイズ耐性を確保するためにアースの接地は必ず施してください。
さらにノイズ対策が必要となる場合は、0V(シグナルグランド)を接地するなどの対策をご検討ください。
0Vを接地する場合は、アースから0Vへのノイズ流入が無いようにご配慮ください。

⚠ 注意

- (1) 接地は専用接地としてください。接地工事は D 種接地(接地抵抗 100Ω 以下)としてください。
(2) アース用の電線の太さは 2mm² 以上を使用してください。
接地点は、本コントローラの近くとし、アース線の長さを短くしてください。



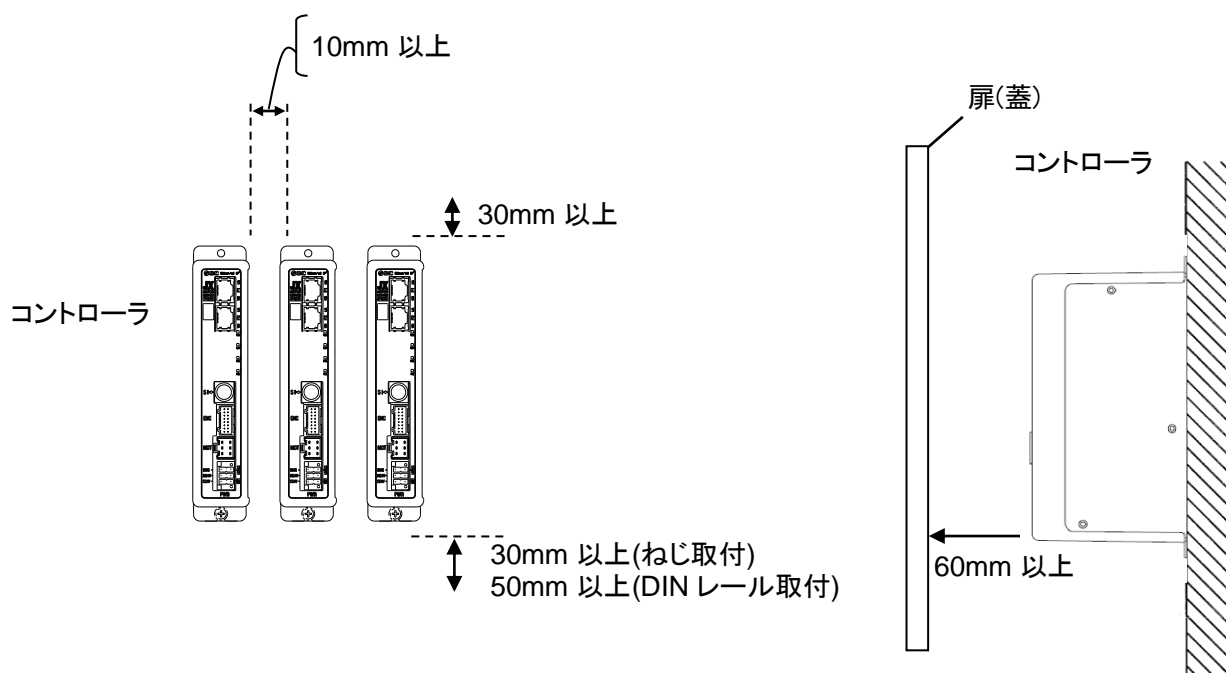
(3) 取付位置

コントローラの周辺部が使用温度範囲内となるように制御盤の大きさ、コントローラの設置方法を考慮願います。

取付けの際には、下記に示すとおり垂直、壁取付けし、上下方向に 30mm または 50mm 以上ごとに隙間を設けてください。

また、コントローラ正面と扉(蓋)との隙間は 60mm 以上設けコネクタが挿抜を可能となる構造にしてください。コントローラ間の隙間につきましては、本体の使用温度が仕様を示す範囲以内となるように隙間をあけて冷却の配慮をお願いします。

また、大型の電磁接触器やノーヒューズ遮断機などの振動源は、同居を避けて別パネルにするか、または離して取付けてください。



⚠ 注意

コントローラの取付け面に凹凸や歪みがあると、ケースに無理な力が加わり故障の原因となりますので、平らな面に取付けてください。

4. 初期設定方法

本コントローラ(JXCPH)が PROFINET のネットワーク上で通信を確立するためには、適切な設定が必要です。

最初に必要な設定と設定方法について、PROFINET マスタ機器の中で代表的な SIMENS 社製 PLC の設定ソフト「TIA PORTAL (Ver.14)」を例にして、下記に示します。

ただし、本コントローラ、PLC、PC を、「5. 外部接続図」、「6. PWR:電源プラグ詳細」に従って正しく配線されていることを前提とします。

なお、GSDML ファイルのインストール等、必要な設定の設定方法は、使用する設定ソフトによって異なりますので、TIA PORTAL 以外をご使用の場合は、対象となる設定ソフトの取扱説明書を参照してください。

4.1 GSDML ファイルおよびアイコン

設定ソフトにて、JXCPHコントローラを設定するためにはGSDMLファイルが必要となります。また、設定ソフトに、JXCPHコントローラのアイコンを表示するには専用のアイコンが必要です。

GSDMLファイルおよび専用アイコンは下記URLからダウンロードできます。

URL: <https://www.smcworld.com>

資料・ダウンロード/取扱説明書/電動アクチュエータ/JXCPH_設定ファイル

4.2 GSDML ファイルのインストール

設定ソフト TIA PORTAL に JXCPH コントローラ用の GSDML ファイルをインストールします。

- (1)TIA PORTAL を起動し、メニューバーから[Options]→[Manage general station description files(GSD)]を選択します。
- (2)[Manage general station description files]画面が表示されるので、インストール対象のファイルが保存されているフォルダを選択します。
- (3)フォルダに格納されている GSDML ファイル一覧が表示されるので、インストールするファイルを選択し、[Install]を押します。(JXCPH 用 GSDML ファイルは SMC ホームページよりダウンロード可能です)

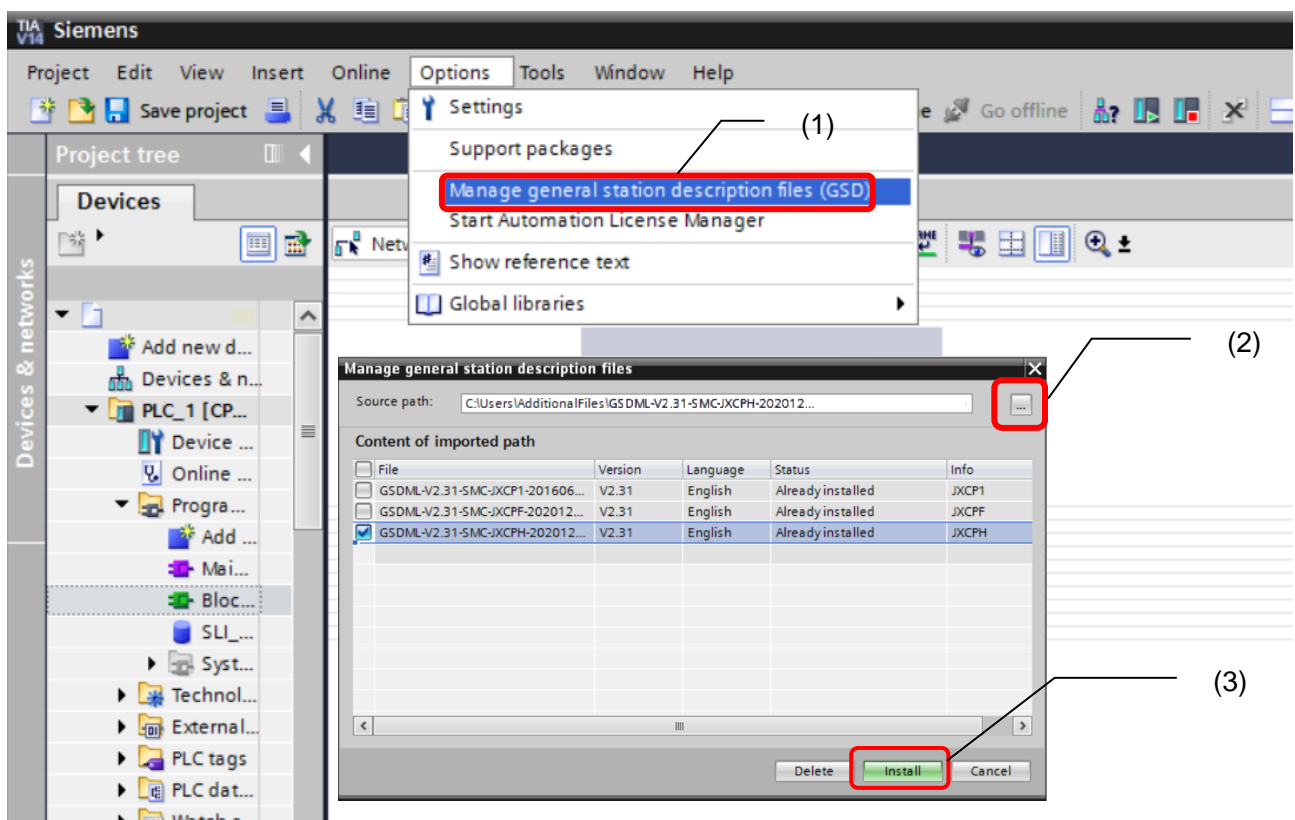


図 4.1 GSDML ファイル指定時画面

(4)[Hardware Catalog]ウィンドウのフォルダに、JXCPH のハードウェアコンポーネントが追加されます。

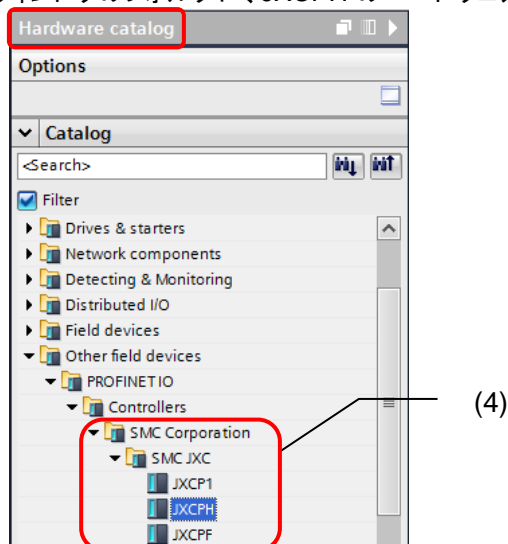


図 4.2 GSDML ファイル追加時画面

4.3 PROFINET ネットワークへの JXCPH コントローラ追加

- (1) [Network view]タブを選択後、[Hardware catalog]から JXCPH を選択し、ドラッグ & ドロップし、[Devices & networks]画面に配置します。
- (2) Network の接続をします。

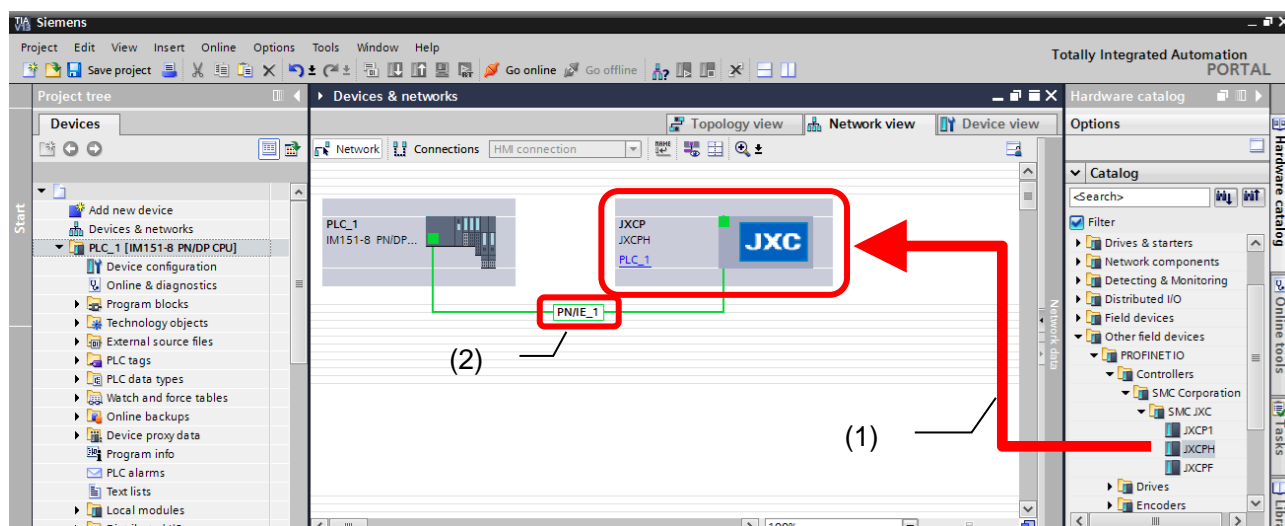


図 4.3 JXCPH の PROFINET ネットワーク追加時画面

4.4 接続する JXCPH コントローラのデバイス名登録

- (1) [Network view]タブを選択後、JXCPH の[Properties]タブを選択します。
- (2) PROFINET device name を設定します。
- (3) [Download to device]アイコンを選択し、設定を書き込みます。

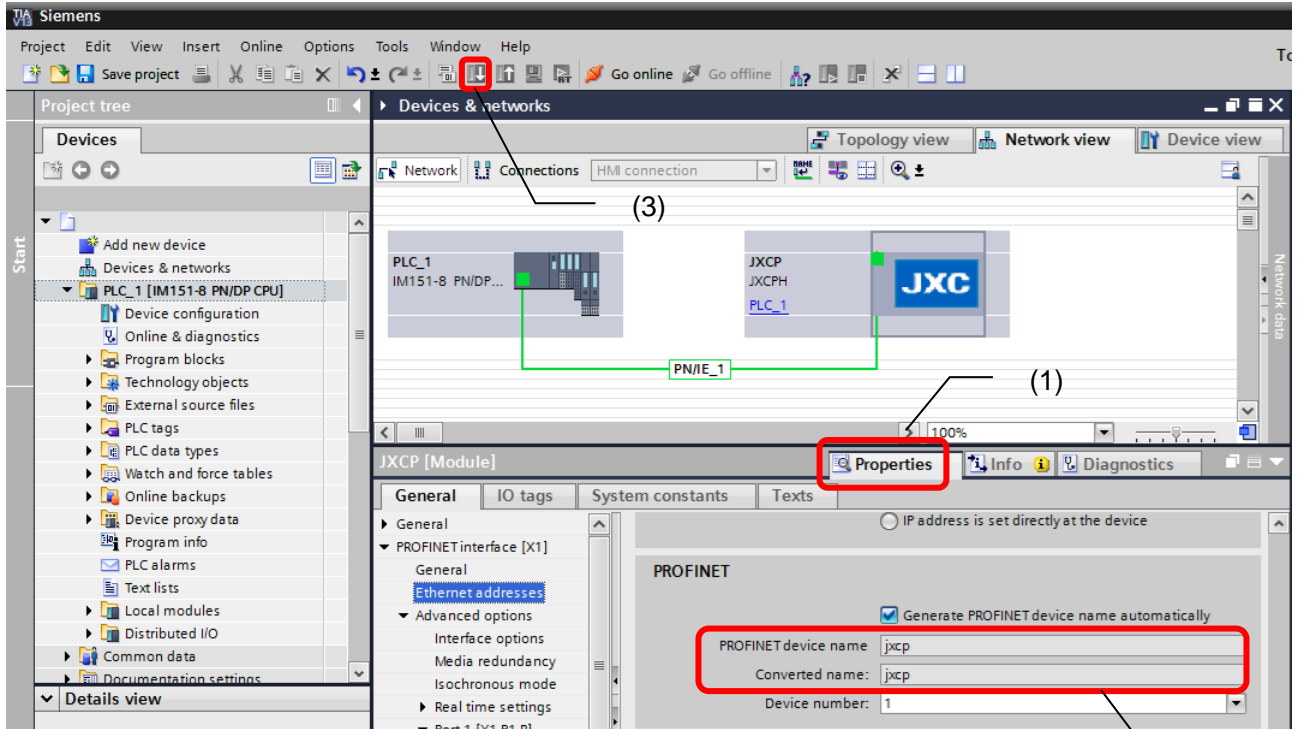


図 4.4 デバイス名登録時画面 (2)

4.5 Assign Device Name の方法

- (1)[Network view]タブを選択後に JXCPH を選択し、マウスを右クリック後に[Assign device name]を選択します。

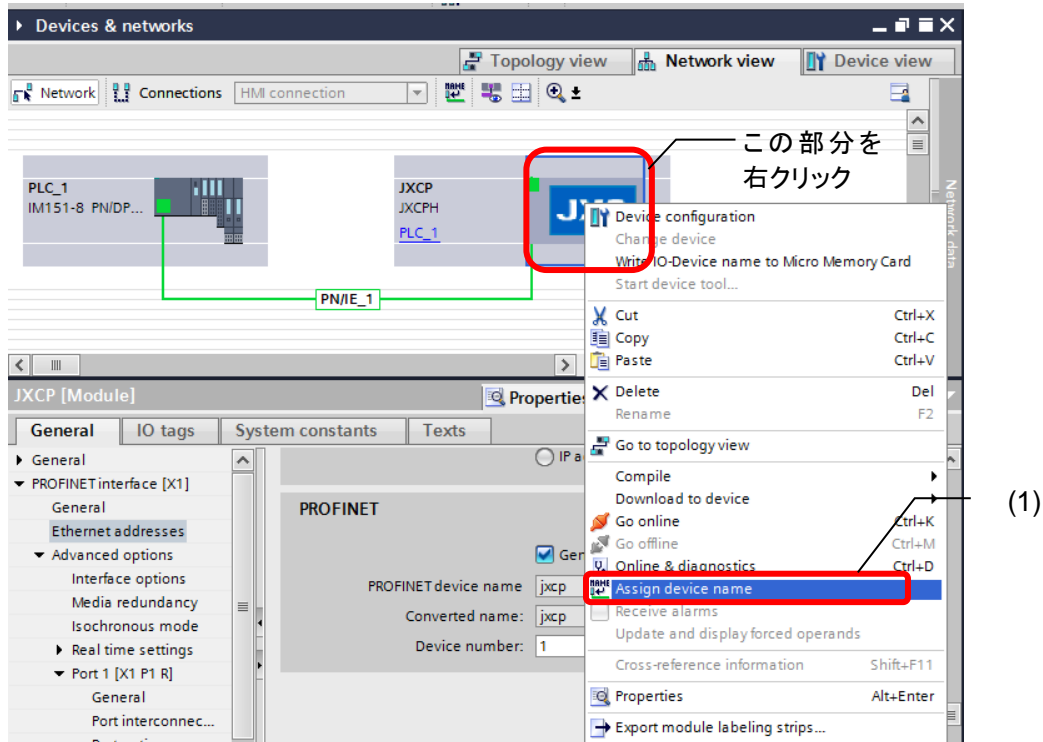


図 4.5 Assign Device Name の画面 (1)

- (2)[Assign PROFINET device name]画面が表示されるので、[Update list]を押します。
 (3)Accessible devices in the network にネットワーク内に接続されているユニットが表示されます。
 (4)[Assign name]を押します。

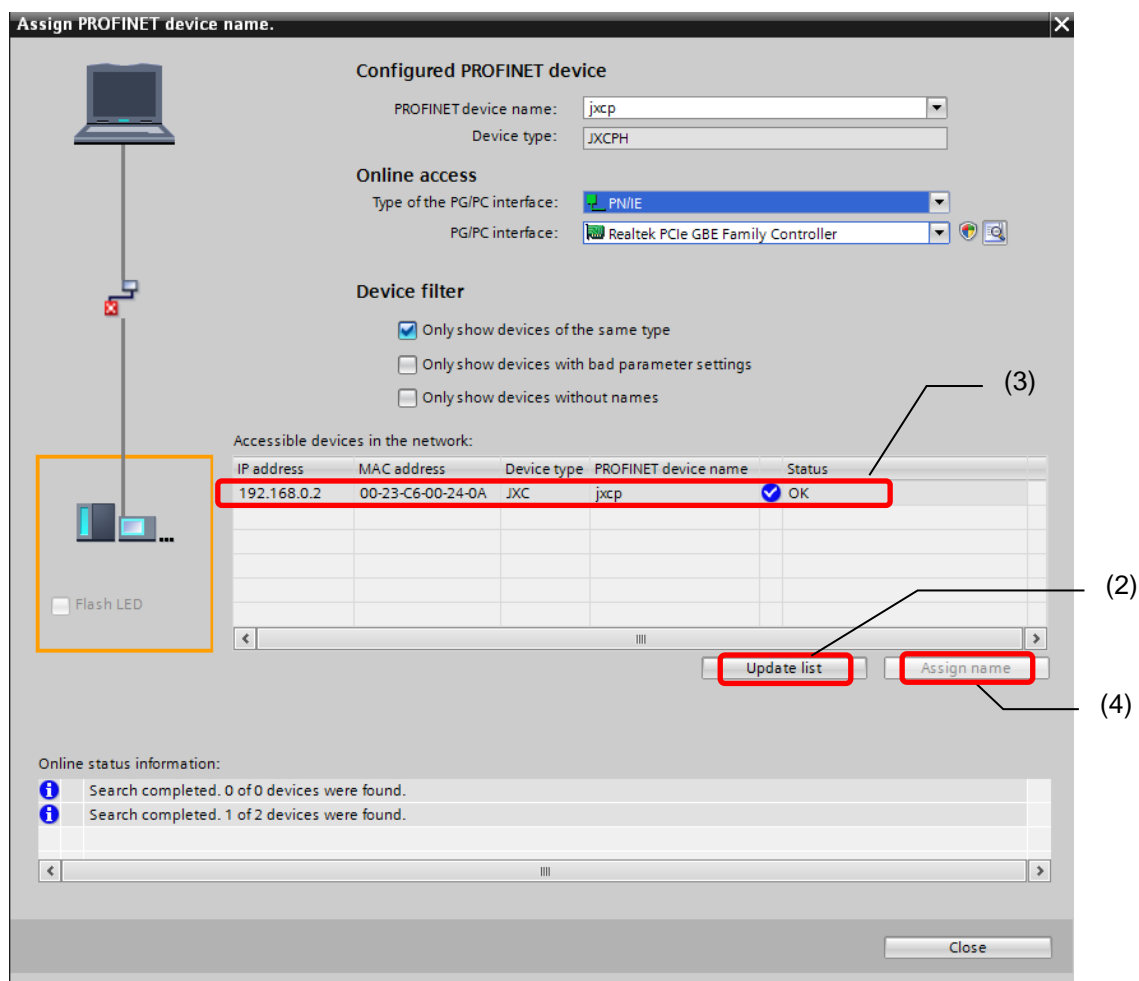


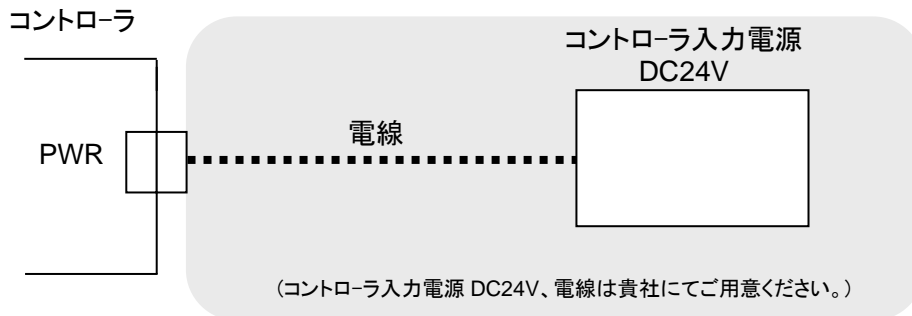
図 4.6 Assign Device Name の画面

<初期設定完了>

5. 外部接続図

標準的な配線例をコントローラのコネクタ毎に示します。

5.1 PWR: 電源コネクタ



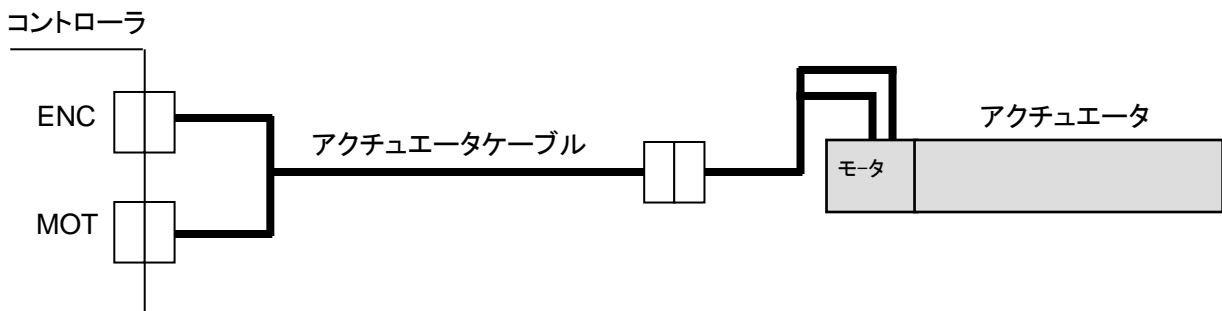
* 配線方法に関しましては、**6. PWR: 電源プラグ詳細**を参照ください。

⚠ 注意

コントローラ入力電源は、電動アクチュエータ仕様の”最大電力(または瞬時最大電力)”を下回らない電源容量の電源をご使用ください。

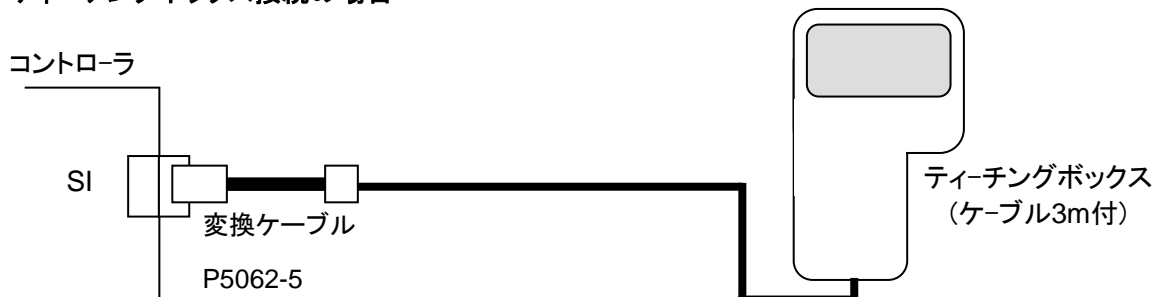
5.2 MOT: モータ動力コネクタ、ENC: エンコーダコネクタ

コントローラとアクチュエータをアクチュエータケーブル(LE-C*-*)にて接続してください。

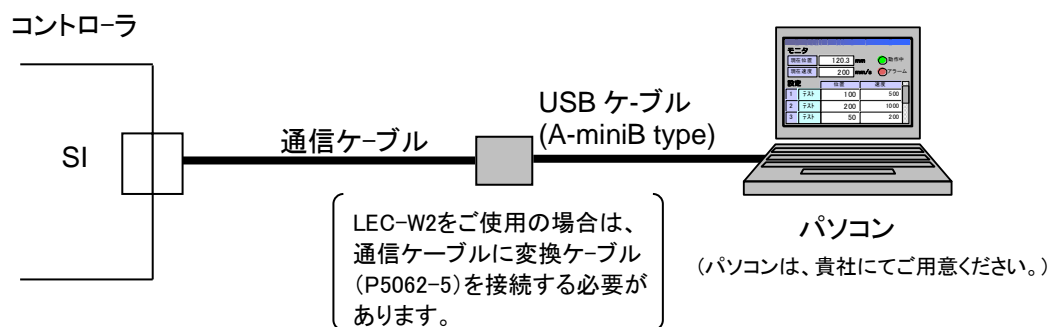


5.3 SI: シリアル I/O コネクタ

(1) ティーチングボックス接続の場合



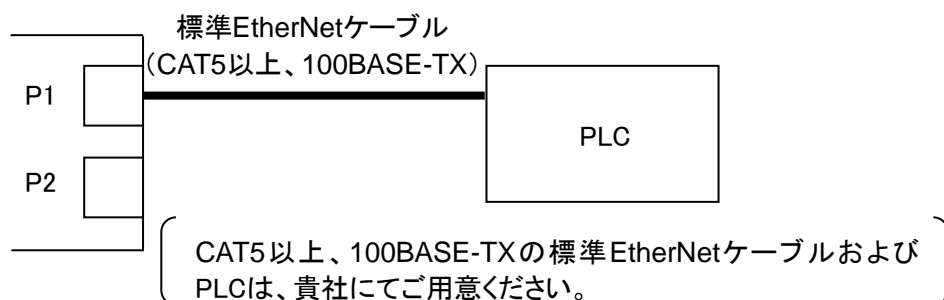
(2) パソコン接続の場合



⚠ 注意

- (1) 指定機器(JXC-W2/W2A-C、LEC-W2/W2A-C、LEC-T1)以外の機器を接続しないでください。
他機器と接続した場合、信号配線の違いにより本製品が破損する恐れがあります。
- (2) ケーブル接続時、コネクタ挿入口に導電体が噛み込まないようにしてください。

5.4 P1、P2:PROFINET 通信コネクタ

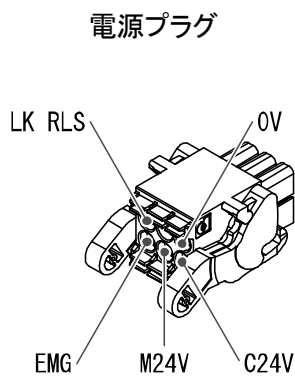


*P1およびP2への接続はどちらへ接続しても構いません。
詳細はPROFINET通信のトポロジーに従ってください。

6. PWR:電源プラグ詳細

6.1 電源プラグ仕様

付属品の電源プラグ仕様を以下に示します。



ピン No.	端子名	機能名	機能説明
1	C24V	制御電源(+)	コントローラに供給する制御電源(+) 側です。
2	M24V	モータ動力電源(+)	コントローラに供給するモータ動力 電源(+) 側です。
3	EMG	停止(+)	停止解除(+) 入力です。
4	0V	共通電源(-)	M24V 端子/C24V 端子/EMG 端子 /LK RLS 端子共通(-) です。
5	-	NC	配線不可
6	LK RLS	ロック解除(+)	ロック解除(+) 入力です。

* フェニックス・コンタクト株式会社製品番:DFMC1,5/3-ST-LR 相当

6.2 電線仕様

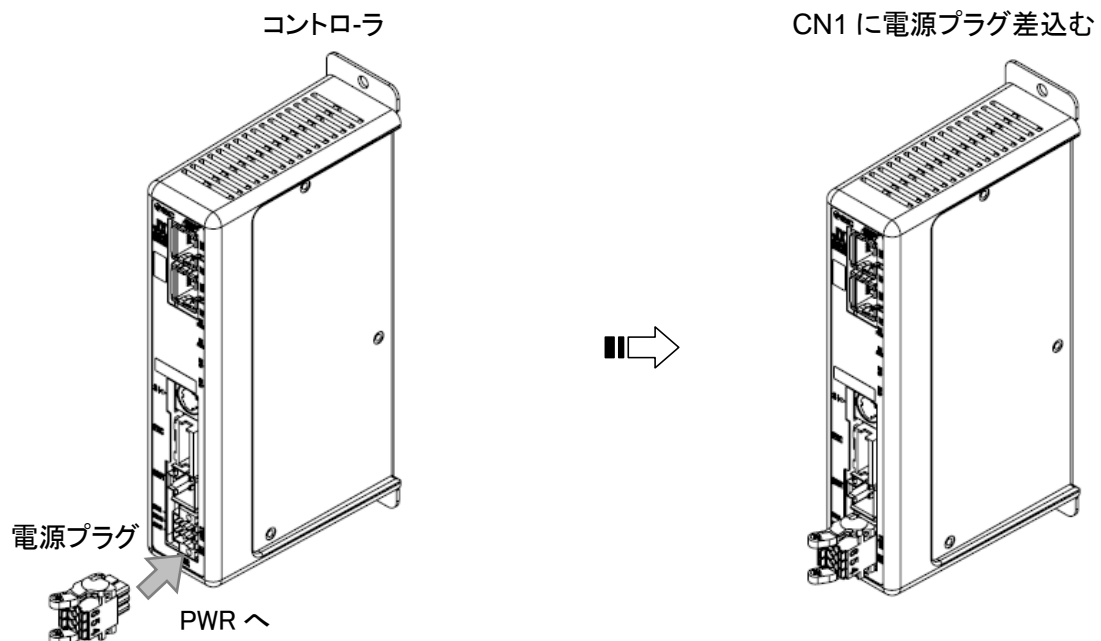
使用する電線は下記仕様を満足したものを貴社にてご用意し配線してください。

項目	仕様
適合電線サイズ	単線、燃線⇒AWG20 (0.5mm ²) * 絶縁被覆の温度定格 60°C 以上、被覆外径 φ2.5mm 以下
むき線長	

⚠ 注意

1つの端子に複数の電線を接続しないでください。

電源プラグを配線終了後、コントローラの PWR の電源コネクタ部分に電源プラグを差し込んでください。
配線は、[6.3 電源プラグの配線](#)を参照ください。

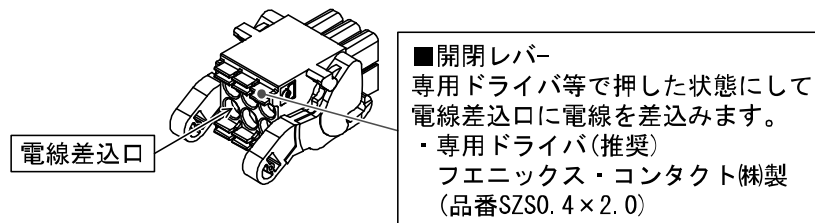


6.3 電源プラグの配線

付属品である電源プラグを以下の(1)~(3)の項目を参照し、コントローラ入力電源 DC24V と接続して、コントローラの PWR 電源コネクタ部分に差込んでください。

(1) 電源部の配線(C24V,M24V,0V)

電源プラグの C24V 端子と M24V 端子にコントローラ入力電源 DC24V のプラス側、0V 端子にマイナス側を接続します。



(2) 停止スイッチの配線(EMG)

緊急時の停止のために停止スイッチを設けてください。

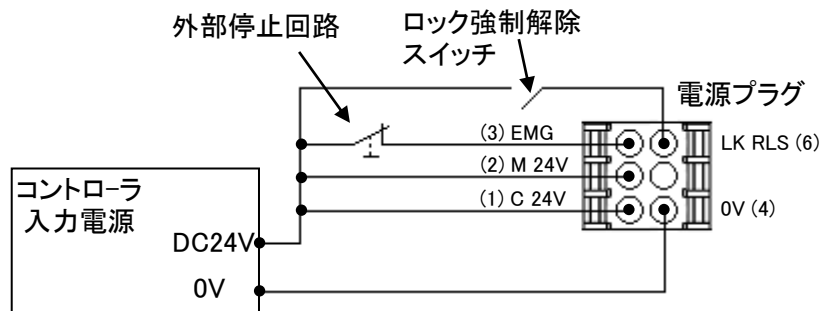
配線は、[6.4 停止回路の配線](#)を参照ください。

(3) ロック強制解除スイッチの配線(LK RLS)

ロック付アクチュエータの調整や緊急時の復帰処置のためにロック強制解除スイッチを設けてください。

* スイッチ(DC24V、接点容量 0.5A 以上)は貴社にてご用意ください。

ロック強制解除スイッチ片側はコントローラ入力電源 DC24V のプラス側、もう片方は電源プラグの LK RLS 端子に接続します。スイッチ閉で、ロックが強制解除されます。



⚠ 注意

(1)アクチュエータがロックなし仕様の場合は、LK RLS 端子は接続する必要はありません。

(2)LK RLS 端子は調整や緊急時の復帰処置のためだけに使用し通常動作中は通電しないでください。

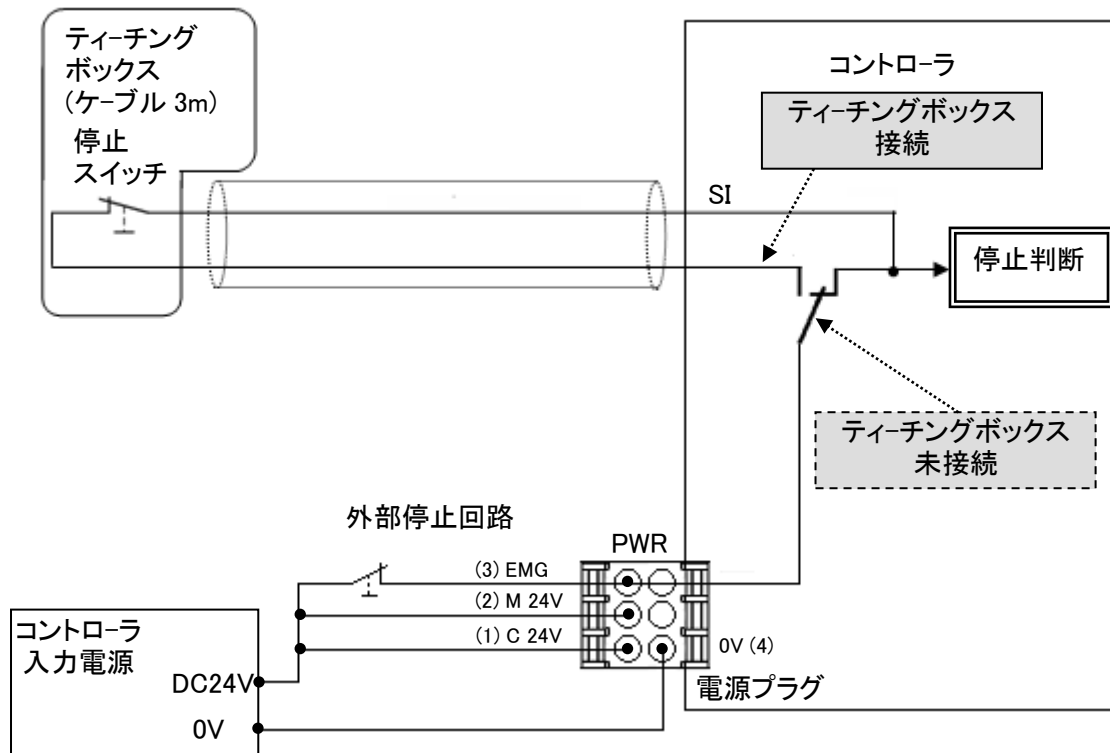
6.4 停止回路の配線

本コントローラでは、外部の停止スイッチまたはティーチングボックスの停止スイッチが有効となった場合、アクチュエータが停止する構造となっております。

(1) 停止(推奨回路例)

コントローラにティーチングボックスの接続が確認された場合、ティーチングボックスの停止入力が有効となります。

(回路例)



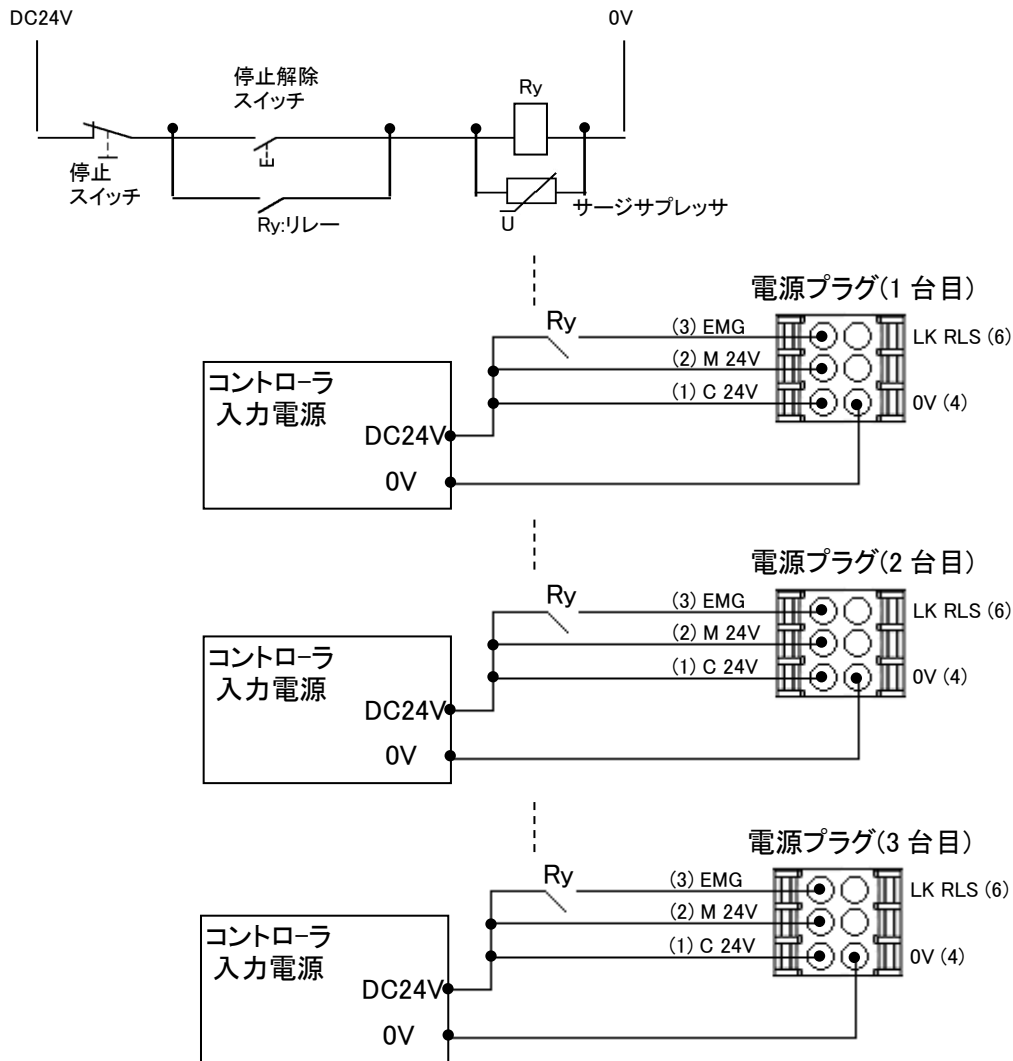
警告

ティーチングボックスの停止入力は、ティーチングボックスを接続しているコントローラのみ有効となります。

(2) 停止(リレー接点(1))

装置全体の停止回路が別にある場合または、コントローラが複数台あり供給電源が異なる場合はコントローラ入力電源の DC24V とコントローラ電源プラグの EMG との間にリレー接点を接続してください。

(回路例)



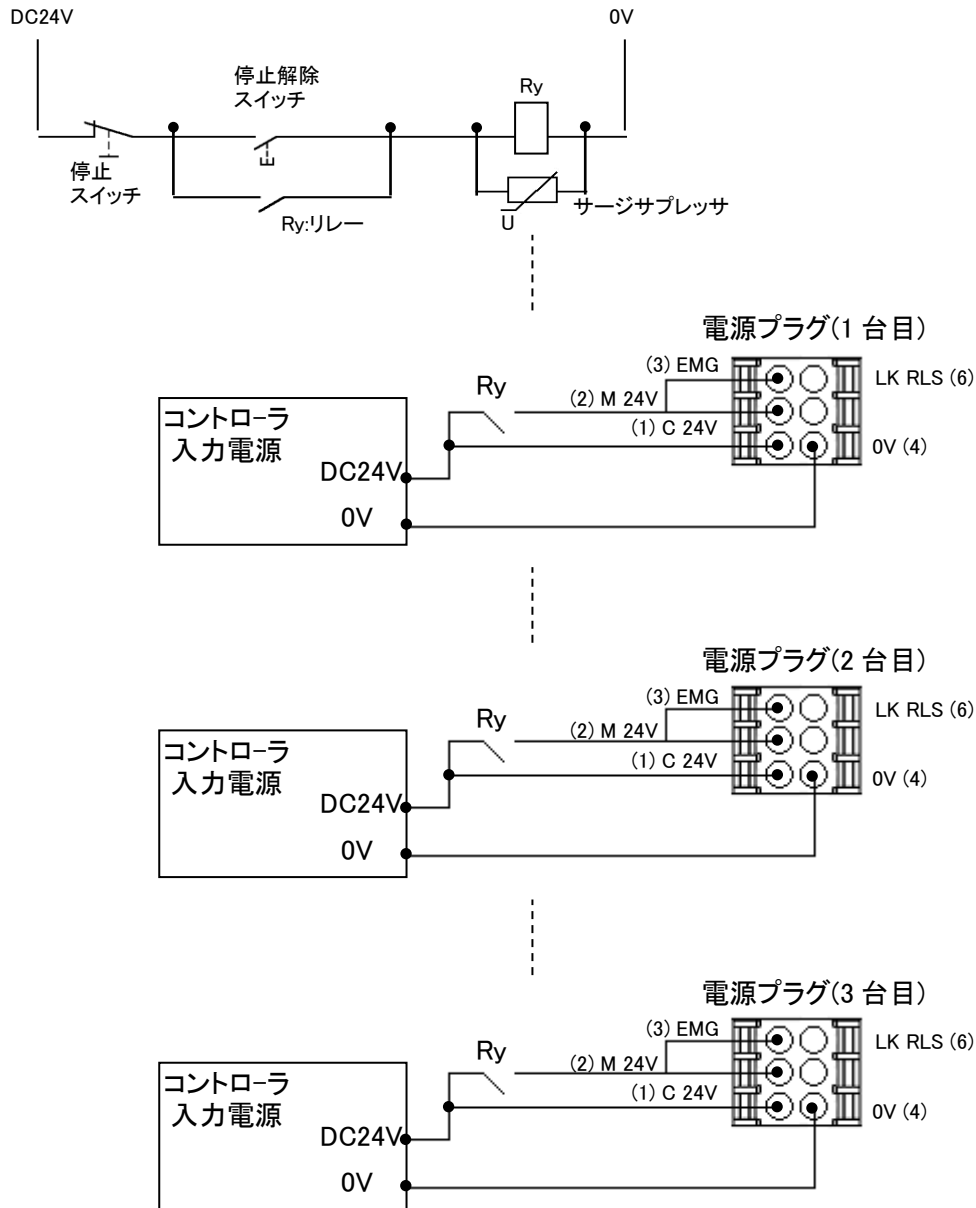
⚠ 注意

停止が入力された場合、コントローラは最大減速度にて停止し、その後サーボ OFF 状態になります。

(3) モータ動力電源の遮断(リレー接点(2))

外部操作によるモータ動力電源の遮断を必要とする場合は、コントローラ入力電源 DC24V とコントローラ電源プラグの M24V および EMG との間にリレー接点を接続してください。

(回路例)



⚠ 警告

- (1)モータ動力電源の遮断を行う場合は、コントローラ入力電源 DC24V とコントローラ電源プラグの M24V および EMG との間にリレー接点を必ず接続してください。アクチュエータが予期せぬ動作をする場合があります。
- (2)モータ動力電源(M24V)遮断時、原点復帰(SETUP を ON)しないでください。
コントローラは、モータ動力電源(M24V)遮断時の原点復帰指示では正しい原点を認識できません。
- (3)モータ動力電源(M24V)遮断時は、LK RLS 端子 は通電しないでください。

7. LED 表示詳細

7.1 LED 表示内容

以下に LED 表示の詳細を示します。

LED 名称	内容		
PWR	電源投入状態を示します。	消灯	電源未投入
		緑点灯	電源投入中
ALM	コントローラのアラーム状態を示します。	消灯	正常動作
		赤点灯	アラーム発生
SF	コントローラの状態を示します。	消灯	正常運転中
		赤点灯	アラーム発生 (ALM と連動)
BF	PROFINET 通信状態を示します。	消灯	PROFINET の通信が確立
		赤点滅	PROFINET の通信が未確立
		赤点灯	Port1、Port2 共に No Link

7.2 コントローラ状態と LED 表示内容

以下にコントローラ状態とその際の LED 表示内容を示します。

コントローラ状態		LED 名称と表示			
		PWR	ALM	SF	BF
電源投入時		緑点灯	消灯	—	—
PROFINET 正常通信時		—	—	消灯	消灯
モータ制御部	コントローラのアラーム発生時	消灯	赤点灯	赤点灯	—
	コントローラのシステムエラー発生時	緑点灯	赤点灯	—	—
	コントローラの EEPROM 書き込み中	緑点滅	—	—	—

—: LED 表示不定



注意

EEPROM 書き込み中 (PWR (緑) が点滅中) に、コントローラ入力電源を OFF する、またはケーブルを挿抜しないでください。
データ (ステップデータ、パラメータ) が正しく書き込まれない場合があります。

8. 運転方法

8.1 概要

本製品は、あらかじめ設定されたデータを選択して動作指示するステップ No.指示運転方法と設定済みのステップデータ No.上のパラメータを直接変更する数値指示運転方法で動作させることができます。

8.2 ステップ No.指示運転機能

DRIVE 信号や INP 信号等の入出力ポートに相当するメモリにて動作を行い、その動作状態を上位機器(マスタ)によりモニタすることが可能な機能です。

予め登録しておいたステップデータの No.を、PROFINET 通信出力データビットにて選択し、DRIVE 信号を ON (1)にすることで運転を開始します。

運転手順の詳細は [13.4 ステップ No.指示運転機能の運転手順](#)を参照ください。

8.3 位置/速度モニタ機能

現在位置、現在速度などの情報を読み込むことができます。

8.4 数値指示運転機能

コントローラに位置・速度等を数値指示することで、アクチュエータはその値(アクチュエータの限界値内)にしたがって動作します。

JXCPH コントローラは、ステップデータにおける全ての項目(動作方法、速度、位置、加速度、減速度、押当て推力、しきい値、押当て速度、位置決め推力、エリア出力 1、エリア出力 2、位置決め幅)について数値指示することが可能です。

数値指示した項目以外は、コントローラに登録済みのステップデータから参照します。

なお、動作を行うための準備(サーボオンや原点復帰)は、ステップ No.指示運転機能と同様の操作を行ってください。

運転手順の詳細は [13.5 数値指示運転機能の運転手順](#)を参照ください。

注意

数値指示運転で設定する値は、電動アクチュエータ仕様範囲内としてください。

仕様範囲外の場合、動作異常や製品故障の恐れがあります。

電動アクチュエータ仕様の詳細は、電動アクチュエータカタログをご確認ください。

電動ロータリテーブル LER シリーズの場合、単位系が"mm"から"° (度)"が適用されます。

例)速度・押当て速度=[° /s]、位置・エリア 1,2・位置決め幅=[°]、加速度・減速度=[° /s²]

9. メモリマップ詳細

9.1 メモリ割付

(1) 入力データエリアマッピング

●上位機器における入力エリアマッピング(コントローラから上位機器)一覧



SLOT	SUBSLOT	Offset (Byte)	Size	Bit7	Bit6	Bit5	Bit4	Bit3	Bit2	Bit1	Bit0		
1	1	0	BYTE	-	-	OUT5	OUT4	OUT3	OUT2	OUT1	OUT0		
		1	BYTE	ALARM	ESTOP	WAREA	AREA	INP	SETON	SVRE	BUSY		
		2	BYTE	-	-	-	READY	-	-	-	-		
		3	BYTE	-	-	-	-	-	-	-	-		
		4	DWORD	現在位置									
		5											
		6											
		7											
		8	WORD	現在速度									
		9											
		10	WORD	現在推力									
		11											
		12	DWORD	目標位置									
		13											
		14											
		15											
		16	BYTE	Alarm 1									
		17	BYTE	Alarm 2									
		18	BYTE	Alarm 3									
		19	BYTE	Alarm 4									
		20	-	Reserve									
		21	-	Reserve									
		22	-	Reserve									
		23	-	Reserve									
		24	-	Reserve									
		25	-	Reserve									
		26	-	Reserve									
		27	-	Reserve									
		28	-	Reserve									
		29	-	Reserve									
		30	-	Reserve									
		31	-	Reserve									
		32	-	Reserve									
		33	-	Reserve									
		34	-	Reserve									
35	-	Reserve											

(2) 上位機器における入力エリア詳細(コントローラから上位機器)

●Byte0: 入力ポート相当信号

Byte	Bit	信号名	内容												
0	0	OUT0	<p>運転を開始した後、DRIVE を OFF すると運転指示したステップ No.に相当した Bit No.が出力されます。 本信号は DRIVE が ON されると更新されます。</p> <p>例)ステップデータ No.3 が出力される場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>OUT5</th> <th>OUT 4</th> <th>OUT 3</th> <th>OUT 2</th> <th>OUT 1</th> <th>OUT 0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">⚠ 注意</p> <p>(1)RESET を ON すると本信号は OFF となります。 (2)アラーム発生中、本信号はアラームグループを出力します。 (3)押当て運転中、設定された押当幅(押し込み量)を越えた場合、本信号は OFF となります。</p>	OUT5	OUT 4	OUT 3	OUT 2	OUT 1	OUT 0	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
	OUT5	OUT 4		OUT 3	OUT 2	OUT 1	OUT 0								
	OFF	OFF		OFF	OFF	ON	ON								
	1	OUT1													
	2	OUT2													
	3	OUT3													
	4	OUT4													
	5	OUT5													
6	—	—													
7	—	—													

●Byte1: 入力ポート相当信号

Byte	Bit	信号名	内容
1	0	BUSY	位置決め運転中等、アクチュエータ動作中に ON となります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  注意 </div> 押当て保持中(押当推力が発生中の停止)においても、アクチュエータ停止時は、BUSY 信号が OFF となります。
	1	SVRE	サーボ OFF 状態で OFF します。サーボ ON 状態で ON します。
	2	SETON	原点復帰後の SETON(位置情報確定)状態で ON します。 位置情報不確定状態で OFF します。
	3	INP	アクチュエータの各動作により INP が ON となる条件が異なります。 ・原点復帰の場合 アクチュエータの動作が停止(BUSY が OFF)し、位置が原点位置 ±基本パラータ“初期位置決幅”範囲内の時、ON します。 ・位置決め運転の場合 現在位置がステップデータ“位置”±“位置決幅”範囲内の時、ON します。 ・押当て運転の場合 押当推力がステップデータ“しきい値”以上の推力になった時、ON します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  注意 </div> 押当て運転完了後、自動的に省電力モード(電力低減)に切り替わっても INP 信号は ON 状態です。 また、押当て停止状態から再度移動を開始した場合は、通常押当推力での押当て運転を繰り返します。 例)ステップデータ“推力”が 100% ステップデータ“しきい値”が 80% アクチュエータの省電力設定が 40% [アクチュエータ種類により省電力設定の設定値は異なります。] [詳しくはアクチュエータ取扱説明書を参照ください。]
	4	AREA	ステップデータ“エリア 1”～“エリア 2”出力設定範囲内で ON します。エリア出力設定範囲は運転中のステップデータごとに切替わりします。
5	WAREA	基本パラメータ“W エリア出力端 1”～“W エリア出力端 2”出力設定範囲内で ON します。	

	6	ESTOP	ティーチングボックスの停止スイッチによる停止指示で ON し、通常運転時 OFF します。EMG 停止入力にも同期します。
	7	ALARM	アクチュエータの動作および制御における異常発生時のアラームを示します。アラームが発生していない時は、OFF します。アラーム発生時は、ON します。

コントローラの状態による出力信号の変化を下表に示します。

状態	出力信号	BUSY	INP	SVRE	ロック	SETON	OUT0~5
初回電源投入後の停止状態時のサーボ OFF 状態 ^{注1)}		OFF	OFF	OFF	ロック	OFF	OFF
初回電源投入後の停止状態時のサーボ ON 状態		OFF	OFF	ON	解除	OFF	OFF
電源投入後の停止状態時のサーボ OFF 状態		OFF	OFF ^{注2)}	OFF	ロック	ON ^{注3)}	ON ^{注4)}
電源投入後の停止状態時のサーボ ON 状態		OFF	ON ^{注5)}	ON	解除	ON ^{注3)}	OFF
原点復帰入力による原点復帰動作中の時		ON	OFF	ON	解除	OFF	OFF
原点復帰入力による原点復帰完了した時		OFF	ON ^{注5)}	ON	解除	ON	OFF
位置決め運転/押当て運転時の移動中の時		ON	OFF	ON	解除	ON	ON ^{注6)}
位置決め運転での一時停止の時		OFF	OFF	ON	解除	ON	ON ^{注6)}
位置決め運転完了した時(位置決幅内の時)		OFF	ON ^{注2)}	ON	解除	ON	ON ^{注6)}
押当て運転でワークに押当て停止(保持中)		OFF	ON	ON	解除	ON	ON ^{注6)}
押当て運転でワークがなくて空振り停止した時		OFF	OFF	ON	解除	ON	OFF
原点復帰後のサーボ OFF 状態の時		OFF	OFF ^{注2)}	OFF	ロック	ON	ON ^{注4)}
原点復帰後の EMG(停止)した時		OFF	OFF ^{注2)}	OFF	ロック	ON	OFF

注 1) バッテリレスアブソリュートエンコーダ対応の場合、「アブソ ID 不一致」のアラームを解除した後の状態になります。

注 2) ステップデータ“位置決幅”内にある場合は ON します。

注 3) 原点復帰が完了した後の状態になります。

注 4) 前の状態を保持します。

注 5) 基本パラメータの“初期位置決幅”内にある場合は ON します。

注 6) DRIVE 入力信号の立下り(ON から OFF)にて更新します。

●Byte2,3:コントローラ情報フラグ

Byte	Bit	信号名	内容
2	0-3	(未使用)	常時OFF(0)にしてください。
	4	READY	サーボON状態でアラームなしの場合。READYフラグはONとなります。
	5	(未使用)	常時OFF(0)にしてください。
	6-7	(未使用)	常時OFF(0)にしてください。
3	0-7	(未使用)	常時OFF(0)にしてください。

●Byte4-7:現在位置

Byte	信号名	内容
4	現在位置	アクチュエータの現在位置を 0.01[mm]単位で出力します。*5 例)800.00[mm](80000d=13880h)が出力された場合 “Byte4” = 00h “Byte5” = 01h “Byte6” = 38h “Byte7” = 80h
5		
6		
7		

*5 データの取扱い詳細については、21. 送受信データの取扱いについて参照してください。

●Byte8,9: 現在速度

Byte	信号名	内容
8	現在速度	アクチュエータの現在速度を 1[mm/s]単位で出力します。 例)300[mm/s](300d=012Ch)が出力された場合 “8Byte” = 01h “9Byte” = 2Ch
9		

●Byte10,11: 現在推力

Byte	信号名	内容
10	現在推力	アクチュエータの現在推力を 1[%]単位で出力します。
11		

●Byte12-15: 目標位置

Byte	信号名	内容
12	目標位置	アクチュエータの目標位置を 0.01[mm]単位で出力します。*5 例)800.00[mm](80000d=13880h)を入力する場合 “Byte12” = 00h “Byte13” = 01h “Byte14” = 38h “Byte15” = 80h
13		
14		
15		

●Byte16-19: アラーム

Byte	信号名	内容																																								
16	アラーム 1	アラームが発生した場合にアラームコード(10進数で3桁)を出力します。*5 アラームは、発生した最新のアラームコードがアラーム 1 に出力されます。その後アラームが発生する度に更新され、過去に発生したアラームコードは、アラーム 1→2→3→4 の順にシフトしていきます。																																								
17	アラーム 2	なお、アラームの発生数が各モードの最大アラーム出力数を超えた場合、過去に発生したアラームコードから順に履歴から削除されます。																																								
18	アラーム 3	例)アラームが①→⑤の順に発生した場合 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>アラーム 1(最新)</td> <td>①</td> <td></td> <td>②</td> <td></td> <td>③</td> <td></td> <td>④</td> <td></td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>アラーム 2</td> <td>0</td> <td></td> <td>①</td> <td></td> <td>②</td> <td></td> <td>③</td> <td></td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>アラーム 3</td> <td>0</td> <td>⇒</td> <td>0</td> <td>⇒</td> <td>①</td> <td>⇒</td> <td>②</td> <td>⇒</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>アラーム 4</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>①</td> <td></td> <td>②</td> </tr> </table>	アラーム 1(最新)	①		②		③		④		⑤	アラーム 2	0		①		②		③		④	アラーム 3	0	⇒	0	⇒	①	⇒	②	⇒	③	アラーム 4	0		0		0		①		②
アラーム 1(最新)	①		②		③		④		⑤																																	
アラーム 2	0		①		②		③		④																																	
アラーム 3	0	⇒	0	⇒	①	⇒	②	⇒	③																																	
アラーム 4	0		0		0		①		②																																	
19	アラーム 4	* 表中の①～⑤は発生したアラームコードを示す アラーム内容の詳細は 15.3 アラーム内容・対策 を参照してください。																																								

*5 データの取扱い詳細については、[21. 送受信データの取扱いについて](#)参照してください。

(3) 出力エリアマッピング

●上位機器における出力エリアマッピング(上位機器からコントローラへ)

SLOT	SUBSLOT	Offset (Byte)	Size	Bit7	Bit6	Bit5	Bit4	Bit3	Bit2	Bit1	Bit0	
2	1	0	BYTE	-	-	IN5	IN4	IN3	IN2	IN1	IN0	
		1	BYTE	FLGTH	JOG+	JOG-	SETUP	RESET	DRIVE	SVON	HOLD	
		2	BYTE	加速度	位置	速度	動作方法	-	-	速度制限	-	
		3	BYTE	位置決め幅	エリア出力2	エリア出力1	位置決め推力	押当速度	しきい値	押当推力	減速度	
		4	BYTE	起動フラグ								
		5	BYTE	動作方法								
		6	WORD	速度								
		7										
		8	DWORD	位置								
		9										
		10										
		11										
		12	WORD	加速度								
		13										
		14	WORD	減速度								
		15										
		16	WORD	押当て推力								
		17										
		18	WORD	しきい値								
		19										
		20	WORD	押当て速度								
		21										
		22	WORD	位置決め推力								
		23										
		24	DWORD	エリア出力1								
		25										
		26										
		27										
		28	DWORD	エリア出力2								
		29										
		30										
		31										
		32	DWORD	位置決め幅								
		33										
		34										
35												

「-」のメモリについては、常時 OFF(0)を設定してください。

(4) 上位機器における出力エリア詳細(上位機器からコントローラ)

●Byte0: 出力ポート相当信号

Byte	Bit	信号名	内容												
0	0	IN0	運転を指示するステップデータの No.を、IN0～5 の組合せ(2 進数)で指定します。 例)ステップデータ No.3 を指定する場合 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>IN5</td> <td>IN4</td> <td>IN3</td> <td>IN2</td> <td>IN1</td> <td>IN0</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> </tr> </table>	IN5	IN4	IN3	IN2	IN1	IN0	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
	IN5	IN4		IN3	IN2	IN1	IN0								
	OFF	OFF		OFF	OFF	ON	ON								
	1	IN1													
	2	IN2													
	3	IN3													
	4	IN4													
	5	IN5													
6	—	常時 OFF(0)にしてください。													
7	—	常時 OFF(0)にしてください。													

⚠ 注意

必ず、DRIVE の ON する前に、本信号で、ステップデータ No.を確定させてください。
 予期せぬステップデータの内容で動作する場合があります。

●Byte1:出力ポート相当信号

Byte	Bit	信号名	内容
1	0	HOLD	<p>運転中に HOLD を ON とすると基本パラメータの最大加減速度に従って減速停止します。残りの移動量は保留状態となっており、HOLD を OFF とすると残移動量の移動を開始します。</p> <p>●DRIVE および SETUP 時</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">⚠ 注意</p> <p>(1) HOLD の ON 中に SETUP、DRIVE、JOG+/JOG-と起動フラグは指示しないでください。予期せぬ動作をする場合があります。</p> <p>(2) 押当て運転における押当て動作中は、HOLD 信号は無効となります。</p> </div>
	1	SVON	<p>サーボ ON を指示します。 ON にてサーボ ON になります。OFF にてサーボ OFF になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">⚠ 注意</p> <p>(1)SVON が ON すると、制御精度向上のため、アクチュエータが数 mm 移動します。</p> <p>(2)SVON が OFF した時、DRIVE および SETUP を OFF にしてください。</p> </div>
	2	DRIVE	<p>DRIVE が OFF から ON になると IN0～IN5 を読み込み、運転を開始します。 *6 ON から OFF で運転中のステップ No.が OUT 端子に出力されます。</p>
	3	RESET	<p>アラームのリセットおよび、運転のリセットをします。 RESET を ON にすると、基本パラメータの最大加減速度に従って減速停止します。 INP、OUT0～5 は OFF となります。(ただし INP は、ステップデータ“位置決幅”内で停止した場合は、ON となります。)</p>
	4	SETUP	<p>SVRE が ON の場合、SETUP 動作(原点復帰動作)を行います。 SETUP 動作中は BUSY が ON、動作完了後に SETON、INP が ON します。</p>
	5	JOG(-)	<p>-側へのジョグ移動を指示します。 ON 中は移動を行い、OFF で停止します。 ただし、FLGTH(ジョグ移動/定寸送り移動切換え信号)が ON の場合は、“JOG(-)”信号の立ち上がりで-側へ定寸送り移動を行います。 ジョグ移動/定寸送り移動開始後、INP、OUT0～5 は OFF になります。</p>
	6	JOG(+)	<p>上記と同様で、“-”が“+”の記述となります。</p>
	7	FLGTH	<p>ジョグ移動信号“JOG(-)”、“JOG(+)”のジョグ移動/定寸送り移動の機能切換えを指示します。 ジョグ移動信号が ON した時に、この信号が ON の場合は定寸送り移動動作となります。 OFF の場合はジョグ移動動作となります。定寸送り移動動作時の移動量は、「動作パラメータ」“定寸距離”の設定値になります。</p>

*6 DRIVE は、動作停止時(位置決め時→INP: ON 且つ BUSY: OFF 時、押当て時→INP: ON 時)に OFF→ON の指示をしてください。動作中に DRIVE を OFF→ON した場合、意図しない動作をする恐れがあります。

●Byte2,3:コントローラ制御/数値データフラグ

Byte	Bit	信号名	内容
2	0	(未使用)	常時OFF(0)にしてください。
	1	速度制限	全ての運転に対して速度制限を行います。アクチュエータ毎に速度制限の値は異なります。
	2	(未使用)	常時OFF(0)にしてください。
	3	(未使用)	常時OFF(0)にしてください。
	4	動作方法	数値指示運転の場合、各設定値がONのとき数値変更可能です。 *7
	5	速度	
	6	位置	
	7	加速度	
3	0	減速度	
	1	押当推力	
	2	しきい値	
	3	押当速度	
	4	位置決推力	
	5	エリア出力端 1	
	6	エリア出力端 2	
	7	位置決幅	

●Byte4,5:動作方法/起動フラグ

Byte	Bit	信号名	内容
4	0	起動フラグ	数値指示運転時のデータ送信フラグです。送信待ちは OFF、数値データをコントローラに送信する際に ON にします。 *7 *8 *9
	1-7	(未使用)	常時OFF(0)にしてください。
5	0-1	動作方法	1 0 動作方法 bit0=ON:ABS(絶対)
			0 1 1:ABS(絶対) bit1=ON:INC(相対)
			1 0 2:INC(相対) bit1,0=同時 OFF また ON:無効
			0 0 無効 *7 *10
	2-7	(未使用)	常時 OFF(0)にしてください。

●Byte6,7:速度

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
6	速度	1～基本パラメータ“最大速度” *7 *11	1mm/s
7			

- *7 起動フラグの OFF 時に、数値データ入力指示フラグ及び数値データを変更してください。起動フラグの ON 時に指示フラグまたは数値データを変更した場合、意図しない動作をする恐れがあります。
- *8 起動フラグは、動作停止時(位置決め時→INP:ON 且つ BUSY:OFF 時、押当て時→INP:ON 時)に OFF→ON の切替してください。動作中に起動フラグを OFF→ON した場合、意図しない動作をする恐れがあります。
- *9 起動フラグの ON 中に、意図せず数値データが変更されることを避けるため、動作開始後、起動フラグを ON→OFF することを推奨します。
- *10 「1(ABS)」および「2(INC)」以外の数値は入力しないでください。
- *11 入力可能な値は、アクチュエータ種類により限界値が異なります。仕様範囲外の場合、動作異常や製品故障の恐れがあります。詳しくはアクチュエータ取扱説明書を参照ください。

●Byte8-11:位置

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
8	位置	基本パラメータ “ストローク(-)”～“ストローク(+)” *5 *7 *11	0.01mm
9			
10			
11			

●Byte12,13:加速度

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
12	加速度	1～基本パラメータ“最大加減速度” *7 *11	1mm/s ²
13			

●Byte14,15:減速度

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
14	減速度	1～基本パラメータ“最大減速度” *7 *11	1mm/s ²
15			

●Byte16,17:押当て推力

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
16	押当て推力	*7 *11	1%
17			

●Byte18,19:しきい値

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
18	しきい値	*7 *11	1%
19			

●Byte20,21:押当て速度

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
20	押当て速度	*7 *11	1mm/s
21			

●Byte22,23:位置決め推力

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
22	位置決め推力	*7 *11	1%
23			

*5 データの取扱い詳細については、**21. 送受信データの取扱いについて**参照してください。

*7 起動フラグの OFF 時に、数値データを変更してください。起動フラグの ON 時に数値データを変更すると、意図しない動作をする恐れがあります。

*11 入力可能な値は、アクチュエータ種類により限界値が異なります。使用範囲外の場合、動作異常や製品故障の恐れがあります。詳しくはアクチュエータ取扱説明書を参照ください。

●Byte24-27:エリア出力端 1

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
24	エリア出力端 1	基本パラメータ “ストローク(-)”~“ストローク(+)” *5 *7 *11	0.01mm
25			
26			
27			

●Byte28-31:エリア出力端 2

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
28	エリア出力端 2	基本パラメータ “ストローク(-)”~“ストローク(+)” *5 *7 *11	0.01mm
29			
30			
31			

●Byte32-35:位置決め幅

Byte	信号名	内容	
		入力範囲	最小単位
32	位置決め幅	*5 *7 *11	0.01mm
33			
34			
35			

*5 データの取扱い詳細については、**21. 送受信データの取扱い**について参照してください。

*7 起動フラグの OFF 時に、数値データを変更してください。起動フラグの ON 時に数値データを変更した場合、意図しない動作をする恐れがあります。

*11 入力可能な値は、アクチュエータ種類により限界値が異なります。使用範囲外の場合、動作異常や製品故障の恐れがあります。詳しくはアクチュエータ取扱説明書を参照ください。

(5) レコードデータ

●レコードデータオブジェクト

SLOT	SUB SLOT	Index	Record Data Length	内容
2	1	5	32 byte	ステップデータ No.0 *12
		6	32 byte	ステップデータ No.1 *12
		:	:	:
		68	32 byte	ステップデータ No.63 *12

●レコードデータインデックス内容詳細

Offset (Byte)	Size	設定項目 *13	設定範囲	最小単位
0-1	WORD	動作方法	1:ABS(絶対) 2:INC(相対) *10 *14	-
2-3	WORD	速度	1～基本パラメータ“最大速度” *5 *11 *14	1mm/s
4-7	DWORD	位置	基本パラメータ “ストローク(-)”～“ストローク(+)” *5 *11 *14	0.01mm
8-9	WORD	加速度	1～基本パラメータ“最大加速度” *5 *11 *14	1mm/s ²
10-11	WORD	減速度	1～基本パラメータ“最大減速度” *5 *11 *14	1mm/s ²
12-13	WORD	押当て推力	*5 *11 *14	1%
14-15	WORD	しきい値	*5 *11 *14	1%
16-17	WORD	押当て速度	*5 *11 *14	1mm/s
18-19	WORD	位置決め推力	*5 *11 *14	1%
20-23	DWORD	エリア出力 1	基本パラメータ “ストローク(-)”～“ストローク(+)” *5 *11 *14	0.01mm
24-27	DWORD	エリア出力 2	基本パラメータ “ストローク(-)”～“ストローク(+)” *5 *11 *14	0.01mm
28-31	DWORD	位置決め幅	基本パラメータ “ストローク(-)”～“ストローク(+)” *5 *11 *14	0.01mm

*5 データの取扱い詳細については、**21. 送受信データの取扱い**について参照してください。

*10 「1(ABS)」および「2(INC)」以外の数値は入力しないでください。

*11 入力可能な値は、アクチュエータ種類により限界値が異なります。使用範囲外の場合、動作異常や製品故障の恐れがあります。詳しくはアクチュエータ取扱説明書を参照ください。

*12 各インデックスの内容詳細は「●レコードデータインデックス内容詳細」を参照してください。

*13 ステップデータ設定項目についての詳細は **10.1 ステップデータ**を参照してください。

*14 動作停止時に、レコードデータのステップデータ項目を変更してください。アクチュエータ動作時にレコードデータのステップデータ項目を変更した場合、意図しない動作をする恐れがあります。

10. 設定データ入力

アクチュエータを指定位置に移動動作させるためには、パソコン(コントローラ設定ソフト)またはティーチングボックスで運転パターンを設定する必要があります。コントローラ設定ソフトやティーチングボックスから入力された各データは、コントローラ内のメモリに保存されます。

コントローラ設定ソフトとティーチングボックスには、2種類のモードがあり(イージーモードとノーマルモード)アクチュエータを動作するにあたって使い分けができます。

●イージーモード

コントローラ設定ソフトとティーチングボックスには、速度・位置などを設定するだけで簡単に動作させる事ができます。

変更可能なデータの種類の種類は、アクチュエータによって異なります。(データの組合せは、選択可能です。)

●ノーマルモード

イージーモードよりさらに細かく(アクチュエータやコントローラの条件等)設定できます。

ノーマルモードで設定できるデータは、[ステップデータ]、[基本パラメータ]および[原点復帰パラメータ]の3種類があります。

コントローラ設定ソフト ACT Controller2 では3種類のデータ設定に加え、[拡張機能]を設定可能です。

10.1 ステップデータ

[ステップデータ]は主に実際のアクチュエータ動作に関するデータであり、12種類64パターンのステップデータを管理します。各データはコントローラに書込直後から有効です。

例)パソコン(コントローラ設定ソフト)上のステップデータ表示[ノーマルモード]

No.	動作方法	速度 mm/s	位置 mm	加速度 mm/s ²	減速度 mm/s ²	押当 推力 %	しきい 値 %	押当 速度 mm/s	位置決 推力 %	エリア1 mm	エリア2 mm	位置 決幅 mm
0	ABS	100	20.00	1000	1000	0	0	0	100	18.00	22.50	0.5
1	ABS	50	10.00	1000	1000	70	60	5	100	6.0	12.0	1.5
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
63	ABS	20	5.00	500	500	0	0	0	100	3.0	8.0	1.2

⚠ 注意

ステップデータの書込みは、電動アクチュエータの停止中に行ってください。

電動ロータリテーブル LER シリーズの場合、単位系が"mm"から"°(度)"が適用されます。

例)速度・押当速度=[°/s]、位置・エリア1,2・位置決幅=[°]、加速度・減速度=[°/s²]

ステップデータ詳細

名称(日本語表記)		入力範囲	内容																
コントローラ 設定ソフト (ソフト)	ティーチン グボックス (TB)																		
No.	ステップ No.	0~63	ステップ No.を指定します。																
動作方法	動作方法	3 種類 (右表参照)	目標位置の座標系を設定します。																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>ソフト</th> <th>TB</th> <th>PLC</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空欄</td> <td>データ無効</td> <td>0</td> <td>設定したステップ No.のステップデータを無効とします。</td> </tr> <tr> <td>ABS</td> <td>絶対</td> <td>1</td> <td>アクチュエータの原点を基準とした絶対座標で目標位置を設定します。</td> </tr> <tr> <td>INC</td> <td>相対</td> <td>2</td> <td>現在位置を基準とした相対座標で目標位置を設定します。</td> </tr> </tbody> </table>	ソフト	TB	PLC	詳細	空欄	データ無効	0	設定したステップ No.のステップデータを無効とします。	ABS	絶対	1	アクチュエータの原点を基準とした絶対座標で目標位置を設定します。	INC	相対	2	現在位置を基準とした相対座標で目標位置を設定します。
			ソフト	TB	PLC	詳細													
			空欄	データ無効	0	設定したステップ No.のステップデータを無効とします。													
ABS	絶対	1	アクチュエータの原点を基準とした絶対座標で目標位置を設定します。																
INC	相対	2	現在位置を基準とした相対座標で目標位置を設定します。																
速度	速度	最小値 ~基本パラメータの “最大速度”*1	目標位置または押当開始位置への移動速度を設定します。 (単位:mm/s)																
位置	位置	基本パラメータ “ストローク(-)” ~“ストローク(+)”	目標位置または押当開始位置を設定します。(単位:mm)																
加速度	加速度	1~基本パラメータ “最大加減速度”	移動速度への加速度を設定します。(単位:mm/s ²)																
減速度	減速度	1~基本パラメータ “最大加減速度”	移動速度への減速度を設定します。(単位:mm/s ²)																
押当推力	押当推力	0または最小値 ~基本パラメータの “押当最大推力” *1	設定値により押当て運転か、位置決め運転かを選択します。 押当て運転が選択された場合は最大押当推力を 100%とした時の割合 分だけ押当推力が発生します。(単位:%) * 最大押当推力は、各アクチュエータにより異なりますので、 アクチュエータの取扱説明書、定格推力を参照してください。																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>動作方法</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>位置決め運転</td> <td>“位置”にて設定された目標位置に移動します。</td> </tr> <tr> <td>1~100</td> <td>押当て運転</td> <td>“位置”にて設定された押当開始位置に移動し、押当開始位置より、設定された推力以下にて押当動作を行います。</td> </tr> </tbody> </table>	設定値	動作方法	詳細	0	位置決め運転	“位置”にて設定された目標位置に移動します。	1~100	押当て運転	“位置”にて設定された押当開始位置に移動し、押当開始位置より、設定された推力以下にて押当動作を行います。							
			設定値	動作方法	詳細														
0	位置決め運転	“位置”にて設定された目標位置に移動します。																	
1~100	押当て運転	“位置”にて設定された押当開始位置に移動し、押当開始位置より、設定された推力以下にて押当動作を行います。																	
しきい値	しきい値	最小値~基本パラメータの “押当最大推力” *1	<p>■押当て運転時のみ有効です。 (“押当推力”を 1~100 と入力した場合) INP が ON となる条件です。アクチュエータがこの値以上の推力を発生 すると、INP が ON になります。 本パラメータは、押当推力以下の値に設定します。(単位:%) 位置決め運転の時は、設定の必要はありません。</p>																

*1 アクチュエータ種類により異なります。詳しくはアクチュエータ取扱説明書を参照ください。

押当速度	押当速度	*1 (押当速度 ≤ 速度)	<p>■ 押当て運転時のみ有効です。 (“押当推力”を 1~100 と入力した場合) 押当動作時の移動速度になります。高速度に設定すると、衝撃でアクチュエータやワークが破損することがありますので、各アクチュエータの設定範囲内で設定してください。(単位: mm/s) * 設定値の目安は、アクチュエータの取扱説明書をご確認ください。 ・位置決め運転の時は、設定の必要はありません。</p>						
位置決推力	位置決推力	*1	<p>位置決め運転時の最大トルクになります。(単位: %) 発生する推力は負荷に応じて最大トルクの範囲内で自動調整されます。 初期設定値より小さい値で使用するとタクトがばらつき、アラームが発生することがあります。 * 設定変更する場合は、アクチュエータの取扱説明書をご確認ください。</p>						
エリア 1	エリア出力端 1	基本パラメータ “ストローク(-)” ~“ストローク(+)”	<p>AREA が ON となる条件です。(単位: mm) 現在位置がエリア1(エリア出力端 1)~エリア2(エリア出力端 2)範囲内の時は、AREA が ON します。 * エリア1(エリア出力端 1) ≥ エリア2(エリア出力端 2)の場合は、アラーム“運転データ異常”となります。 (ただし、エリア 1 = エリア 2 = 0 の場合はアラームとなりませんが、AREA は常時 OFF となります。)</p>						
エリア 2	エリア出力端 2	基本パラメータ “ストローク(-)” ~“ストローク(+)”							
位置決幅	位置決幅	*1	<p>押当て運転、位置決め運転にてそれぞれ機能が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置決め運転: 位置決め幅(単位:mm) ●押当て運転: 押当幅(単位:mm) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">動作方法</th> <th style="width: 70%;">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>位置決め運転</td> <td> <p>INP が ON となる条件です。 アクチュエータが目標位置に対してこの位置決幅の範囲に入ると INP が ON となります。 (初期値のまま特に変更する必要はありません。) 動作完了前に到達信号を取りたい場合は数値を大きくしてください。 * INP が ON する範囲 目標位置 - 位置決幅 ≤ アクチュエータの位置 ≤ 目標位置 + 位置決幅</p> </td> </tr> <tr> <td>押当て運転</td> <td> <p>押当動作時のアクチュエータ移動量(押し込み量)です。押当開始位置からこの移動量を超えた場合、押当動作は終了します。移動量を超えた場合の停止では、INP は ON となりません。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	動作方法	詳細	位置決め運転	<p>INP が ON となる条件です。 アクチュエータが目標位置に対してこの位置決幅の範囲に入ると INP が ON となります。 (初期値のまま特に変更する必要はありません。) 動作完了前に到達信号を取りたい場合は数値を大きくしてください。 * INP が ON する範囲 目標位置 - 位置決幅 ≤ アクチュエータの位置 ≤ 目標位置 + 位置決幅</p>	押当て運転	<p>押当動作時のアクチュエータ移動量(押し込み量)です。押当開始位置からこの移動量を超えた場合、押当動作は終了します。移動量を超えた場合の停止では、INP は ON となりません。</p>
動作方法	詳細								
位置決め運転	<p>INP が ON となる条件です。 アクチュエータが目標位置に対してこの位置決幅の範囲に入ると INP が ON となります。 (初期値のまま特に変更する必要はありません。) 動作完了前に到達信号を取りたい場合は数値を大きくしてください。 * INP が ON する範囲 目標位置 - 位置決幅 ≤ アクチュエータの位置 ≤ 目標位置 + 位置決幅</p>								
押当て運転	<p>押当動作時のアクチュエータ移動量(押し込み量)です。押当開始位置からこの移動量を超えた場合、押当動作は終了します。移動量を超えた場合の停止では、INP は ON となりません。</p>								

*1 アクチュエータ種類により異なります。詳しくはアクチュエータ取扱説明書を参照ください。

10.2 基本パラメータ

[基本パラメータ]は、コントローラの運転条件や、アクチュエータ条件等を設定するデータです。

⚠ 注意

パラメータ書込みは、電動アクチュエータの停止中に行ってください。
電動ロータリテーブル LER シリーズの場合、単位系が”mm”から”° (度)”が適用されます。

基本パラメータ詳細

書込欄：“■”=コントローラに書込直後から有効、“○”=電源再投入にて有効、“—”=本コントローラでは固定値です。

名称(日本語表記)		入力 範囲	内容	書 込
コントローラ 設定ソフト	ティーチング ボックス			
コントローラ ID	コントローラ ID	1~32	シリアル通信時の ID 番号(軸)データを設定します。	○
IO パターン	IO パターン	固定値	本コントローラでは、固定値です。(初期値は「1」です) 設定を変更しないでください。 [ステップデータ数 64 点(標準)]を示します。	—
加減速 パターン	加減速 パターン	固定値	本コントローラでは、固定値です。 (設定を変更しないでください。)	—
S 字動作比率	S 字動作比率	固定値	本コントローラでは、固定値です。 (設定を変更しないでください。)	—
ストローク(+)	ストローク(+)	*1	位置の+側限界値を設定します。(単位 mm) ステップデータ“位置”にて、この値より大きい値を入力できない ように設定出来ます。	■
ストローク(-)	ストローク(-)	*1	位置の-側限界値を設定します。(単位 mm) ステップデータ“位置”にて、この値より小さい値を入力できない ように設定出来ます。	■
最大速度	最大速度	*1 *2	最大設定可能速度を設定します。(単位 mm/s) ステップデータ“速度”にて、この値より大きい値を入力できない ように設定出来ます。	■
最大加減速度	最大加減速度	*1	最大設定可能加速度を設定します。(単位 mm/s ²) ステップデータ“加速度”にて、この値より大きい値を入力できな いように設定出来ます。	■
初期位置決幅	初期位置決幅	*1	原点復帰後の位置で、INP が ON する範囲を示します。 (単位 mm)	■

*1 入力可能な値は、アクチュエータ種類により異なります。詳細はアクチュエータ取扱説明書を参照してください。

*2 “最大速度”は電動アクチュエータの最大速度に設定することを推奨します。コントローラは、この設定値を超えない
ように制御が制限されるため低く設定すると応答時間がおそくなる場合があります。

原点オフセット	原点オフセット	*1	<p>原点復帰動作後のアクチュエータ位置を設定します。 (単位 mm)</p> <p>■原点オフセット 0mm の場合</p> <p>コントローラが認識する 原点復帰後の位置(0mm)</p> <p>■原点オフセット 100mm の場合</p> <p>コントローラが認識する 原点復帰後の位置(100mm)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> <p>“原点オフセット”を変更した場合は、基本パラメータ“ストローク(+)”、“ストローク(-)”の値を再確認してください。 “原点オフセット”は原点復帰実施後に有効となりますので、変更後は必ず原点復帰を実施してください。</p> </div>	■
押当最大推力	押当最大推力	*1	押当て運転時の最大推力を示します。(単位 %)	■
パラメータ プロテクト	パラメータ プロテクト	1~2	<p>パラメータおよびステップデータの変更許可範囲を設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 基本+ステップデータ(基本パラメータ+原点復帰パラメータ+ステップデータ) 基本(基本パラメータ+原点復帰パラメータ) 	■
イネーブル SW	イネーブル SW	1~2	<p>ティーチングボックスのイネーブル SW 機能状態を設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 有効 無効 	■
機器名	機器名	固定値	コントローラに対応するアクチュエータの形式を示します。 設定を変更しないでください。	—
W エリア 出力端 1	W エリア 出力端 1	基本パラメータ “ストローク(-)” ~“ストローク (+)”	<p>WAREA が ON となる条件です。(単位 mm)</p> <p>現在位置が W エリア出力端 1~W エリア出力端 2 範囲内の時は、WAREA が ON します。</p> <p>* W エリア出力端 1>=W エリア出力端 2 の場合は、アラーム “システム PARA 異常”となります。ただし、W エリア出力端 1 =W エリア出力端 2=0 の場合はアラームとなりませんが、WAREA は OFF となります。</p>	■
W エリア 出力端 2	W エリア 出力端 2	基本パラメータ “ストローク(-)” ~“ストローク (+)”		■
原点補正 データ	リンク補正量	固定値	本コントローラでは固定値です。(初期値は「0」です) 設定を変更しないでください。	—
センサタイプ	センサタイプ	固定値	<p>本コントローラでは固定値です。 設定を変更しないでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> インクリメンタルエンコーダ バッテリーレスアブソリュートエンコーダ 	—
オプション 設定 1	オプション 設定 1	固定値	本コントローラでは固定値です。(初期値は「0」です) 設定を変更しないでください。	○
未定義 パラメータ 11	未定義 パラメータ 11	固定値	本コントローラでは固定値です。(初期値は「0」です) 設定を変更しないでください。	○
未定義 パラメータ 12	未定義 パラメータ 12	固定値	本コントローラでは固定値です。(初期値は「0」です) 設定を変更しないでください。	—

*1 入力可能な値は、アクチュエータ種類により異なります。詳細はアクチュエータ取扱説明書を参照してください。

10.3 原点復帰パラメータ

[原点復帰パラメータ]は、コントローラの原点復帰動作を設定するデータです。

原点復帰パラメータ詳細

書込欄：「■」=コントローラに書込直後から有効、「○」=電源再投入にて有効、「-」=本コントローラでは固定値です。

名称(日本語表記)		入力範囲	内容	書込
コントローラ設定ソフト	ティーチングボックス			
原点復帰方向	原点復帰方向	1~2	原点復帰方向を設定します。*1 1. CW 方向[CW] 2. CCW 方向[CCW] <div style="text-align: center;"> </div>	○
原点復帰モード	原点復帰モード	1~2	原点復帰を設定します。 1. 押当原点復帰[押当] 2. リミットスイッチ原点復帰[SW]	■
押当原点レベル	押当原点レベル	*2	原点復帰動作時の押当確認レベルを設定します。	■
原点検出時間	原点検出時間	固定値	本コントローラでは固定値です。 設定を変更しないでください。	-
原点復帰速度	原点復帰速度	*2	原点復帰動作時の移動速度を設定します。	■
原点復帰加減速	原点復帰加速度	*2	原点復帰動作時の加減速度を設定します。	■
クリープ速度	クリープ速度	固定値	本コントローラでは固定値です。 設定を変更しないでください。	-
原点センサ種類	原点センサ種類	0~2	原点センサの種類を設定します。 0. 原点センサ無効[無効] 1. 原点センサ極性が a 接点の場合[a 接点] 2. 原点センサ極性が b 接点の場合[b 接点]	■
原点スイッチ方向	原点 SW 方向	固定値	本コントローラでは固定値です。(初期値は「0」です) 設定を変更しないでください。	-
未定義パラメータ 21	未定義パラメータ 21	固定値	本コントローラでは固定値です。(初期値は「0」です) 設定を変更しないでください。	-

*1 原点復帰パラメータ「原点復帰方向」を変更し、電源を再投入すると、SET ON 出力が OFF になります。

再度原点復帰を実施してください。

*2 アクチュエータ種類により異なります。詳細はアクチュエータ取扱説明書を参照してください。

10.4 拡張機能

コントローラの拡張機能を設定するデータです。

拡張機能を設定する際は、コントローラ設定ソフト ACT Controller2 にて設定をしてください。*1
設定方法の詳細は ACT Controller2 取扱説明書をご確認ください。

拡張パラメータ詳細

書込欄： “■”=コントローラに書込直後から有効、“○”=電源再投入にて有効、“-”=本コントローラでは固定値です。

名称(日本語表記)	入力範囲	内容	書込																
コントローラ設定ソフトウェア																			
原点復帰方向 (座標変更)*2	1~2	アクチュエータの座標系を変更します。 原点復帰方向も変更します。 <div style="text-align: center;"> </div>	○																
JOG 速度	最小値 ~基本パラメータの “最大速度”*3	JOG 運転時の速度を定義します。(単位 1mm/s)	■																
JOG 加速度	1~基本パラメータ の“最大加減速	JOG 運転時の加速度を定義します。 (単位 1mm/s ²)	■																
JOG 減速度	1~基本パラメータ の“最大加減速度	JOG 運転時の減速度を定義します。 (単位 1mm/s ²)	■																
JOG 推力	*3	JOG 運転時のトルクリミットを定義します。 (単位 1%)	■																
定寸距離	0.01~ フルストローク *3	定寸送り量を定義します。(単位 0.01mm)	■																
安全速度制限	最小値 ~基本パラメータの “最大速度”*3	速度制限有効時の速度最大値を定義します。	■																
通信速度	1~6	シリアル通信速度を選択します。*4 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>通信速度</th> <th>設定値</th> <th>通信速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9,600bps</td> <td>4</td> <td>57,600bps</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>19,200bps</td> <td>5</td> <td>115,200bps</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>38,400bps</td> <td>6</td> <td>230,400bps</td> </tr> </tbody> </table>	設定値	通信速度	設定値	通信速度	1	9,600bps	4	57,600bps	2	19,200bps	5	115,200bps	3	38,400bps	6	230,400bps	○
設定値	通信速度	設定値	通信速度																
1	9,600bps	4	57,600bps																
2	19,200bps	5	115,200bps																
3	38,400bps	6	230,400bps																

*1 コントローラ設定ソフトウェア(ACT Concontroller2)は当社ホームページよりダウンロードしてください。
(<http://www.smcworld.com/>)

*2 原点復帰パラメータ「原点復帰方向(座標変更)」を変更し、電源を再投入すると、SET ON 出力が OFF になります。再度原点復帰を実施してください。

*3 アクチュエータ種類により異なります。詳細はアクチュエータ取扱説明書を参照してください。

*4 コントローラの通信速度を変更した場合、コントローラ設定ソフトおよびティーチングボックスの接続時に通信速度設定を変更してください。

11. 運転説明

11.1 原点復帰

下記の場合は、原点復帰をする必要があります。

(1) 電源を投入したとき

バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応の場合

初めて電源を投入した時に、原点復帰が必要となります。

次回以降の電源再投入時には原点復帰は不要となります。

インクリメンタルエンコーダ対応の場合

電源を投入した時に、毎回原点復帰が必要となります。

(2) アクチュエータまたはモータを交換したとき

バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応とインクリメンタルエンコーダ対応ともに、原点復帰が必要となります。

(3) アラーム「グループ E」が発生し、電源再投入によりアラームリセットしたとき

バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応とインクリメンタルエンコーダ対応ともに、原点復帰が必要となります。

バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応の場合、(1)と(2)の電源投入時に

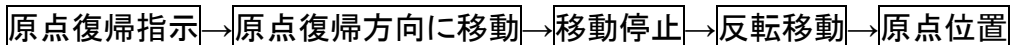
「アブソ ID 不一致アラーム(01-153)」が発生した場合は、アラームリセットした後に原点復帰を実施してください。

電動アクチュエータとコントローラをセット品番で購入いただいている場合、工場出荷時にアラームリセットが行われているため、(1)の電源投入時の「アブソ ID 不一致アラーム(01-153)」は発生しません。ただし、同じセット品番で複数台購入いただいている場合、電動アクチュエータとコントローラが工場出荷時と異なる組合せで接続されると、(1)の電源投入時の「アブソ ID 不一致アラーム(01-153)」が発生します。

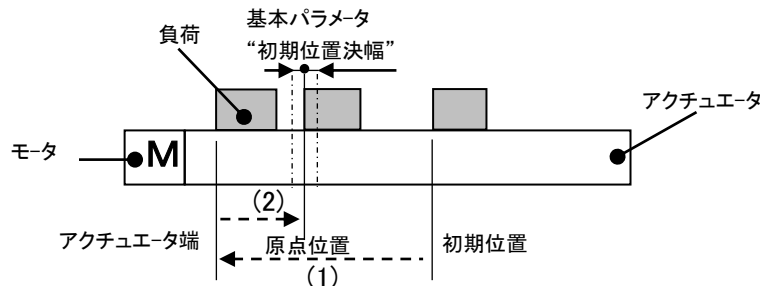
■原点復帰動作

アクチュエータが電源投入時の初期位置から原点復帰方向(* アクチュエータによって異なります)へ移動します。・・・下図“(1)”

アクチュエータ端まで移動子が移動し、停止してから一定の時間経過すると、コントローラはアクチュエータ端と認識します。その後、アクチュエータは低速で原点復帰方向と逆方向に移動します。・・・下図“(2)”
移動後の位置を原点位置とします。



例)原点復帰動作



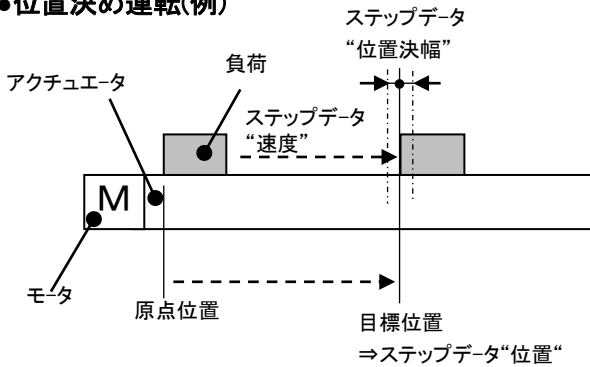
⚠ 注意

アクチュエータの原点復帰方向は、アクチュエータによって異なります。

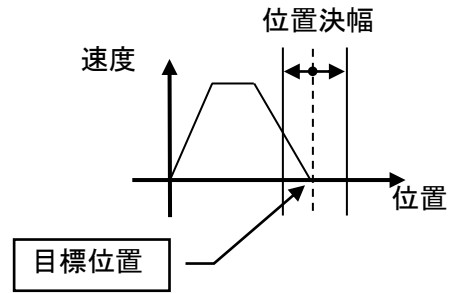
11.2 位置決め運転

* [ステップデータ] “押当推力”が“0”の場合。
[ステップデータ] “位置”で設定した目標位置へ移動します。

●位置決め運転(例)



●位置決め運転【速度/位置】(例)



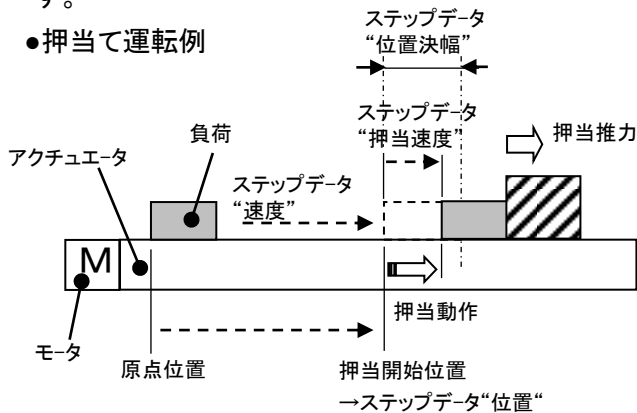
11.3 押当て運転

[ステップデータ] “押当推力”に“1 以上の値”が登録されている場合、押当て運転となります。
通常の位置決め運転と同様に、[ステップデータ]の“位置” “速度”にて位置決め運転を行い、“位置”で規定される押当開始位置から押当動作を始めます。
押当動作は、[ステップデータ] “押当推力”に規定される最大推力以下で運転を行います。

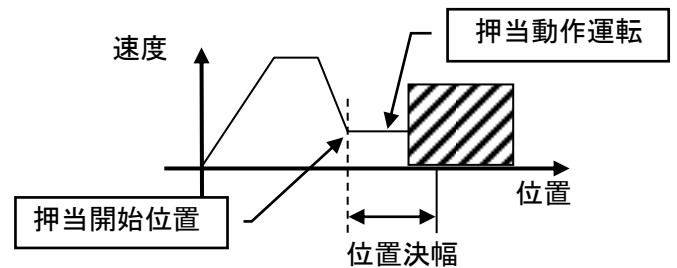
(1) 押当動作が成功の時

押当て運転は、[ステップデータ] “しきい値”に規定される推力値以上の状態が、一定時間以上続いた場合、INP がONとなります。ただし、押当て運転が完了した後も、[ステップデータ]に設定した推力を発生し続けます。

●押当て運転例

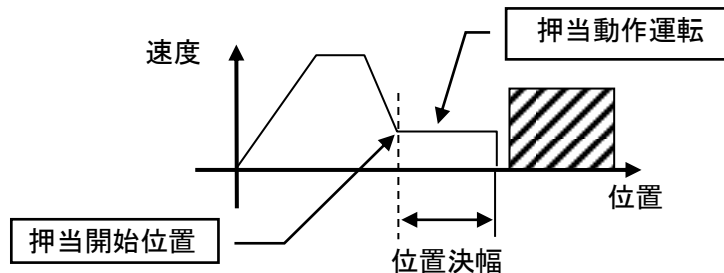


●押当て運転(速度/位置)



(2) 押当動作が失敗した時(空振り)

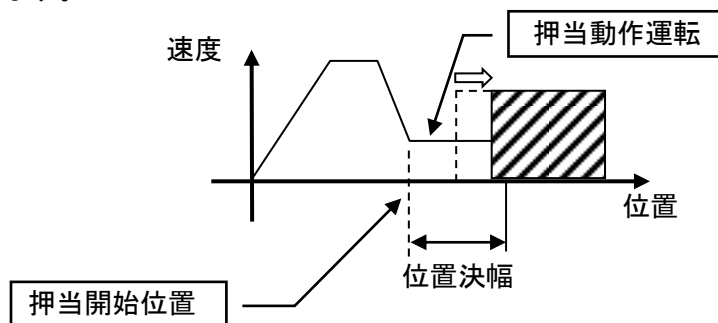
押当動作の開始位置から[ステップデータ] “位置決め幅”で規定される範囲までを動作しても、押当動作が完了しない場合、運転を停止します。その場合は、INP が OFF となります。



(3) 押当動作完了後にワークが動いてしまう場合

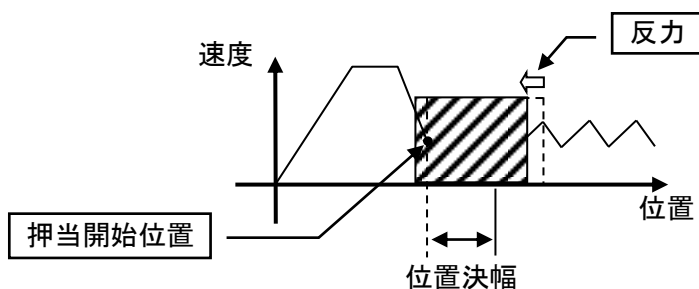
[1] ワークが押当て方向に動いてしまう場合

押当動作完了後、押当対象の反力が小さくなりアクチュエータが[ステップデータ]“しきい値”より小さい推力にて動いてしまった場合、INP が OFF となり、位置決幅の範囲内で変化に追従します。再度、[ステップデータ]“しきい値”に規定される推力値以上の状態が、一定時間以上続いた場合、INP が再度ONとなります。



[2] ワークが押当て方向と逆に動いてしまう場合(ワークからの反力が強すぎて押し戻される場合)

押当動作完了後、押当対象の反力が大きくなりアクチュエータが押し戻された場合、INP が ON のまま、反力と押当動作の力がつりあうまで押し戻されます(押当開始位置方向に戻されます)。押当開始位置より押し戻された場合は、アラーム(押当動作異常)となります。



11.4 コントローラの入力信号に対する応答時間について

コントローラの入力信号に対する応答の遅延には、以下の要素が介在します。

- (1)コントローラの入力信号のスキャン遅れ
- (2)入力信号解析演算による遅れ
- (3)命令解析処理の遅れ

PLC の処理遅れやコントローラのスキャン遅れが発生するため、通信サイクルタイムの 2 倍以上、入力信号の間隔および信号状態の維持を設けてください。

11.5 運転中の中断方法について

位置決め運転および押当て運転にて、動作を中断しアクチュエータを停止させる方法として以下の 3 つの方法があります。停止後の状態が異なりますので、用途に合わせて使用ください。

●EMG 信号による停止

動作中に EMG 信号を OFF すると、アクチュエータが減速停止後サーボ OFF となり停止位置を保持しません。
(ロック付アクチュエータの場合は、ロック機構により保持されます。)

●RESET 信号による停止

動作中に RESET 信号を ON にすると、アクチュエータが減速停止後、停止位置で保持します。
(サーボ OFF しません。)

●HOLD 信号による停止

動作中に HOLD 信号を ON すると、アクチュエータは減速し停止します。
(サーボ OFF しません。)



注意

EMG 信号および RESET 信号にて停止を指示した場合は、OUT 信号はすべて OFF になります。
また、HOLD 中の RESET 信号の入力は有効となります。

12. 運転(例)

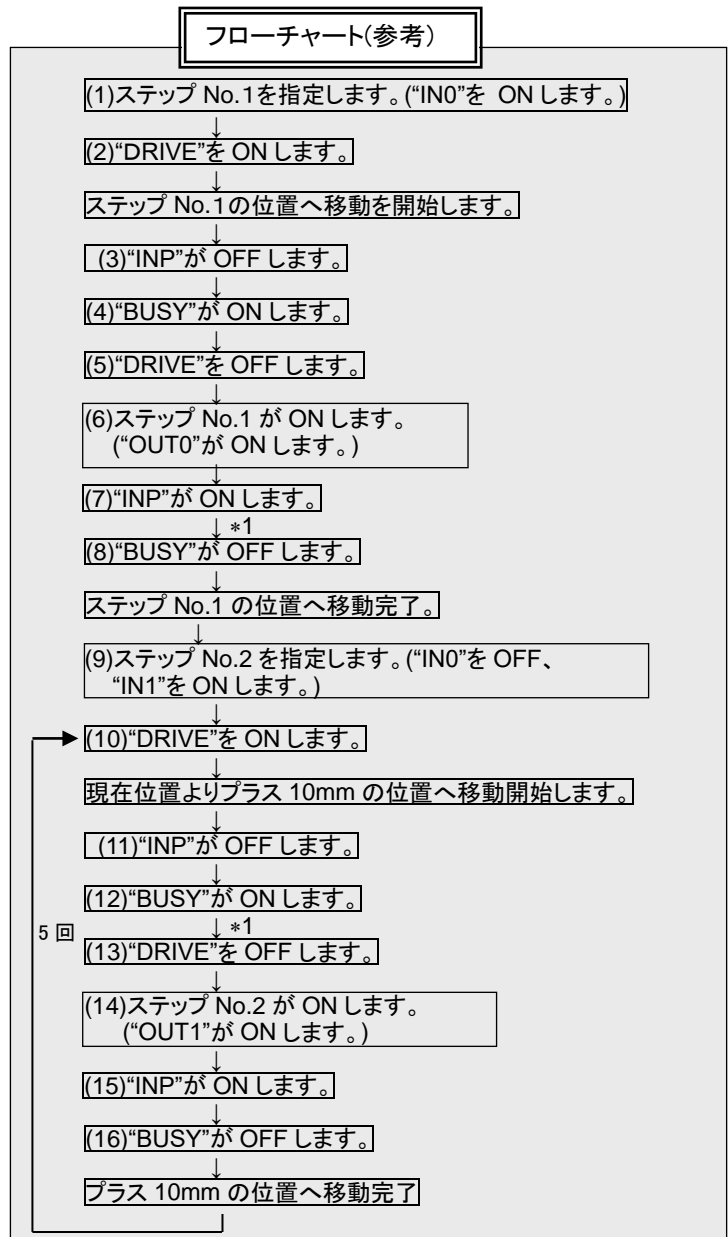
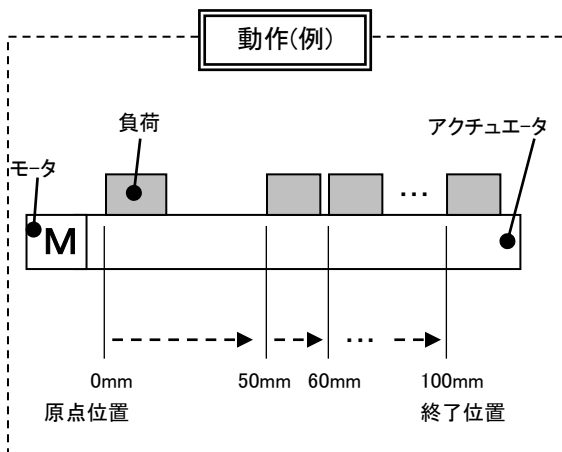
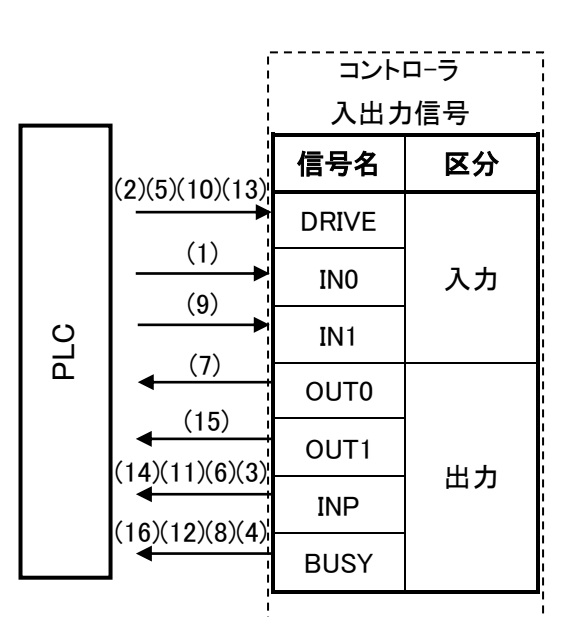
12.1 位置決め運転

例)原点位置から 100mm/s の速度で 50mm の位置に移動します。(ステップ No.1 指示)

次に 50mm の位置から 50mm/s の速度で 10mm ごとに、5 回連続的に移動させて 100mm の位置に移動させる(ステップ No.2 指示)場合の設定例を示します。

■[ノーマルモード]ステップデータ設定例

No.	動作方法	速度 mm/s	位置 mm	加速度 mm/s ²	減速度 mm/s ²	押当推力 %	しきい値 %	押当速度 mm/s	位置決推力 %	エリア1 mm	エリア2 Mm	位置決幅 mm
0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	ABS	100	50.00	1000	1000	0	0	0	100	0	0	0.1
2	INC	50	10.00	1000	1000	0	0	0	100	0	0	0.1



*1 “SVRE”、“SETON”は必ず ON している。

12.2 押当て運転

例)原点位置から 100mm/s の速度で 100mm の位置に移動します。(ステップ No.1 指示)

100mm の位置からは、速度 10mm/s で押当推力値を 50%以下で押当て運転します。

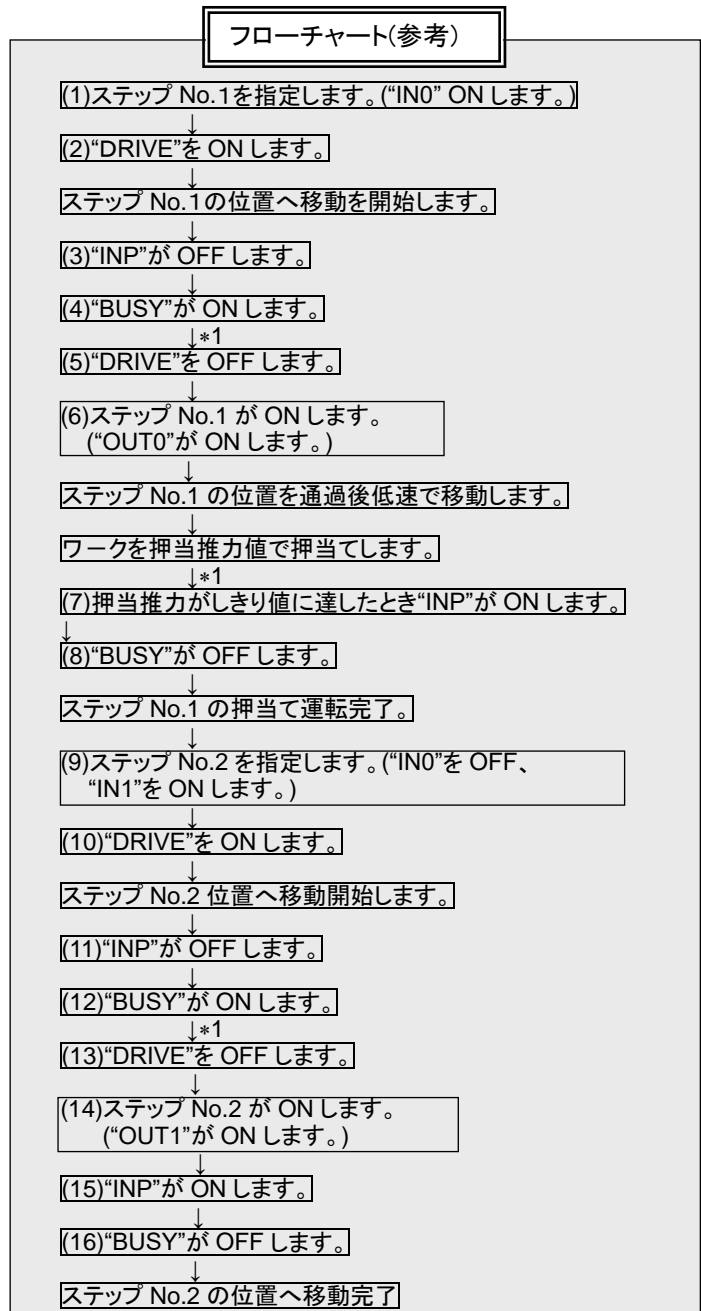
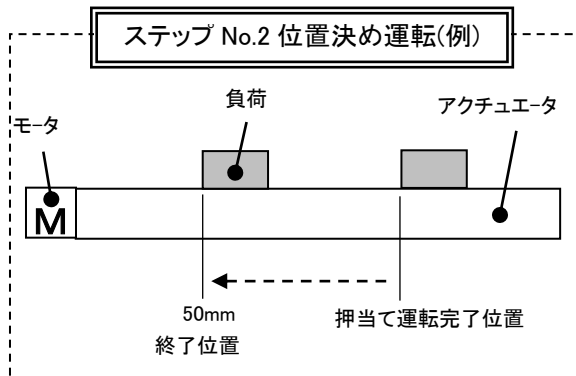
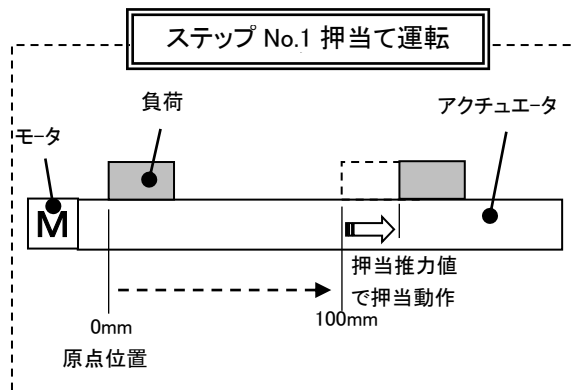
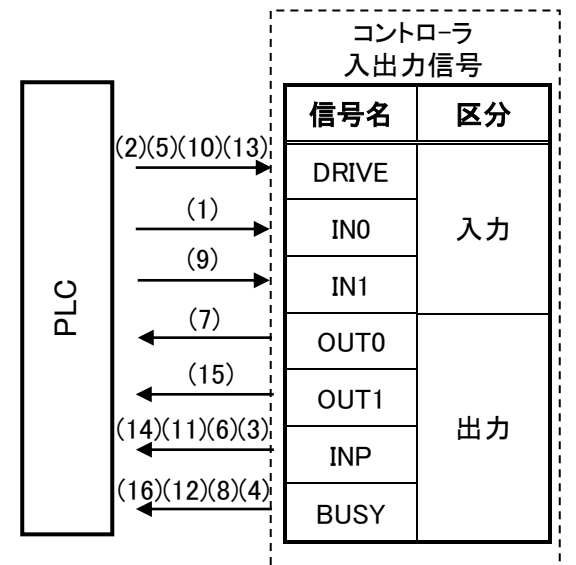
(最大押込み量を 5mm)

次に押当て運転完了位置(“INP”が ON の位置)から 50mm/s の速度で 50mm の位置に移動します。

(ステップ No.2 指示)

■[ノーマルモード]ステップデータ設定例

No.	動作方法	速度 mm/s	位置 mm	加速度 mm/s ²	減速度 mm/s ²	押当推力 %	しきい値 %	押当速度 mm/s	位置決推力 %	エリア1 mm	エリア2 mm	位置決幅 mm
0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	ABS	100	100.00	1000	1000	50	40	10	100	0	0	5
2	ABS	50	50.00	1000	1000	0	0	0	100	0	0	0.1



*1 “SVRE”、“SETON”は必ず ON している。

13. 運転指示方法

13.1 運転指示方法概要

8. 運転方法で示した、各機能での運転指示方法を示します。

13.2 バッテリレスアブソリュートエンコーダの電源立ち上げ手順

[1] 立ち上げ手順概要

バッテリレスアブソリュートエンコーダの電源投入時の状況ごとの、立ち上げ手順の概要を以下に記します。

各信号のメモリ割付については [9.1 メモリ割付](#)を参照ください。

○ 初めて電源を投入する場合

(詳細は [\[2\] 初めて電源を投入する場合](#) 参照)

下記の電源投入後に「アブソ ID 不一致アラーム(01-153)」が発生した場合は、アラームリセット後に原点復帰を実施ください。

- 購入後、初めて電動アクチュエータを接続し、電源を投入したとき
- アクチュエータまたはモータを交換したとき

⚠注意

電動アクチュエータとコントローラをセット品番で購入いただいている場合、工場出荷時にアラームリセットが行われているため、電源投入時に「アブソ ID 不一致アラーム(01-153)」は発生しません。

ただし、同じセット品番で複数台購入いただいている場合、電動アクチュエータとコントローラが工場出荷時と異なる組合せで接続されると、電源投入時に「アブソ ID 不一致アラーム(01-153)」が発生します

○ 電源再投入

(詳細は [\[3\] 電源復帰\(原点復帰済みの場合\)](#) 参照)

○ アラーム(グループ E)を電源遮断によりアラーム解除した場合

(詳細は [\[4\] アラーム\(グループ E\)を電源遮断によりアラーム解除した場合](#) 参照)

SETON 出力が OFF となりますので、原点復帰を実施してください。

なお、原点復帰パラメータ「原点復帰方向」を変更し、電源を再投入時も同様の立ち上げ手順となります。

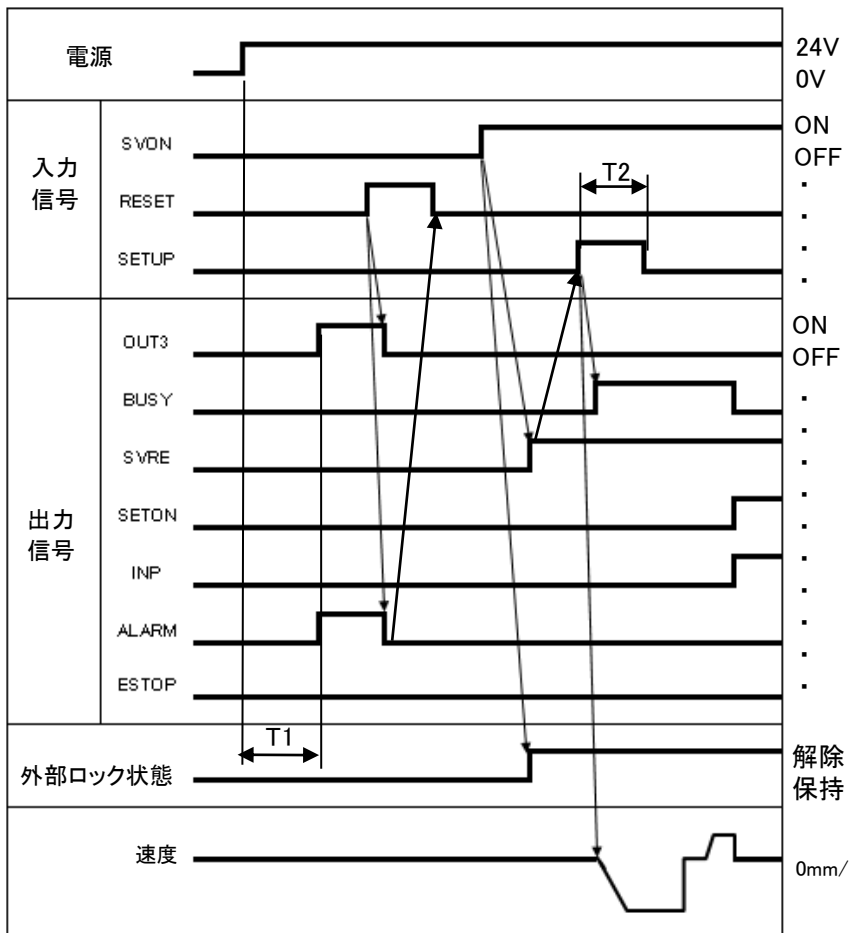
[2] 初めて電源を投入する場合

各項目の下記の「手順」、「タイミングチャート」をご参照ください。

-手順-

- (1) 電源を投入
- ↓
- (2) ESTOP 出力が OFF
ALARM 出力が ON
OUT3 出力が ON
(「1-153: アブソ ID 不一致」
アラーム発生)
- ↓
- (3) RESET 入力を ON
- ↓
- (4) ALARM 出力が OFF
- ↓
- (5) SVON 入力を ON
- ↓
- (6) SVRE 出力が ON
※ロック付アクチュエータの場合、
ロックが解除されます。
- ↓
- (7) SETUP 入力を ON
- ↓
- (8) BUSY 出力が ON(動作します。)
- ↓
- (9) SETON、INP 出力が ON、
BUSY 出力が OFF すると
原点復帰完了。
以後、DRIVE 等の運転可能。

-タイミングチャート-



T1: 1.6s 以下(システム初期化時間+アラーム確定時間)
T2: 通信サイクルの 2 倍以上

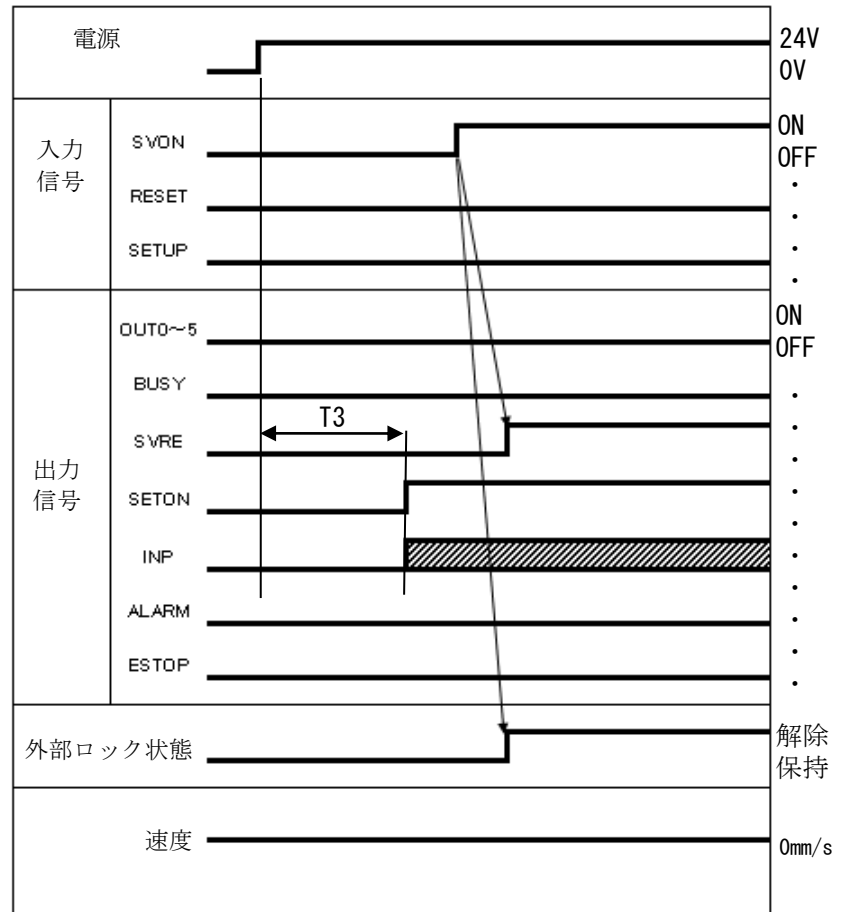
[3] 電源復帰(原点復帰済みの場合)

電源再投入時、「ALARM」が OFF(アラームなし)状態の場合、T3 経過後に SETON 出力が ON となります。

-手順-

- (1) 電源を投入
- ↓
- (2) ESTOP 出力が OFF
ALARM 出力が OFF
- ↓
- (3) T3 経過後、SETON 出力が ON
- ↓
- (4) SVON 入力を ON
- ↓
- (5) SVRE 出力が ON。
以後、DRIVE 等の運転可能

-タイミングチャート-



T3: 3s 以下(システム初期化時間+位置データ読込時間)

⚠注意

電源復帰時、電源遮断により前回動作の目標位置のデータがコントローラからクリアされているため、INP 出力は OFF となります。
ただし、電動アクチュエータが原点(0mm)±基本パラメータ「初期位置決め幅」の範囲内にある場合のみ、SETON 出力が ON した際に INP 出力は ON となります。

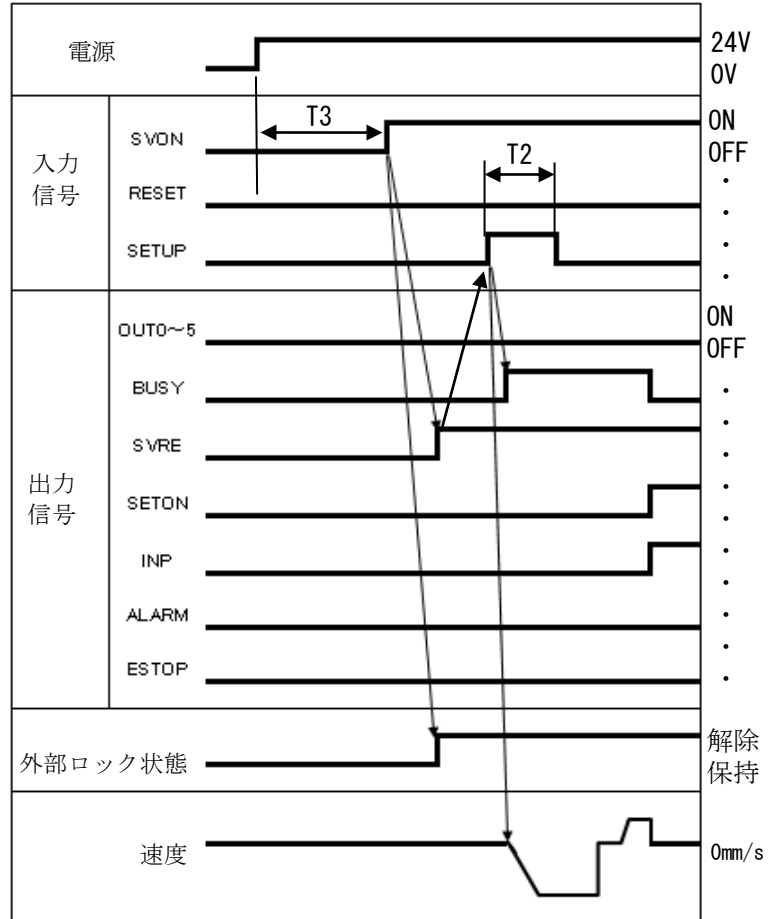
(4) アラーム(グループ E)を電源遮断によりアラーム解除した場合

アラーム(グループ E)が発生し、電源遮断によりアラームリセットした場合、原点復帰動作が必要となります。
 なお、原点復帰パラメータ「原点復帰方向」を変更し、電源を再投入時も同様の立ち上げ手順となります。

-手順-

- (1) 電源を投入
- ↓
- (2) ALARM 出力が OFF
ESTOP 出力が OFF
- ↓
- (3) T3 経過後、SVON 入力を ON
- ↓
- (4) SVRE 出力が ON
※アクチュエータ種類や使用条件により SVRE 出力が ON までの時間が異なります。
※ロック付アクチュエータの場合、ロックが解除されます。
- ↓
- (5) SETUP 入力を ON
- ↓
- (6) BUSY 出力が ON
(動作します。)
- ↓
- (7) SETON、INP 出力が ON
BUSY 出力が OFF すると
原点復帰完了。
以後、DRIVE 等の運転可能

-タイミングチャート-



T2: 通信サイクルの 2 倍以上
 T3: 3s 以下(システム初期化時間+位置データ読込時間)

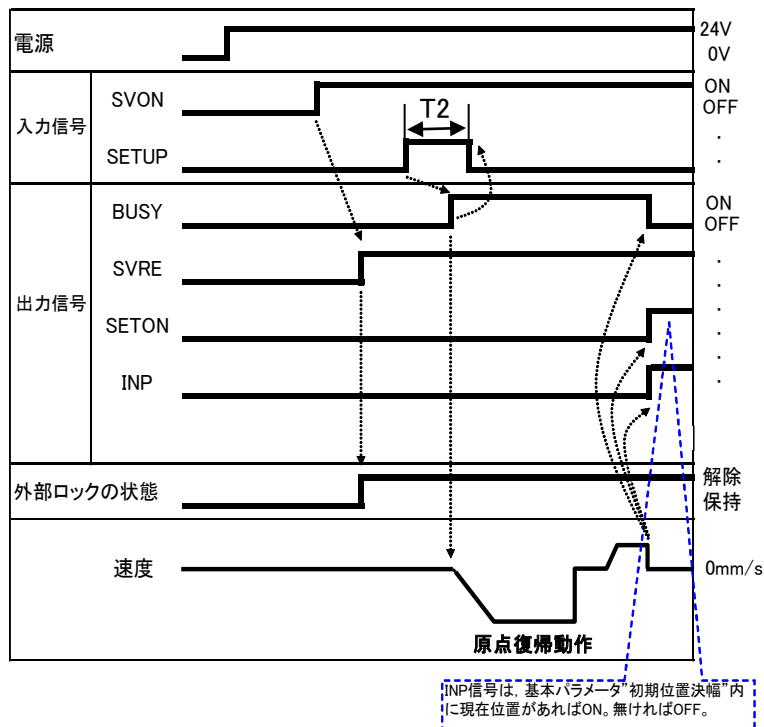
13.3 インクリメンタルエンコーダの電源立ち上げ手順

インクリメンタルエンコーダの電源立ち上げ手順を以下に記します。

各信号のメモリ割付については **9.1 メモリ割付** を参照ください。

- (1) 電源を投入します。
- (2) SVON を ON します。
- (3) SVRE が ON します。
 * アクチュエータ種類や使用条件により SVRE が ON までの時間が異なります。
 * ロック付アクチュエータの場合、ロックが解除されます。
- (4) SETUP を ON します。
- (5) BUSY が ON します。
 (原点復帰を開始します。)
 BUSY の ON 後、SETUP を OFF します。
- (6) SETON、INP が ON します。
 INP が ON すると原点復帰完了。

タイミングチャート



T2: 通信サイクルの 2 倍以上

13.4 ステップ No.指示運転機能の運転手順

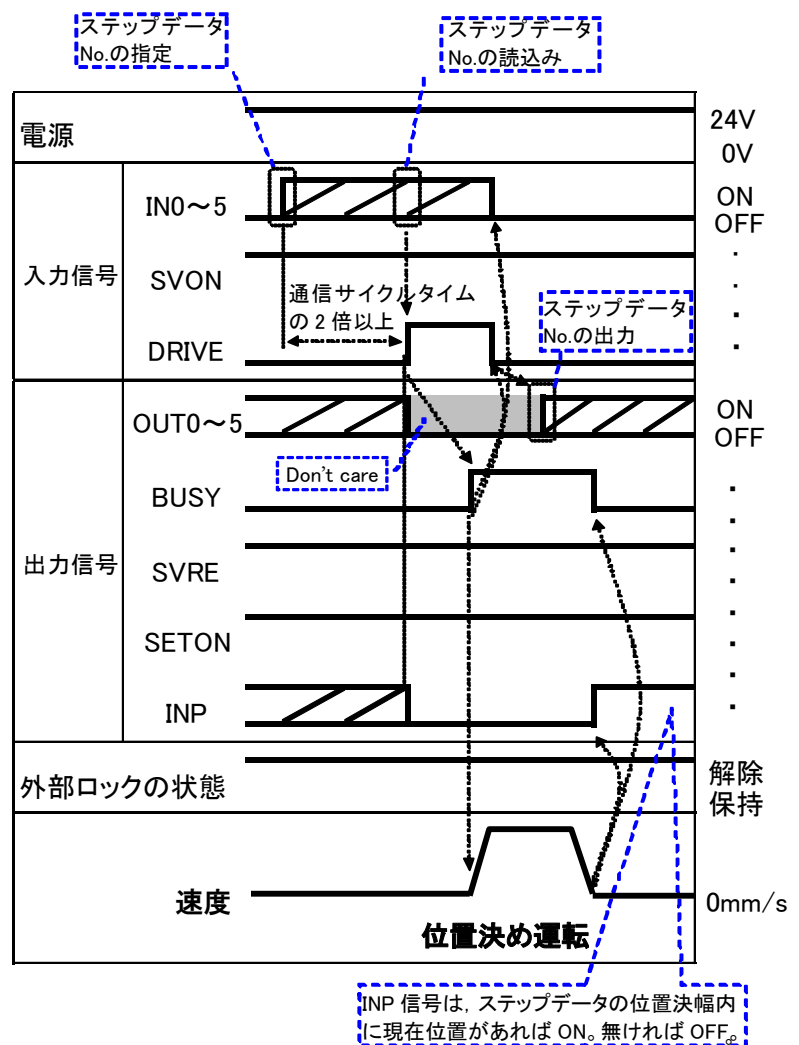
各項目の下記の[手順、タイミングチャート]を参照ください。また、各信号のメモリ割付については **9.1 メモリ割付**を参照ください。

[2]位置決め運転

—手順—

- (1)ステップデータ No.(IN0～IN5)を指定します。
- (2)DRIVE を ON します。
(INP が OFF します。) →指定されたステップデータ No. (IN0～IN5)の読み込み
- (3)BUSY が ON します。
(位置決め運転を開始します。)
* BUSY の ON 後、DRIVE を OFF するとステップデータ No. (OUT0～OUT5)が出力されます。
- (4)INP が ON、BUSY が OFF すると位置決め運転完了。

—タイミングチャート—

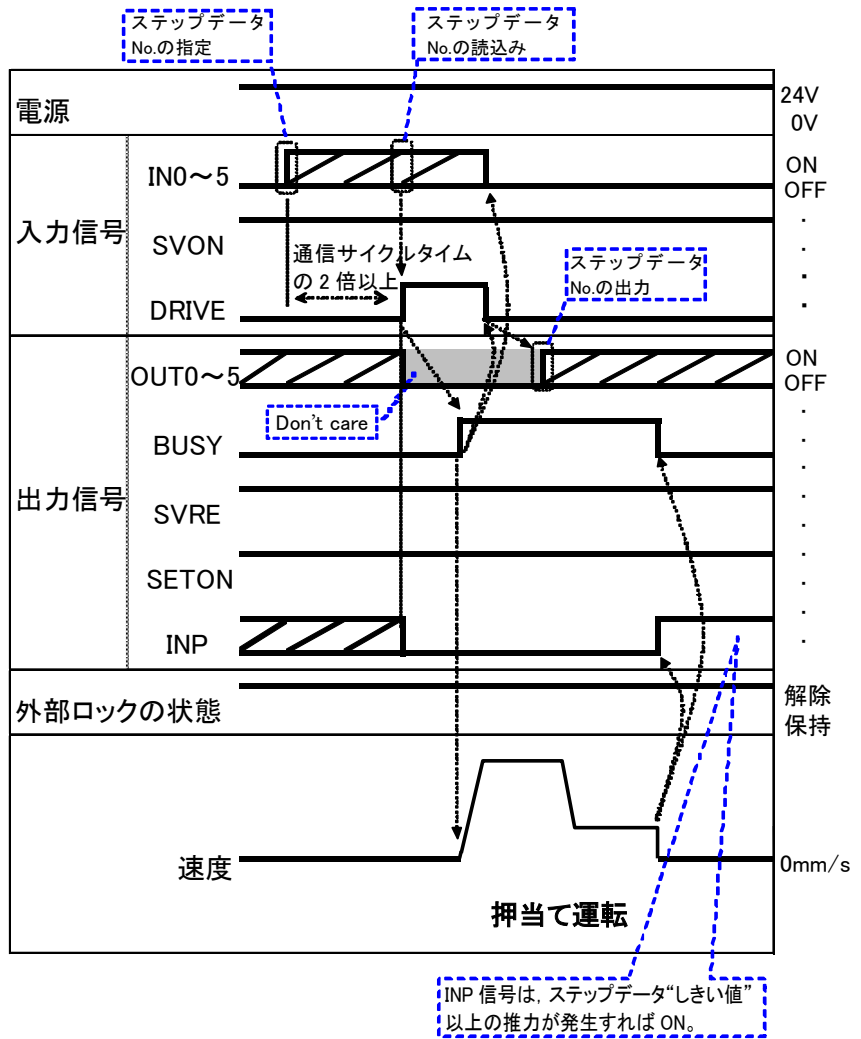


[3]押当て運転

—手順—

- (1) ステップデータ No.(IN0~IN5)を指定します。
- (2)DRIVE を ON します。
(INP が OFF します。)
→ステップデータ No.
(IN0~IN5)の読み込み
- (3)押当て運転を開始すると、BUSY が ON します。
* BUSY の ON 後、DRIVE を OFF するとステップデータ No.(OUT0~OUT5)が出力されます。
- (4)INP が ON、BUSY が OFF すると押当て運転完了。
(ステップデータ“しきい値”以上の推力が発生します。)

—タイミングチャート—

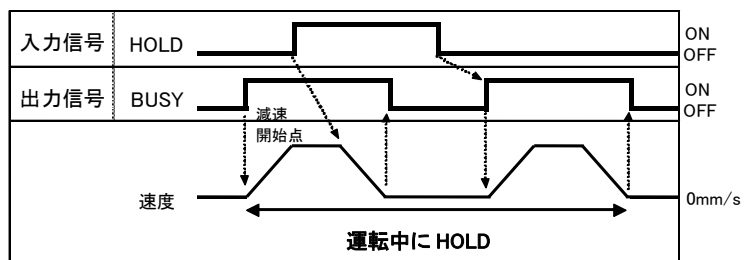


[4]一時停止(HOLD)

—手順—

- (1)運転中(BUSY の ON 中) HOLD を ON します。
- (2)BUSY が OFF します。
(停止します。)
- (3)HOLD を OFF します。
- (4)BUSY が ON します。
(再び動作します。)

—タイミングチャート—

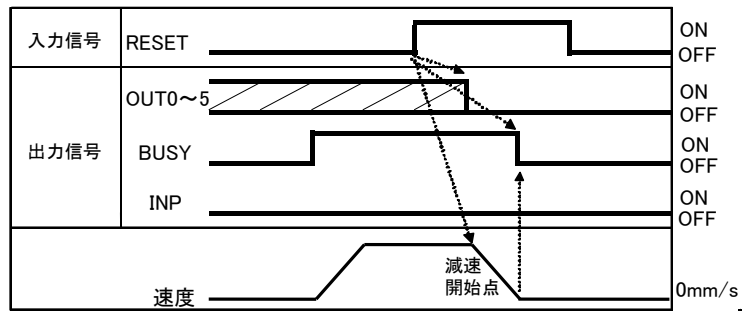


[5]リセット

—手順— [運転のリセット]

- (1)運転中(BUSY の ON 中)
RESET を ON します。
- (2)BUSY、OUT0~OUT5 が
OFF します。
- (3)アクチュエータは減速し停止します。

—タイミングチャート— 運転のリセット

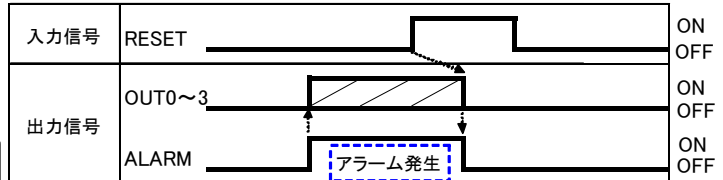


*停止位置が位置決め幅内の場合 INP は ON します。

—手順— [アラームのリセット]

- (1)アラーム発生
ALARM が ON します。
OUT0~3 からアラームグループが出力。
アラームコードが出力。
確認するメモリと内容詳細については、
9. メモリマップ詳細
15.1 アラームグループの信号出力
15.3 アラーム内容・対策
を参照してください。

—タイミングチャート— アラームのリセット



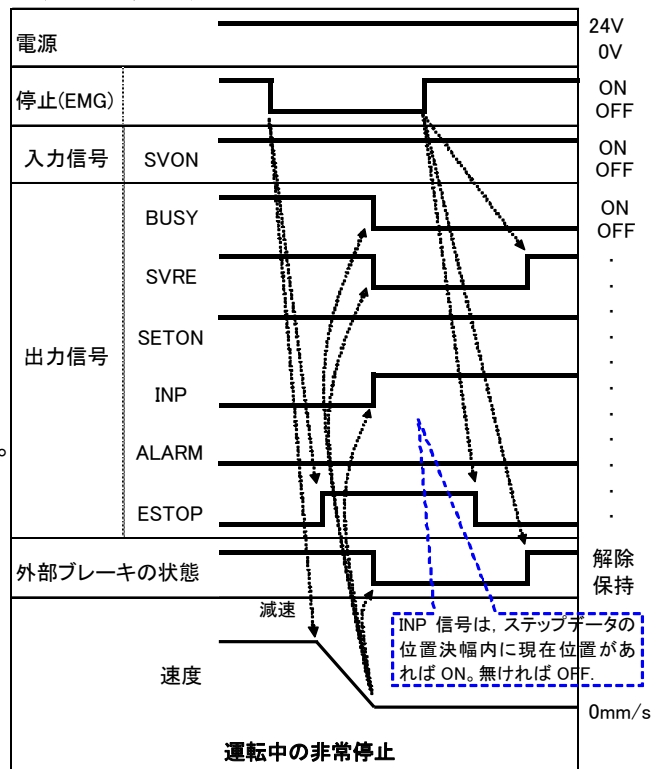
- (2)RESET を ON します。
- (3)ALARM が OFF、OUT0~OUT3 が OFF します。(アラーム解除します。)

[6]停止

—手順—

- (1)運転中(BUSY の ON 中)
停止(EMG)入力を OFF します。(停止指示)
- (2)ESTOP が ON します。
- (3)BUSY が OFF します。(停止します。)
SVRE が OFF します。
* ロック付アクチュエータの場合、ロックします。
- (4)停止(EMG)入力を ON します。(停止解除指示)
- (5)ESTOP が OFF します。SVRE が ON します。
* ロック付アクチュエータの場合、ロック解除します。

—タイミングチャート—



* タイミングチャート”停止(EMG)が OFF”の時は、停止が有効な状態。

[7]エリア出力

—手順—

●ステップデータ No.1 動作

(1)ステップデータ No.(IN0~IN5)を指定します。

(2)DRIVE を ON します。
→ステップデータ No.1(IN0~IN5)の読み込み

(3)BUSY が ON します。
(動作します。)
INP が OFF します。
* BUSY の ON 後、DRIVE を OFF するとステップデータ No.1 (OUT0~OUT5)が出力されます。

(4)ステップデータ No.1 の AREA が ON します。
(150mm 位置)

(5)BUSY が OFF します。
(停止します。)
INP が ON します。

●ステップデータ No.2 動作

(6)ステップデータ No.(IN0~IN5)を指定します。

(7)DRIVE を ON します。
→ステップデータ No.2(IN0~IN5)の読み込み

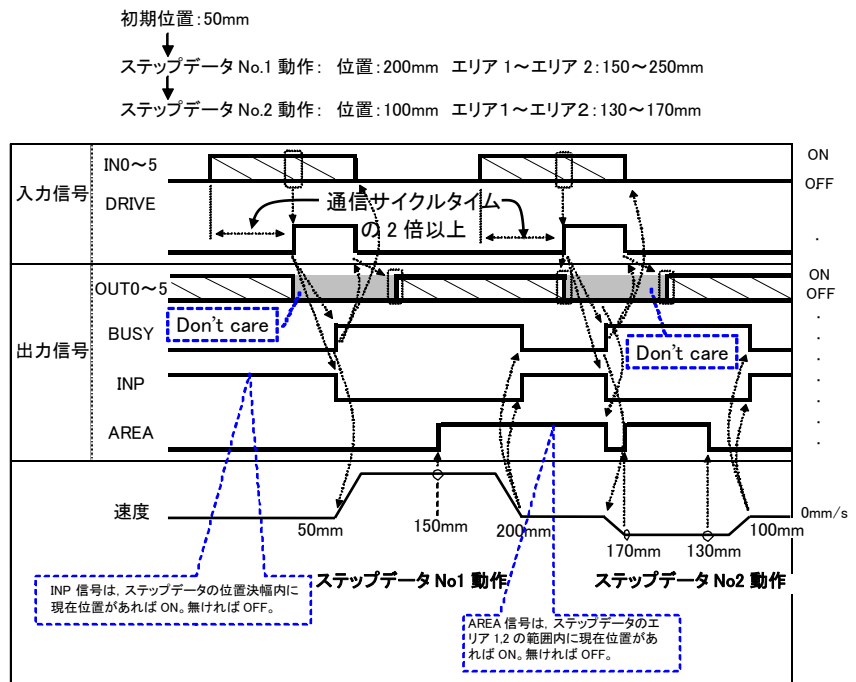
(8)AREA が OFF します。
BUSY が ON します。(動作します。)
INP が OFF します。
* BUSY の ON 後、DRIVE を OFF するとステップデータ No.2(OUT0~OUT5)が出力されます。

(9)ステップデータ No.2 の AREA が ON します。(170mm 位置)

(10)ステップデータ No.2 の AREA が OFF します。(130mm 位置)

(11)BUSY が OFF します。(停止します。)
INP が ON します。

タイミングチャート



13.5 数値指示運転機能の運転手順

例)指定したステップデータ No.の位置項目を 50.00[mm]の位置に直接数値指示してアクチュエータを動作させます。数値指示した位置以外の項目(速度、加減速度など)は、指定したステップデータ No.に設定された値を使用します。

数値指示運転を行う前に、サーボ ON 状態、原点復帰による位置情報確定としてください。

また、各信号のメモリ割付については [9.1 メモリ割付](#)を参照ください。

- (1)Byte4,Bit0: 起動フラグ=OFF であることを確認します。
Byte4,Bit0: 起動フラグ=ON の場合は、OFF を入力してください。

- (2)指定するステップデータ No.を Byte0,Bit0~5: IN0~5 にて入力します。
例)ステップデータ No.1 を指定する場合
→Byte0,Bit0: IN0=ON、
Byte0,bit1~5: IN1~5=OFF を入力します。

- (3) Byte2,Bit4~7、Byte3,bit0~7: 数値データ入力指示フラグにて、指定したステップデータ No.で数値指示する項目の bit は ON、数値指示しない項目の bit は OFF を入力します。
例)数値データ入力指示フラグの [位置]のみ数値指示します。
→Byte2,Bit6=ON、
Byte2,Bit4~5=OFF
Byte3,Bit0~7=OFF を入力します。

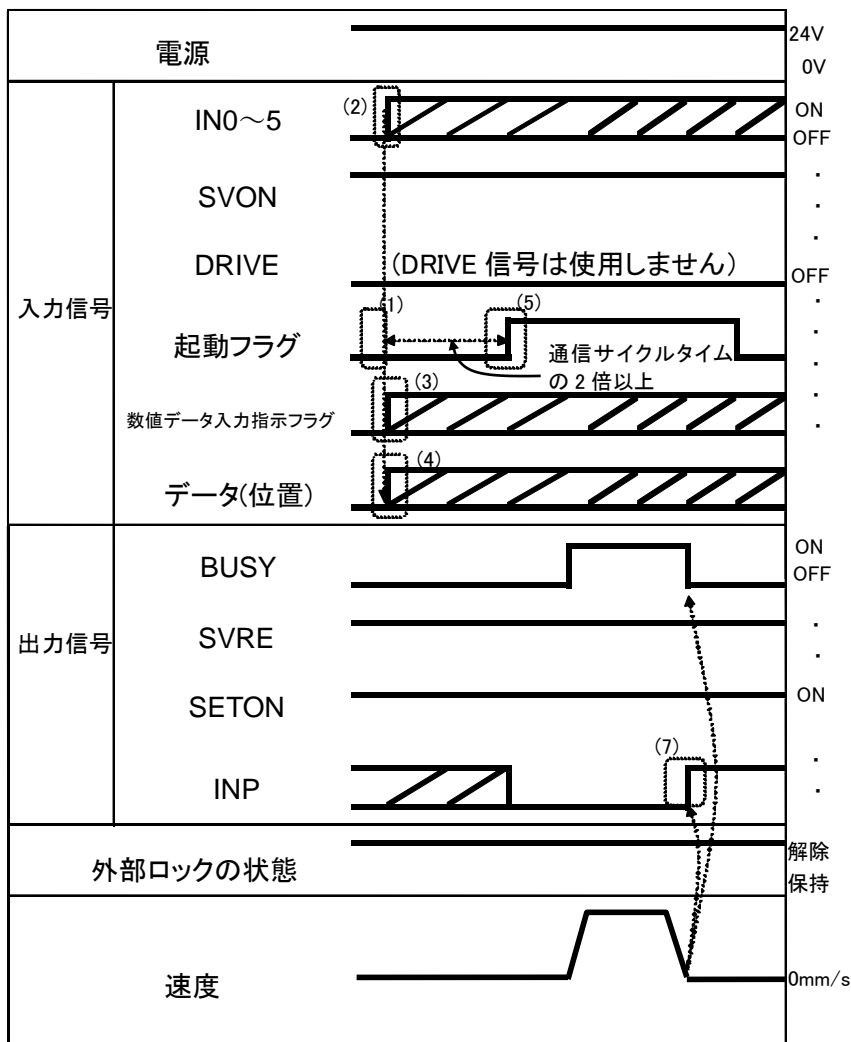
- (4)Byte5,Bit0~1: 動作方法、および Byte6~35 に数値指示する項目のデータを入力します。
例)[位置]50.00[mm]を入力します。
5000[0.01mm]=(00001388)h
→Byte8: 位置(HH)=(00) h Byte9: 位置(HL)=(00) h Byte10: 位置(LH)=(13) h Byte11: 位置(LL)=(88) h

- (5)数値データ入力指示フラグの Bit、および数値指示する項目のデータを入力完了後、Byte4,Bit0: 起動フラグ=ON を入力します。
起動フラグ ON 状態で、アクチュエータへ動作指示のデータ送信が開始されます。

- (6)アクチュエータが動作開始し、Byte1,Bit0: BUSY=ON が出力されたら、Byte4,Bit0: 起動フラグ=OFF を入力します。

- (7)アクチュエータが目標位置に到達すると、Word0,bit11: INP=ON が出力されます。
(INP 信号が ON となる条件は、“[INP](#)”項目(P.32)参照)
アクチュエータの動作が完了すると Word0,bit8: BUSY=OFF が出力されます。
指示した運転の完了は、Word0,bit11: INP=ON と Word0,bit8: BUSY=OFF が同時に成立したことで判断します。

タイミングチャート/数値指示運転



⚠ 注意

①起動フラグが ON の状態で、指定するステップデータ No.、数値データ入力指示フラグ、数値データを変更しないでください。

起動フラグが ON の状態で、数値指示の運転データを変更した場合、変更したデータに従い新たに運転を開始するため、意図しない動作をする恐れがあります。

*起動フラグは立ち上がりエッジの運転開始指令ではありません。

②起動フラグと DRIVE 信号を同時に ON しないで下さい。

信号を同時に ON した場合、意図しない動作をする恐れがあります。

③指定するステップデータ No.、数値指示フラグ、数値データの変更と、起動フラグの ON/OFF を、同時にしないで下さい。

同時に ON または OFF された場合、信号読み込みのタイミングにより意図しない動作をする恐れがあります。

動作データの変更後、通信サイクルタイムの 2 倍以上後に起動フラグを ON にしてください。

また、起動フラグ OFF にした後に指示フラグまたは数値データの変更をしてください。

13.6 数値指示運転機能の補足説明

13.5 数値指示運転機能の運転手順の補足内容となります。

- (1)同じ数値指示の項目や数値で、数値指示運転をする場合は、指定するステップデータ No.や数値データ入力指示フラグ、数値データは常時入力状態で使用可能です。
(起動フラグ OFF 時に、ステップデータ No や数値データ入力指示フラグや数値データのクリアは不要です。)
- (2)数値指示運転では指示したステップデータ No に関わらず、OUT 信号(OUT0~OUT5)出力はすべて OFF となります。
- (3)数値指示運転のデータはステップデータには上書きされません。
数値指示の数値データは数値指示運転用のメモリに展開され、
起動フラグの ON 状態で数値データ入力指示フラグを ON にした項目が読み出されます。

14. オプション

14.1 アクチュエータケーブル[5m 以下]

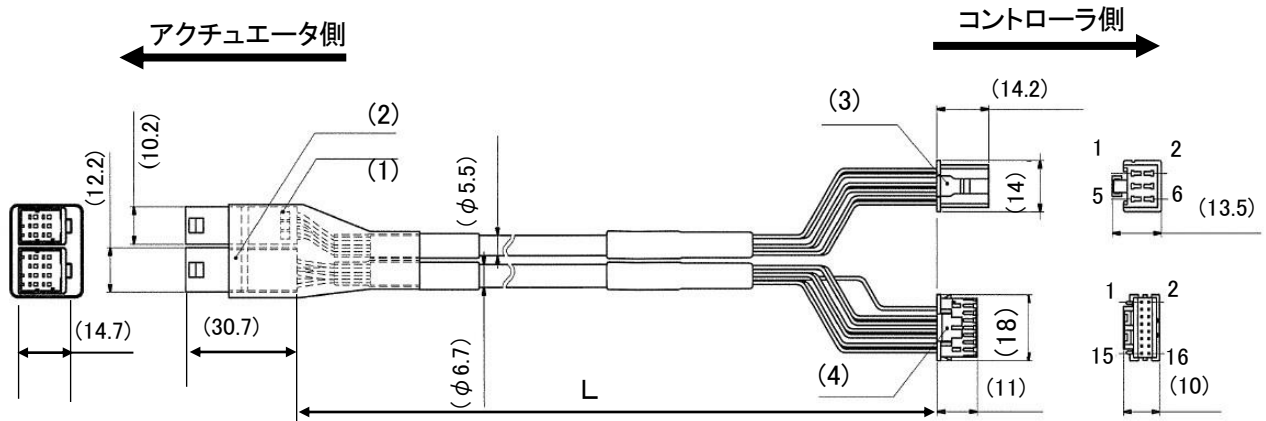
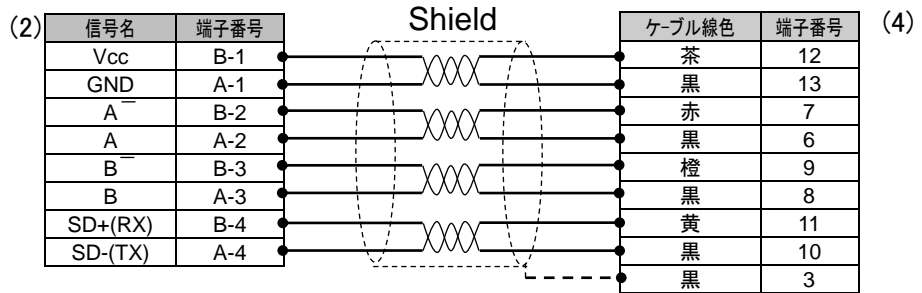
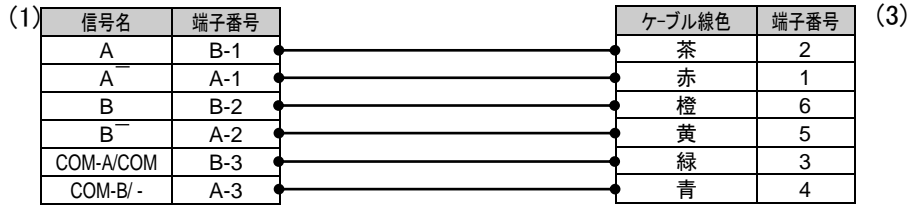
[1] アクチュエータケーブル

LE-CE-□

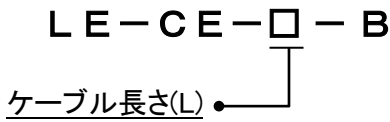
ケーブル長さ(L)

1	1.5m
3	3m
5	5m
8	8m*
A	10m*
B	15m*
C	20m*

* 受注生産

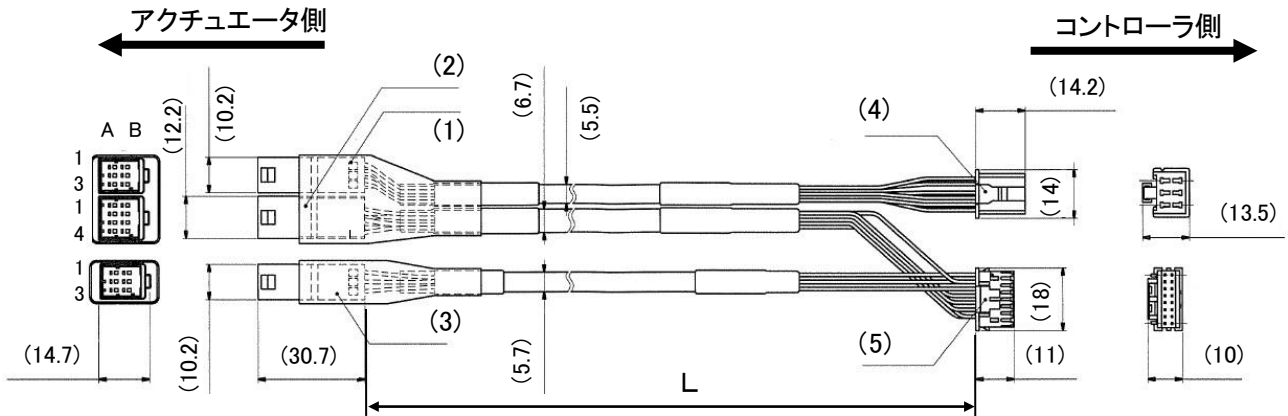
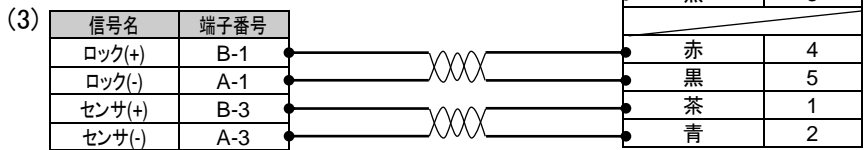
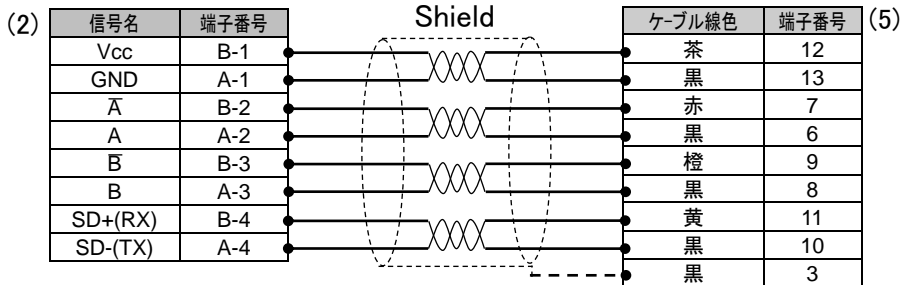
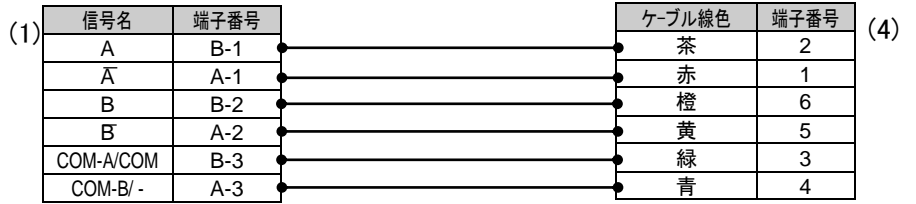


[2] アクチュエータケーブル(センサ・ロック対応)



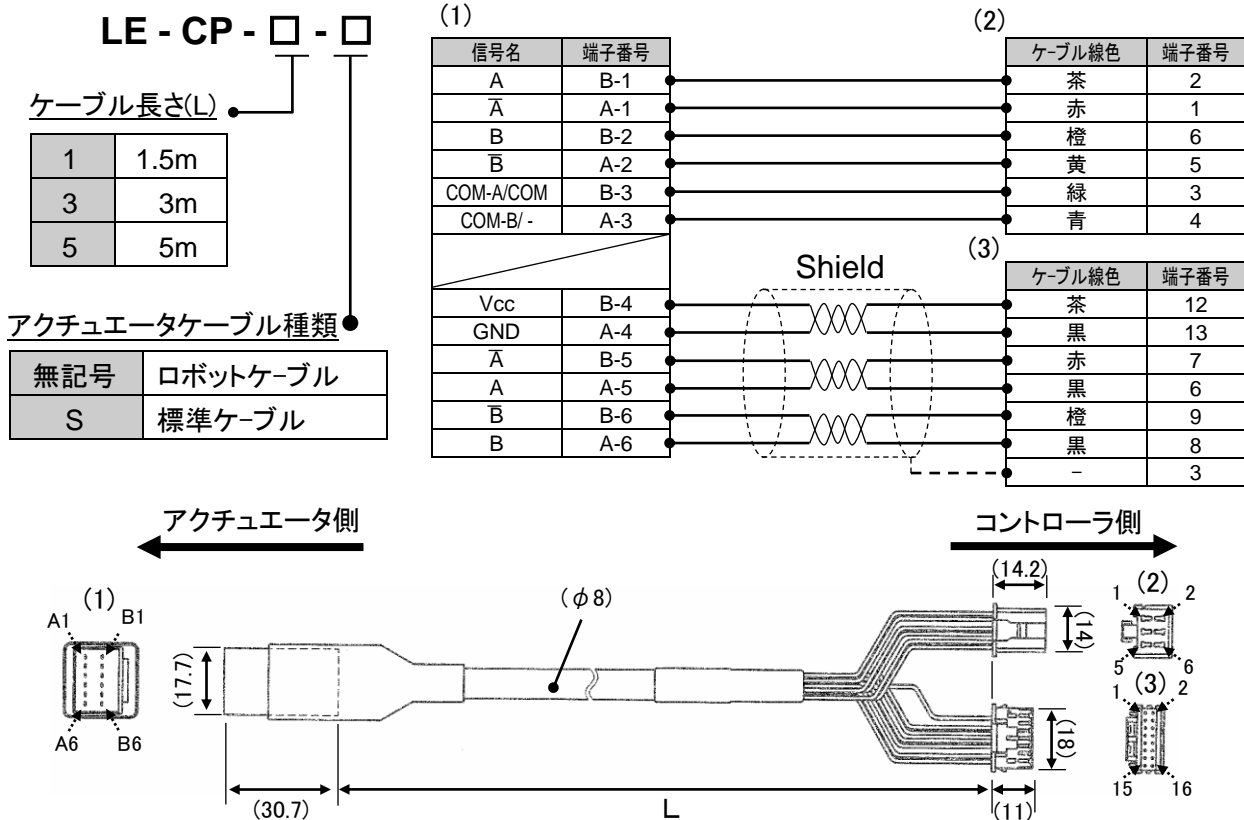
1	1.5m
3	3m
5	5m
8	8m*
A	10m*
B	15m*
C	20m*

* 受注生産

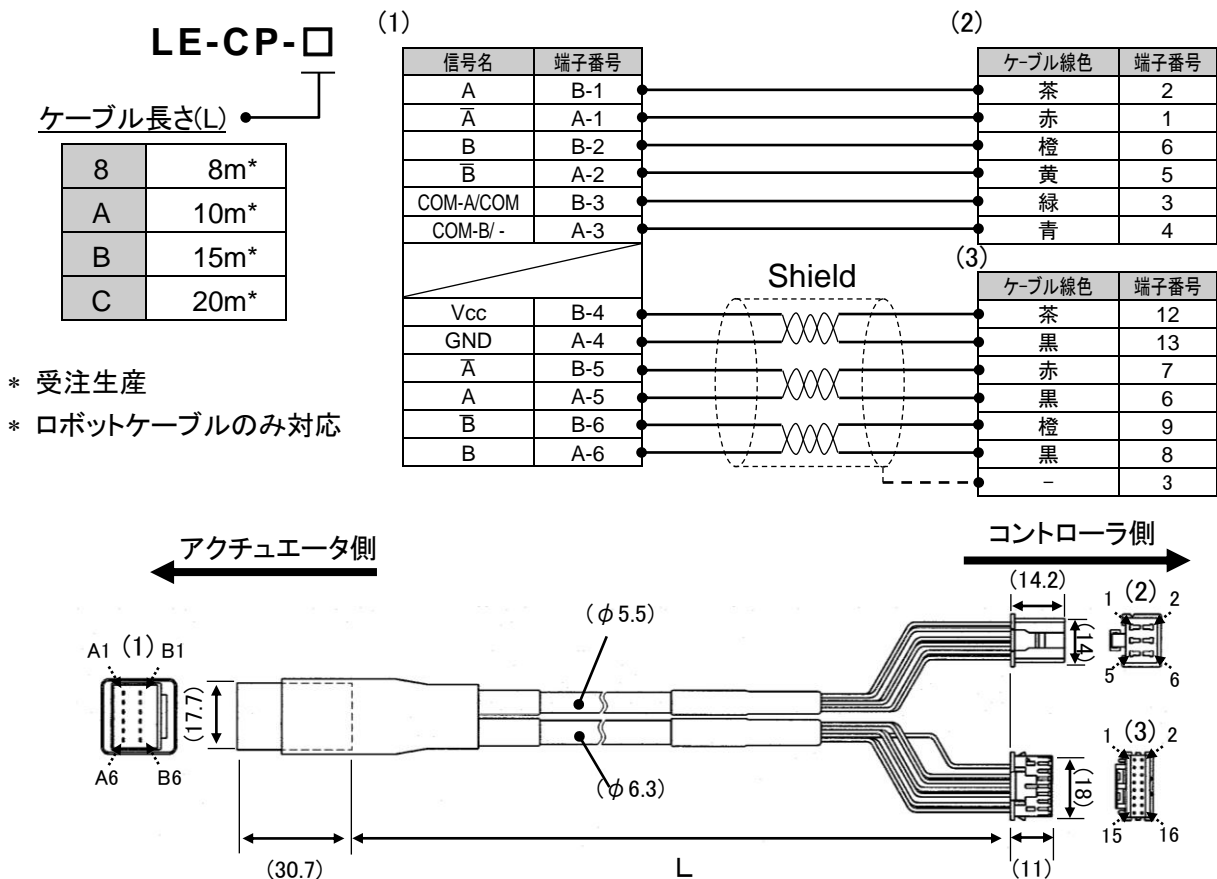


14.2 インクリメンタルエンコーダ対応ケーブル

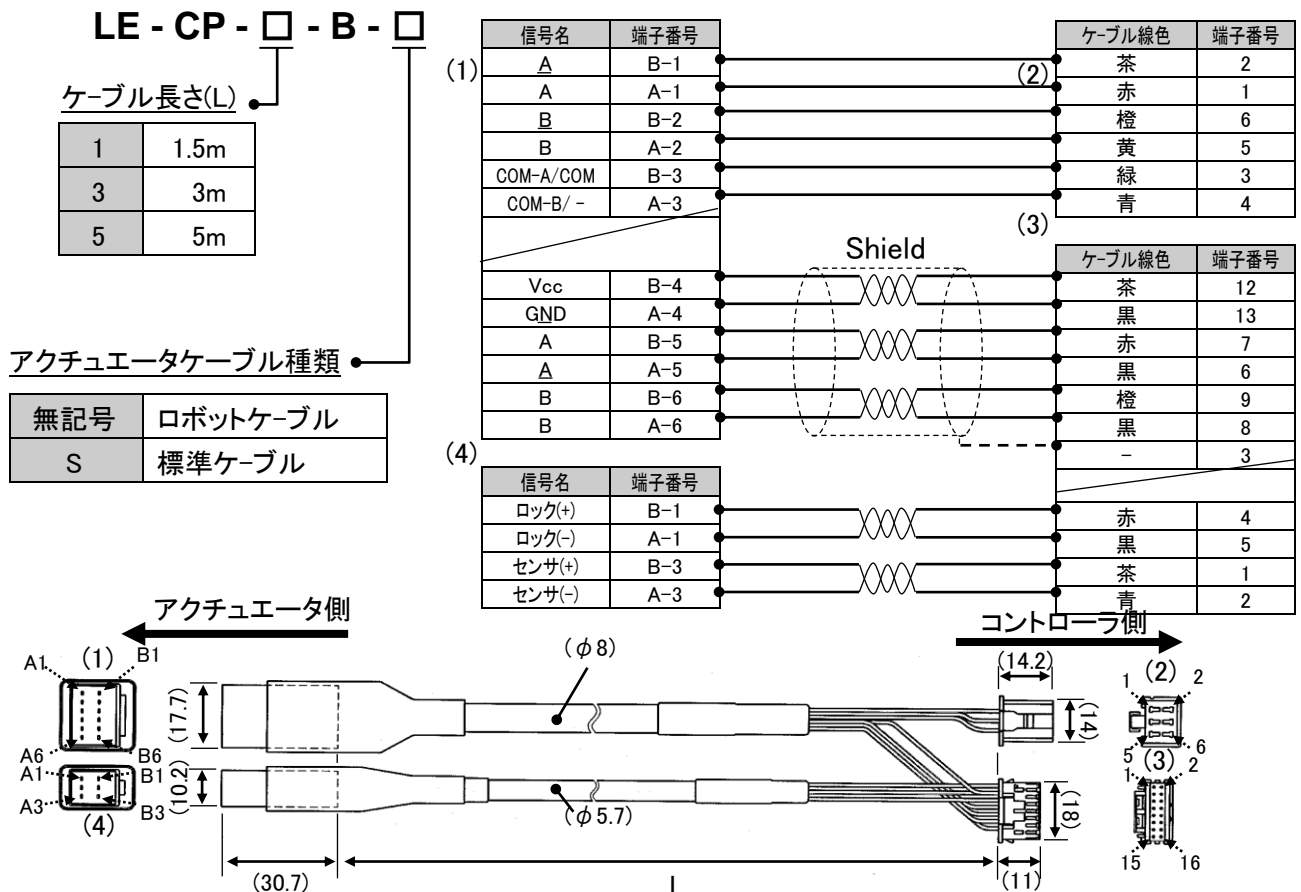
[1] アクチュエータケーブル[5m以下]



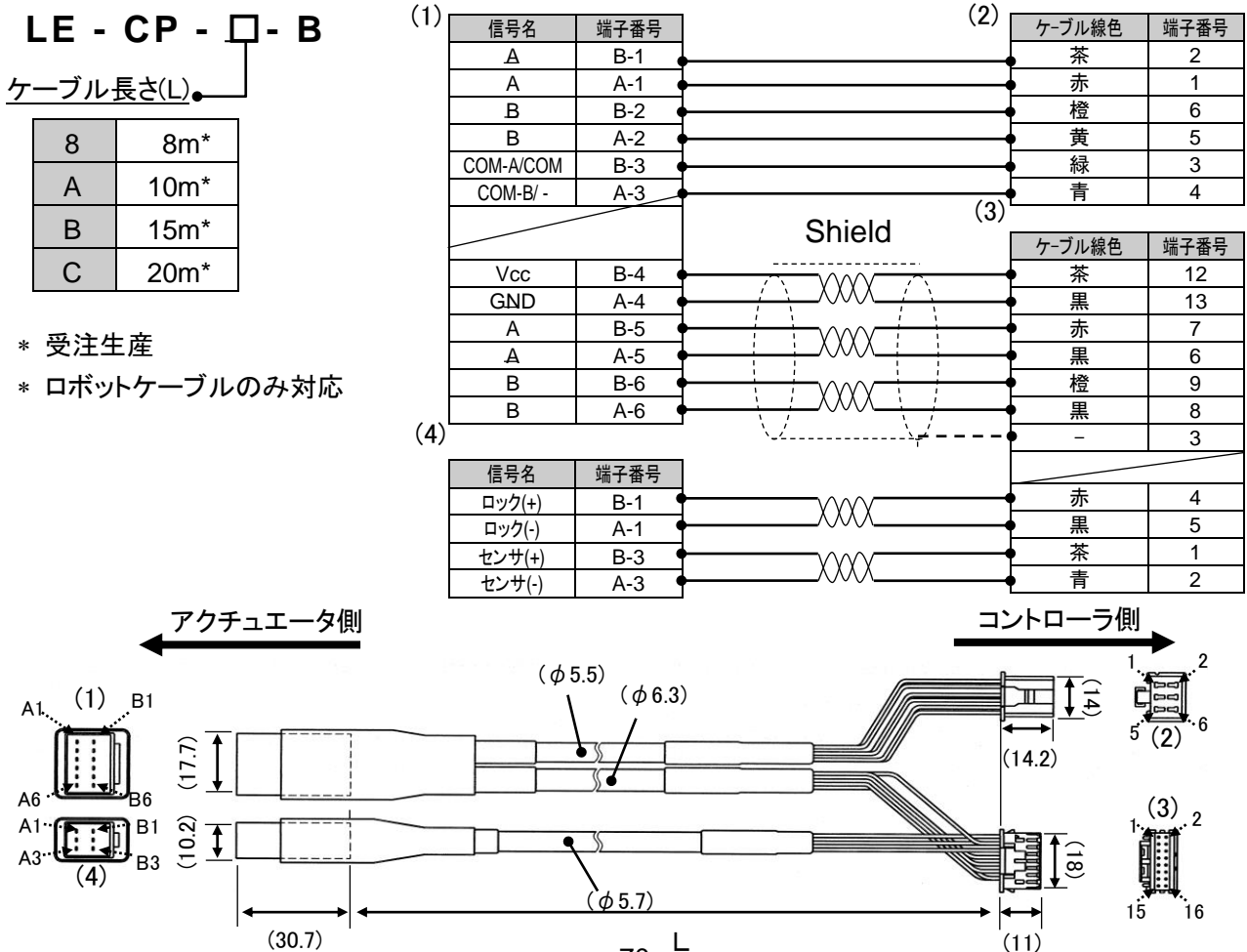
[2] アクチュエータケーブル[8~20m]



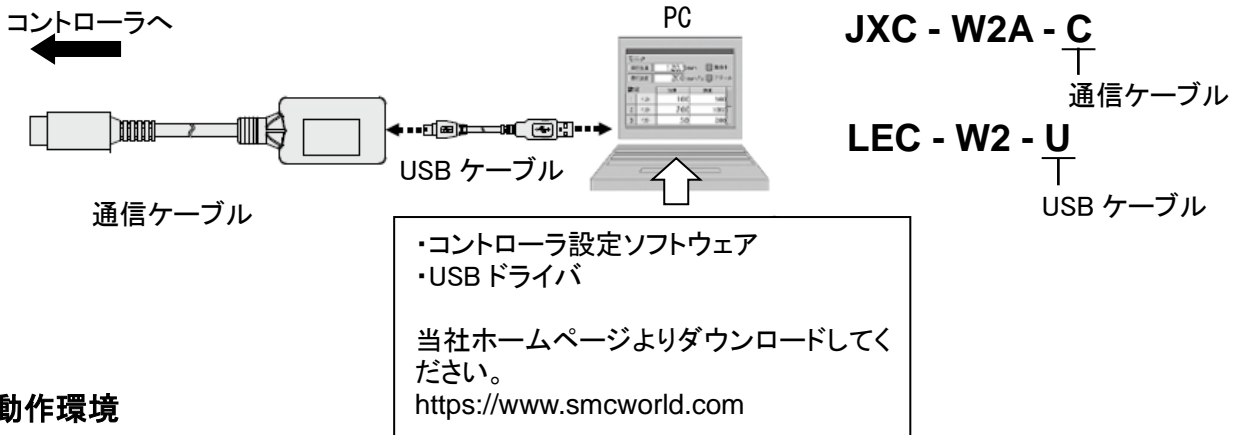
[3] アクチュエータケーブル(センサ・ロック対応)[8~20m]



[4] アクチュエータケーブル(センサ・ロック対応)[8~20m]



14.3 コントローラ設定用通信ケーブル



動作環境

OS	Windows®7,Windows®8.1,Windows®10,Windows®11
通信インターフェース	USB1.1 または USB2.0 ポート
ディスプレイ	1024 × 768 以上

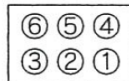
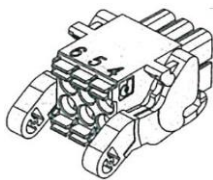
- ・ Windows®7、Windows®8.1、Windows®10、Windows®11 は米国マイクロソフト社の登録商標です。

⚠ 注意

USBドライバ及びコントローラ設定ソフトウェア(ACT Controller)は当社ホームページより入手願います。
 コントローラ設定ソフトは、最新のバージョンをご使用ください。
 バージョンアップ用ファイルは当社ホームページよりダウンロードしてください。
<https://www.smcworld.com>

14.4 電源プラグ

JXC-CPW



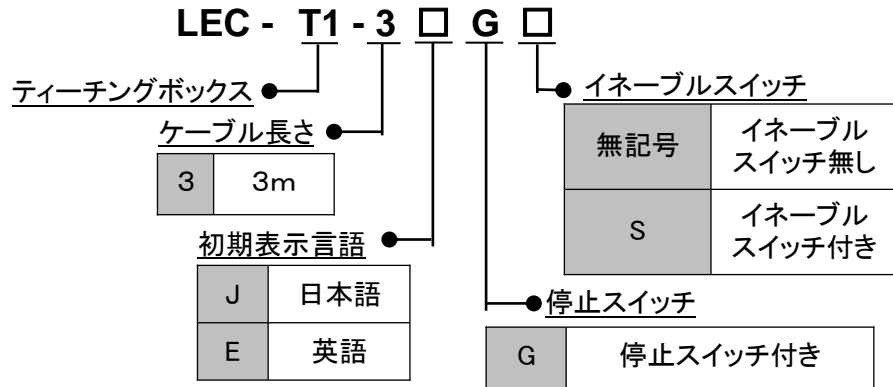
- ① C24V ④ 0V
 ② M24V ⑤ N.C.
 ③ EMG ⑥ LK RLS

電源プラグ詳細

No.	端子名	機能名	機能説明
1	C24V	制御電源(+)	コントローラに供給する制御電源(+) 側です。
2	M24V	モータ動力電源(+)	コントローラに供給するモータ動力電 源(+) 側です。
3	EMG	停止(+)	停止解除(+) 入力です。
4	0V	共通電源(-)	M24V 端子/C24V 端子/EMG 端子 /LK RLS 端子共通(-) です。
5	-	NC	配線不可
6	LK RLS	ロック解除(+)	ロック解除(+) 入力です。

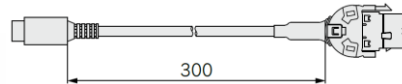
- * フェニックス・コンタクト株式会社製品番:DFMC1,5/3-ST-LR 相当

14.5 ティーチングボックス

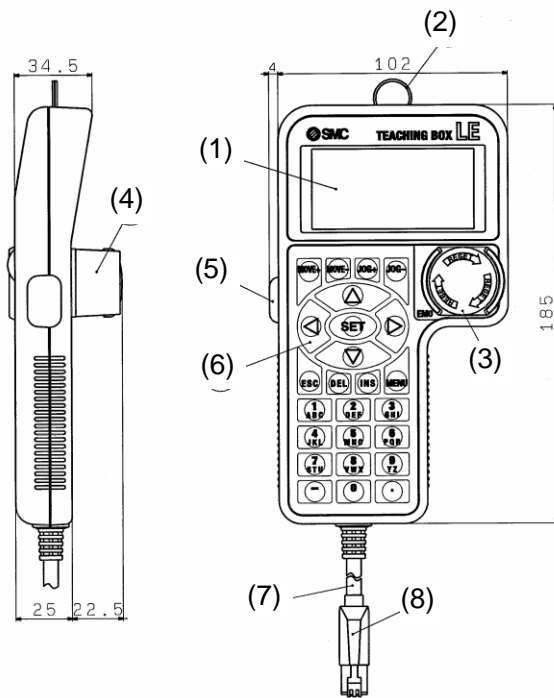


ティーチングボックス接続時変換ケーブル P5062-5 (ケーブル長: 0.3m)

※ティーチングボックスと JXC コントローラを接続する時のみ必要。

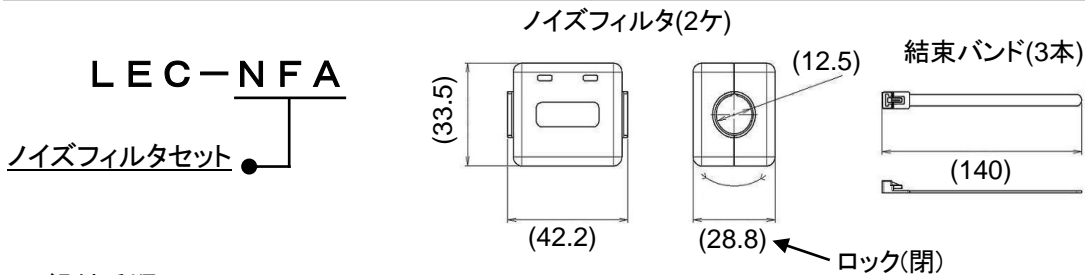


外形寸法図



No	名称	機能
(1)	LCD	液晶表示画面(バックライト付)
(2)	リング	ティーチングボックス吊下げ用リング
(3)	停止スイッチ	スイッチ押込み時、スイッチロックし停止 スイッチロック時、右回転でロック解除
(4)	停止スイッチ ガード	停止スイッチ用のガード
(5)	イネーブル スイッチ (オプション)	ジョグテスト機能における無意識操作 (予期しない動作)防止用のスイッチです。 ;データ変更などのその他機能には使用し ません。
(6)	キースイッチ	各入力用スイッチ
(7)	ケーブル	長さ3m
(8)	接続コネクタ	コントローラのSIIに接続するコネクタ

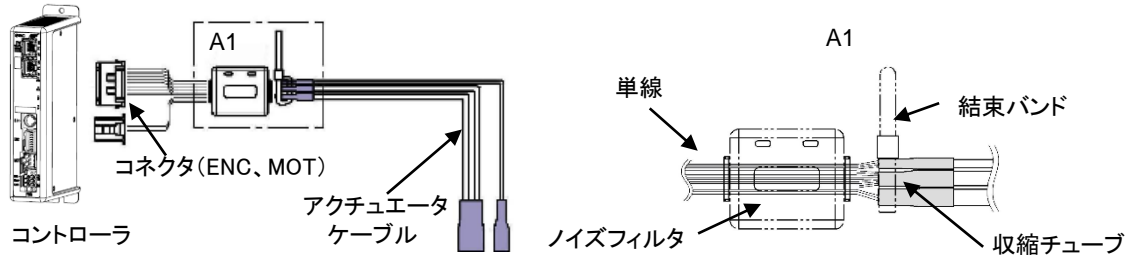
14.6 ノイズフィルタセット



組付手順

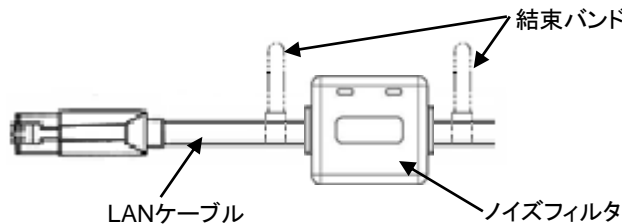
・アクチュエータケーブルの場合

- ①アクチュエータケーブルのコントローラ側コネクタの出来るだけ近くに、ノイズフィルタを取付けします。
- ②A1 部の収縮チューブ部分を結束バンドでまとめて固定します。



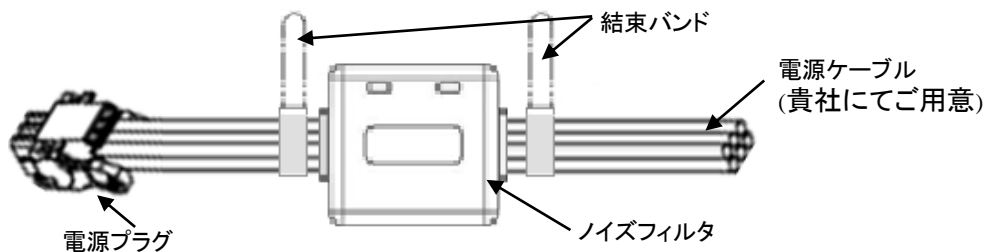
・LAN ケーブルの場合

- ①LAN ケーブルのコントローラ挿入側コネクタの出来るだけ近くに、ノイズフィルタを取付けします。
- ②ノイズフィルタの左右に結束バンドを取付けてノイズフィルタを移動しないよう固定します。



・電源ケーブルの場合

- ①電源プラグの出来るだけ近くに、ノイズフィルタを取付けします。
- ②ノイズフィルタの左右に結束バンドを取付けてノイズフィルタを移動しないよう固定します。



⚠ 注意

アクチュエータケーブル、電源ケーブル側のノイズフィルタ取付けは、単線部分すべてをまとめて、ノイズフィルタ内に収めてください。ノイズフィルタをロックする際は、単線をつぶさないように注意してください。ノイズフィルタは、コネクタ直近のケーブル根元位置に取付けてください。アクチュエータケーブルの ENC、MOT コネクタを取外しの際は、結束バンドを外してノイズフィルタを収縮チューブの方向へ移動させて取外してください。また、再取付け後はノイズフィルタの位置を戻し、結束バンドを再取付けしてください。

15. モータ制御に関するアラーム検出詳細

アラームの内容は、コントローラ設定ソフトウェアまたはティーチングボックスを使用し確認することができます。
アラームの確認方法は、コントローラ設定ソフトウェアまたはティーチングボックスの取扱説明書をご確認ください。

⚠ 注意

アラームが発生した場合 **15.3 アラーム内容、対策**を参照し、対策、修正を施した後アラーム解除してください。
アラームの原因を取り除いてもアラームが再発生する場合は当社までご連絡ください。

アラーム解除は、RESET 信号を ON することによりクリア可能なアラームグループ B～D と、制御電源(DC24V)を一担遮断しないとクリアできないアラームグループ E に大別できます。

15.1 アラームグループのリモート I/O 信号出力

本コントローラはアラーム発生時、アラームの種類が判別できる信号を出力します。

アラーム種別を 4 グループに分類し、アラーム発生時はアラーム種別を OUT0～3 に出力します。

アラームグループとリモート I/O 信号(OUT0～OUT3)の組合せは下表の通りです。

アラームグループ	リモート信号出力				
	ALARM	OUT0	OUT1	OUT2	OUT3
アラームグループ B	ON	OFF	ON	OFF	OFF
アラームグループ C	ON	OFF	OFF	ON	OFF
アラームグループ D	ON	OFF	OFF	OFF	ON
アラームグループ E	ON	OFF	OFF	OFF	OFF

複数のアラーム発生時、アラームグループが異なる場合には、複数の OUT 信号が ON します。

アラーム発生後、アラームの内容に応じて SVRE、SETON 出力は、下表のように出力します。

アラームグループ	リモート信号出力		再運転の開始手順
	SVRE	SETON	
アラームグループ B	変化なし	変化なし	RESET を入力
アラームグループ C	変化なし	変化なし	RESET を入力
アラームグループ D	OFF	変化なし	RESET を入力
アラームグループ E	OFF	OFF	制御電源を遮断⇒再投入

—アラームグループ D 再運転開始手順—

手順 1 アラームグループ D 発生→『SVRE』が OFF に変化(サーボ OFF)

手順 2 『RESET』を ON→(アラーム解除)→『SVON』を ON 後、『SVRE』が ON(サーボ ON)

15.2 PROFINET 診断機能

JXCPH のアラーム発生時、PROFINET 通信上でも、PLC にアラームの内容が送信されます。

JXCPH でアラームが発生すると、PLC 側の「SF」の LED が赤点灯します。

この時、Siemens 社製 TIA PORTAL を使用することにより、PLC 側からアラームの内容(診断情報)を確認することができます。

(1)JXCPH を選択し、Device overview 画面を表示させます。

(2)「Go online」ボタンを押します。

(3)診断が発生している部分が赤く表示されます。赤く表示されている部分をダブルクリックすると、診断情報をモニタできます。

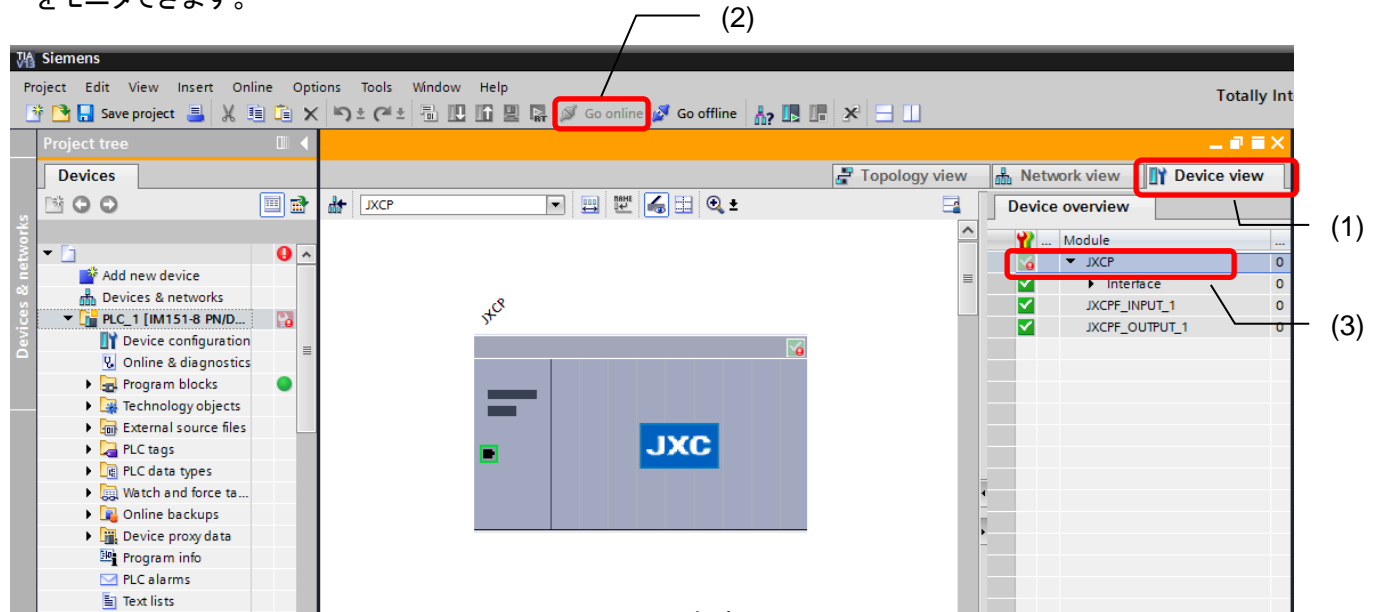


図 15.1 アラーム発生時画面

(4)診断画面の「Diagnostics status」を選択し、アラームの内容を表示します。

(5)Standard diagnostics 内でアラームの詳細内容が確認できます。“()”内の数値は発生したアラームのアラームコードです。(15.3 アラーム内容・対策 参照)

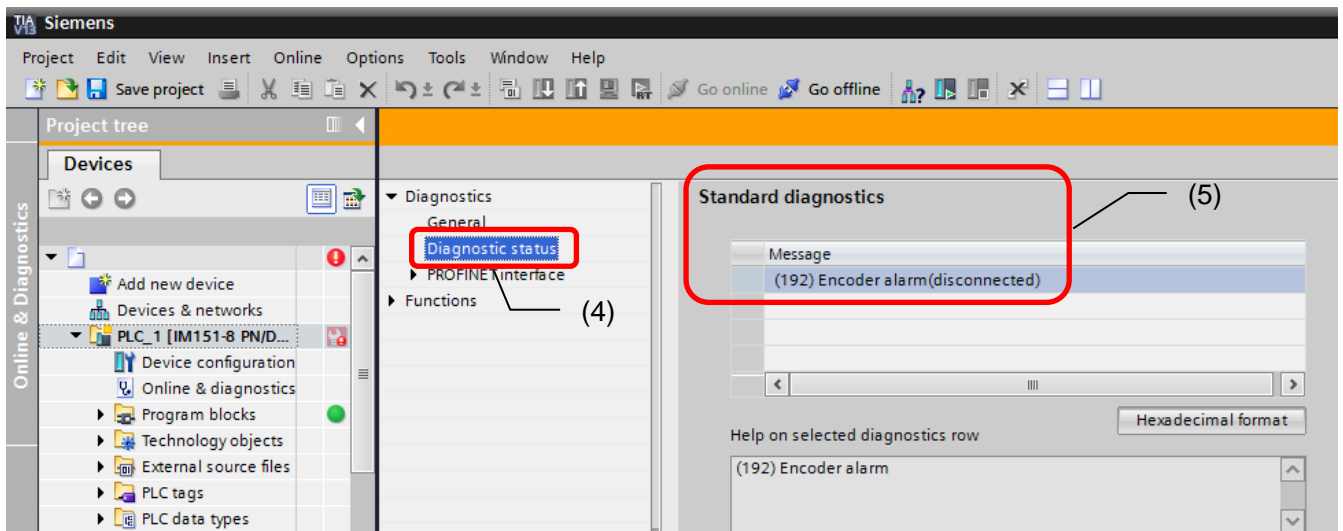


図 15.2 Diagnostics 確認画面

15.3 アラーム内容・対策

アラーム発生時、メモリマップの入力エリアにおける Byte16-19 の「アラームコード」に、本表における「(code)」内の「-」以下 3 桁の数値が格納されます。なお、本表内に記載されているアラームコードの数値は 10 進数です。

コントローラ 設定 ソフトウェア 名称(code)	ティーチング ボックス名称	グ ル ー プ	アラーム クリア方法	内容、対策
運転データ の内容が正 しくない (01-048)	運転データ 異常	B	RESET を入力	<p><内容> 以下のステップデータの設定可能範囲外の場合に発生します。 (設定可能範囲) (1)“エリア 1”<“エリア 2” (“エリア 1、2”が 0 の場合はアラームとなりません。) (2)“しきい値”≤“押当推力” (“押当推力”が 0 の時、“押当推力”<“しきい値”の場合でもアラームとなりません。) (3)電動アクチュエータの最小速度≤“押当速度”≤“速度” (4)“押当速度”≤電動アクチュエータの押当最大速度 (5)“押当推力”≥電動アクチュエータの最小押当推力 (6)基本パラメータの“押当最大推力” ≥電動アクチュエータの最小押当推力 (7)基本パラメータの“押当最大推力”≥“しきい値”</p> <p><対策> ステップデータ及び基本パラメータの内容を見直してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> <p>電動アクチュエータの押当て最大速度、最小押当て推力、最小速度については電動アクチュエータ取扱説明書またはカタログにて、ご確認ください。</p> </div>
システムパ ラメータの 内容が正しく ない (01-049)	システム PARA 異常	B	RESET を入力	<p><内容> 下記のパラメータの設定可能範囲外の場合に発生します。 (設定可能範囲) (1)“ストローク(-)”<“ストローク(+)” (2)“W エリア出力端 1”<“W エリア出力端 2” (“W エリア出力端 1、2”が 0 の場合は、アラームとなりません。) (3)“押当最大推力”<電動アクチュエータの最大押当て推力</p> <p><対策> パラメータの内容を見直してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> <p>電動アクチュエータの最大押当て推力については、電動アクチュエータ取扱説明書またはカタログにてご確認ください。</p> </div>
未登録運転 データ No.を 指示 (01-051)	ステップ No.異常	B	RESET を入力	<p><内容> ステップデータの未登録 No.を運転指示した場合に発生します。 (PLC 等で運転指示をする場合、入力信号の間隔および信号の保持時間によって本アラームが起こる場合があります。)</p> <p><対策> (1)運転を指示したステップデータの“動作方法”が“空欄(データ無効)”または「1(ABS)」2(INC)」以外の数値が入力されていないか確認してください。 (2)PLC の処理遅れやコントローラのスキャン遅れが発生するため、通信サイクルタイムの 2 倍以上、入力信号の間隔および信号状態の維持を設けてください。 13.4[2]位置決め運転をご確認ください。</p>

ストローク (±)を超える 指示をした (01-052)	ストローク リミット	B	RESET を入力	<p><内容> 基本パラメータの“ストローク(+)”、“ストローク(-)”を超える運転を指示した場合に発生します。 (原点復帰後の JOG 運転も含みます。)</p> <p><対策> 基本パラメータの“ストローク(+)”、“ストローク(-)”の値と、ステップデータの移動量をご確認ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> </div> <p>ステップデータの“動作方法”が「2(INC)」の場合、運転を開始した場所と移動量にご注意ください。</p>
Alarm _Comment _058 (01-058)	3A	B	RESET を入力	<p><内容> 数値指示運転時に数値指示データもしくは参照するステップデータが設定可能範囲外の場合に発生します。(設定可能範囲) (1)ステップデータ“動作方法”が「1(ABS)」か「2(INC)」 (2)“エリア 1”<“エリア 2” (“エリア 1、2”が 0 の場合はアラームとなりません。) (3)“しきい値”\leq“押当推力” (“押当推力”が 0 の時、“押当推力”<“しきい値”の場合でもアラームとなりません。) (4)電動アクチュエータの最小速度\leq“押当速度”\leq“速度” (5)“押当速度”\leq電動アクチュエータの押当最大速度 (6)“押当推力”\geq電動アクチュエータの最小押当推力 (7)基本パラメータの“押当最大推力” \geq電動アクチュエータの最小押当推力 (8)基本パラメータの“押当最大推力”\geq“しきい値”</p> <p><対策> 数値指示データもしくは参照するステップデータの内容を見直してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> </div> <p>アクチュエータの押当最大速度、最小押当推力、最小速度についてはアクチュエータ取扱説明書またはカタログにて、ご確認ください。</p>
Alarm _Comment _062 (01-062)	3E	B	RESET を入力	<p><内容> 数値指示運転時に基本パラメータ“ストローク(+側)”、“ストローク(-側)”を超える運転を指示した場合に発生します。</p> <p><対策> 基本パラメータ“ストローク(+側)”、“ストローク(-側)”の値と、ステップデータの移動量を確認してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> </div> <p>ステップデータの“動作方法”が「2(INC)」の場合、運転を開始した場所と移動量にご注意ください。</p>
押当時押戻 された (01-096)	押当動作 異常	C	RESET を入力	<p><内容> 押当て運転において、押当て動作開始位置より押し戻された場合に発生します。</p> <p><対策> 押当て動作開始位置と押当て対象との距離を大きくしてください。また、押当推力を大きくしてください。</p>
原点復帰が 設定時間内 未完了 (01-097)	原点復帰 異常	C	RESET を入力	<p><内容> 一定時間内に原点復帰完了しない場合に発生します。</p> <p><対策> (1)コントローラ型式と電動アクチュエータ型式が一致していることをご確認ください。 (2)電動アクチュエータのベルト部に緩みがあることが考えられます。電動アクチュエータ取扱説明書をご確認ください。 上記対策を実施した後も再発生する場合は、モータ軸の締結に緩みや外れがあることが考えられるため、当社までご連絡ください。</p>

サーボ OFF 時に運転指 示をした (01-098)	サーボ OFF 時 DRV	C	RESET を入力	<p><内容> サーボ OFF 状態(EMG 端子非通電時など)で原点復帰、位置決め 運転、押当て運転、JOG 運転指示を行った場合に発生します。</p> <p><対策> サーボ ON 状態(SVRE 出力が ON)にて運転を指示してください。</p>												
原点復帰未 完了時に DRIVE を ON (01-099)	SET OFF 時 DRV	C	RESET を入力	<p><内容> 原点復帰実行前に位置決め運転、押当て運転指示を行った場合に 発生します。</p> <p><対策> 原点復帰が完了してから運転を指示してください。</p>												
アブソリュ ートデータの データ送信中 モータが回 された (01-101)	アブソ不 一致	C	RESET を ON	<p><内容> バッテリーレスアブソエンコーダ対応コントローラにおいて、 アクチュエータが外力にて動いているときに電源を投入すると発生し ます。</p> <p><対策> アクチュエータが停止している状態で RESET を ON してください。</p>												
原点スイッチ 方向 (01-103)	原点センサ 未検出	C	RESET を入力	<p><内容> 原点復帰時にパラメータの設定が誤っている場合、または センサ原点復帰[SW]設定時にアクチュエータ端に到達するまでに 原点センサが検出されない場合にアラームが発生します。</p> <p><対策> (1)原点復帰パラメータの設定を確認してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">正しい原点復帰パラメータ設定組合せ</th> </tr> <tr> <th></th> <th>原点復帰モード</th> <th>原点センサ種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><1></td> <td>1: 押当原点復帰[押当]</td> <td>0: 原点センサ無効[無効]</td> </tr> <tr> <td><2></td> <td>2: センサ原点復帰[SW]</td> <td>1: センサ A 接点[a 接点] 2: センサ B 接点[b 接点]</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)センサの取付けとアクチュエータの移動が阻害されていないか ご確認ください。</p>	正しい原点復帰パラメータ設定組合せ				原点復帰モード	原点センサ種類	<1>	1: 押当原点復帰[押当]	0: 原点センサ無効[無効]	<2>	2: センサ原点復帰[SW]	1: センサ A 接点[a 接点] 2: センサ B 接点[b 接点]
正しい原点復帰パラメータ設定組合せ																
	原点復帰モード	原点センサ種類														
<1>	1: 押当原点復帰[押当]	0: 原点センサ無効[無効]														
<2>	2: センサ原点復帰[SW]	1: センサ A 接点[a 接点] 2: センサ B 接点[b 接点]														
アブソリュ ートエンコーダ との通信時 異常が発生 (01-106)	アブソ 通信不良	C	RESET を入力	<p><内容> バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応コントローラにおいて、 エンコーダとコントローラの配線が外れている場合に発生します。 電源投入時のアブソリュートエンコーダとの通信にて異常を検出す るとアラームが発生します。</p> <p><対策> コントローラとアクチュエータ配線にてコネクタ間の緩みやケーブル 損傷がないかをご確認ください。</p> <p><内容> インクリメンタルエンコーダ対応コントローラにおいて、 [基本パラメータ]-[センサタイプ]の値が変更された場合にアラーム が発生します。</p> <p><対策> [基本パラメータ]-[センサタイプ]の値が 1 であることを確認してくださ い。 パラメータ変更後は電源を再投入する必要があります。</p>												

Alarm _Comment _111 (01-111)	6F	C	RESET を入力	<p><内容> コントローラ内部の電源電圧が正常に動作していない場合に発生します。</p> <p><対策> 電源を再投入しても再発生する場合は当社までご連絡ください。</p>
モータ回転 数が設定値 以上 (01-144)	過速度	D	RESET SVON を入力	<p><内容> 外力などによりモータ回転数が規定の値以上になった場合に発生します。</p> <p><対策> 電動アクチュエータの最大速度を超えた運転は行わないでください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> </div> <p>電動アクチュエータの最大速度については、電動アクチュエータ取扱説明書またはカタログにてご確認ください。</p>
動力電源 電圧が設 定範囲外 (01-145)	動力電源 異常	D	RESET SVON を入力	<p><内容> コントローラ内部で検出されるモータ動力電源電圧が規定の範囲外となった場合に発生します。ただしコントローラは、モータ動力電源電圧の下限確認をサーボ ON 指示時のみ行います。</p> <p><対策> コントローラのモータ電源(M24V)に供給されている電圧をご確認ください。</p> <p><内容> アクチュエータの動作方法により回生電力が増加し、アラームが発生する場合があります。</p> <p><対策> アクチュエータの使用条件が、仕様範囲内であるかご確認ください。上記対策を実施した後も再発生する場合は、コントローラの故障が考えられますので、当社までご連絡ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> </div> <p>アクチュエータの動作方法については、アクチュエータ取扱説明書またはカタログにて、ご確認ください。</p>
コントローラ 温度が規定 値以上 (01-146)	過熱異常	D	RESET SVON を入力	<p><内容> コントローラ内のパワー素子周辺温度が過大な場合に発生します。</p> <p><対策> コントローラの周囲温度を適切な状態に改善してください。</p>
制御電源が 設定範囲外 (01-147)	制御電源 異常	D	RESET SVON を入力	<p><内容> コントローラ内部で検出される制御電源電圧が規定の範囲外となった場合に発生します。</p> <p><対策> コントローラの制御電源(C24V)に供給されている電圧をご確認ください。上記対策を実施した後も再発生する場合は、コントローラの故障が考えられますので、当社までご連絡ください。</p>
一定時間 大きな電流 が流れた (01-148)	過負荷	D	RESET SVON を入力	<p><内容> 出力電流の積算値が、規定値を超えた場合に発生します。</p> <p><対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動アクチュエータの移動が阻害されていないかご確認ください。また、電動アクチュエータの負荷、速度、加減速度が電動アクチュエータの仕様範囲内であるかご確認ください。 ・アクチュエータが位置決め完了後に、外力によって位置決め完了位置から動かされることがないかご確認ください。

<p>目標位置 到達が 規定値以上 遅れた (01-149)</p>	<p>到達時間 異常</p>	<p>D</p>	<p>RESET SVON を入力</p>	<p><内容> 目標位置までの停止予定時間に対して規定値以上遅れが生じた場合に発生します。</p> <p><対策> ・電動アクチュエータの移動が阻害されていないかご確認ください。 また、電動アクチュエータの負荷、速度、加減速度が電動アクチュエータの仕様範囲内であるかご確認ください。 ・ステップデータの位置決推力が、初期設定値より小さい値に変更されていないかご確認ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> </div> <p>位置決推力の設定値については、電動アクチュエータ取扱説明書にてご確認ください。</p>
<p>通信時異常 が発生 (01-150)</p>	<p>通信不良</p>	<p>D</p>	<p>RESET SVON を入力</p>	<p><内容> 上位機器からの運転中に、接続が絶たれた場合に発生します。</p> <p><対策> 上位機器による電動アクチュエータ操作中にパソコンやティーチングボックスと接続を断たないでください。</p>
<p>アブソID不 一致 (01-153)</p>	<p>アブソENC 不一致</p>	<p>D</p>	<p>RESET SVON SETUP を入力</p>	<p><内容> バッテリーレスアブソリユートエンコーダ対応コントローラにおいて、コントローラは電源再投入時にアブソリユートエンコーダの固有番号を確認します。この固有番号が今まで接続していたエンコーダと異なる場合にこのアラームを検出します。</p> <p><対策> 初めて使用いただくときや、アクチュエータまたはコントローラを交換時に発生するアラームです。RESET 入力にてアラームリセットして使用ください。 RESET 入力後は SETON 出力が OFF しますので、原点復帰 (SETUP 入力)を行ってください</p>
<p>Alarm _Comment _159 (01-159)</p>	<p>9F</p>	<p>D</p>	<p>RESET SVON SETUP を入力</p>	<p><内容> コントローラ内のモータ回生回路周辺温度が過大な場合に発生します。</p> <p><対策> アクチュエータの使用条件が、仕様範囲内であるかご確認ください。 上記対策を実施した後も再発生する場合は、コントローラの故障が考えられますので、当社までご連絡ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> </div> <p>アクチュエータの動作方法については、アクチュエータ取扱説明書またはカタログにて、ご確認ください。</p>
<p>エンコーダに 異常発生 (01-192)</p>	<p>エンコーダ 異常</p>	<p>E</p>	<p>制御 電源を 遮断</p>	<p><内容> エンコーダとの通信に異常が出た場合に発生します。</p> <p><対策> アクチュエータケーブルの接続状態をご確認ください。</p>

時間内に相検出不可 (01-193)	磁極不確定	E	制御電源を遮断	<p><内容> インクリメンタルエンコーダ対応コントローラにおいて、磁極位置合わせが正常に完了しない場合に発生します。電源投入後初めてのサーボ ON (SVON 入力を ON) の際にモータの磁極検出を行うために電動アクチュエータがわずかに動きますがその際に電動アクチュエータを動かすことができないと本アラームが発生します。</p>
				<p><対策> ・電動アクチュエータが動作可能な状態でサーボ ON (SVON 入力を ON) を指示してください。 ・アクチュエータケーブルの断線、接触不良がないかご確認ください。 ・コントローラとアクチュエータの組合せが正しいかご確認ください。 上記対策を実施した後も再発生する場合は、コントローラまたはモータの故障が考えられますので、当社までご連絡ください。</p>
				<p><内容> バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応コントローラにおいて、正しいセンサタイプが選択されていない場合に発生します。</p> <p><対策> 基本パラメータのセンサタイプ項目を「2 (ABS)」に設定してください。</p>
出力電流が異常に高い (01-194)	過電流	E	制御電源を遮断	<p><内容> 電源回路部の出力電流が異常に高くなった場合に発生します。</p> <p><対策> アクチュエータケーブルやコネクタが短絡していないかご確認ください。また、電動アクチュエータとコントローラの組合せが正しいかご確認ください。 電源を再投入しても再発生する場合は当社までご連絡ください。</p>
電流センサに異常発生 (01-195)	電流センサ異常	E	制御電源を遮断	<p><内容> コントローラの初期化の際に確認している電流センサの異常が発見された場合に発生します。</p> <p><対策> 電動アクチュエータとコントローラの組合せが正しいかご確認ください。 サーボ ON 指示を出すときにモータが外力で動いていないか、電動アクチュエータを垂直に設置し、LK RLS に通電していないかをご確認ください。 電源を再投入しても再発生する場合は当社までご連絡ください。</p>
位置偏差カウンタがオーバーフロー (01-196)	偏差オーバーフロー	E	制御電源を遮断	<p><内容> コントローラ内部の位置偏差カウンタがオーバーフローした場合に発生します。</p> <p><対策> 電動アクチュエータの移動が阻害されていないかご確認ください。また、電動アクチュエータの負荷、速度、加減速度が電動アクチュエータの仕様範囲内であるかご確認ください。 上記対策を実施した後も再発生する場合は、モータの故障が考えられますので、当社までご連絡ください。</p>
メモリ内容異常 (01-197)	メモリ異常	E	制御電源を遮断	<p><内容> EEPROM に関する異常が確認された場合に発生します。</p> <p><対策> 発生した場合は当社までご連絡ください。 (EEPROM の書き込み可能回数は 10 万回が目安です。)</p>

CPU 異常 動作 (01-198)	CPU 異常	E	制御 電源を 遮断	<p><内容> CPU が正常に動作していない場合に発生します。 (CPU および周辺回路の故障、またはノイズによる誤作動の可能性 があります。)</p> <p><対策> 電源を再投入しても再発生する場合は当社までご連絡ください。</p>
Alarm _Comment _0201 (01-201)	C9	E	制御 電源を 遮断	<p><内容> バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応コントローラにおいて、 電源投入時にアブソエンコーダからの値に異常を確認した場合に発 生します。</p> <p><対策> コントローラと電動アクチュエータの組合せが正しいことを確認して ください。 電源を再投入しても再発生する場合は当社までご連絡ください。</p>
Alarm _Comment _0202 (01-202)	CA	E	制御 電源を 遮断	<p><内容> バッテリーレスアブソリュートエンコーダ対応コントローラにおいて、 電源投入時にアブソエンコーダ内部データに異常を確認した場合に 発生します。</p> <p><対策> 電源を再投入しても再発生する場合は当社までご連絡ください。</p>

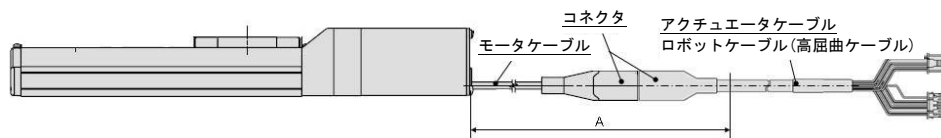
16. 配線・ケーブルのご注意/共通注意事項

⚠警告

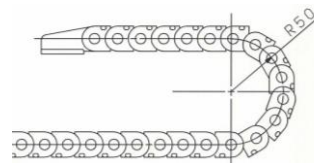
- ①調整、設置、点検、配線変更などは必ず本製品への電源供給を停止して実施してください。
感電・誤動作・破損する場合があります。
- ②ケーブルは絶対に分解しないでください。また、当社指定のケーブル以外は絶対に使用しないでください。
- ③ケーブル・コネクタは、通電中に抜き差しは絶対に行わないでください。

⚠注意

- ①配線は正しく確実に行ってください。各端子には、取扱説明書に決められた電圧以外は印加しないでください。
- ②コネクタの接続を確実に行ってください。
接続対象を十分に確認し、コネクタの向きに注意して接続ください。
- ③ノイズ処理を確実に行ってください。
ノイズが信号線にのると動作不良の原因となります。
対策として強電線と弱電線の分離、配線長さの縮小などを行ってください。
- ④動力線や高電圧線と同一配線経路で使用しないでください。
動力線・高圧線から信号ラインへのノイズ・サージ混入により誤作動の恐れがあります。コントローラおよび周辺機器の配線と動力線・高圧線は、別配線にしてください。
- ⑤ケーブル類の噛み込みには注意してください。
- ⑥ケーブルは容易に動かないよう固定して使用してください。また、アクチュエータからのケーブル取出し部では、鋭角的にケーブルを屈曲させて固定することは避けてください。
- ⑦ケーブルにヨジレ・ネジレ・折り目・回転・外力を加える、または鋭角に屈曲動作させることは避けてください。
感電の恐れ・ケーブルの断線・接触不良・暴走等の不具合が発生する場合があります。
- ⑧アクチュエータから出ているモータケーブルは、固定して使用してください。
モータケーブルはロボットケーブルではありませんので、可動すると断線の恐れがあります。
よって、下図 A 部分は可動配線ダクトに収納しないでください。



- ⑨アクチュエータケーブルを繰返し屈曲動作する場合には、“ロボットケーブル(高屈曲ケーブル)”を選定してください。また、規定半径(50mm 以上)より小さい可動配線ダクトに収納しないでください。
“標準ケーブル”で繰返し屈曲動作し使用しますと、感電の恐れ・ケーブルの断線・接触不良・暴走等の不具合が発生する場合があります。



- ⑩配線の絶縁性をご確認ください。

絶縁不良(他の回路と混触、端子間の絶縁不良等)があると、コントローラまたは周辺機器への過大な電圧の印加または電流の流れ込みにより、コントローラまたは周辺機器が破壊する可能性があります。

- ⑪ケーブル長さ・負荷・取付条件等により、速度・推力は変化する場合があります。
ケーブル長さ5mを超える場合は、速度・推力は5m毎に最大10%低下します。(15mの場合:最大20%減)

[運搬]

⚠注意

- ①モータやケーブルを持って運搬したり、引きずったりしないでください。

17. 電動アクチュエータ/共通注意事項

17.1 設計上のご注意

⚠警告

- ①取扱説明書(本書および電動アクチュエータ:LE シリーズ)は必ずお読みください。
取扱説明書に記載以外の取扱いおよび仕様範囲外での使用は、破壊や作動不良の原因となりますので行わないでください。
取扱説明書に記載以外・仕様範囲外で使用した場合の損害に関して、いかなる場合も保証しません。
- ②アクチュエータは機械の摺動部のこじれなどで力の変化が起こる場合、設定以上の速度にて作動して衝撃を伴う動作をする危険があります。
このような場合、手足を挟まれるなど人体に障害を与え、また機械の損傷を起こす恐れがありますので、機械動作の調整と人体に損傷を与えないような設計をしてください。
- ③人体に特に危険を及ぼす恐れのある場合には、保護カバーを取付けてください。
被駆動物体およびアクチュエータの可動部分が、人体に特に危険を及ぼす恐れがある場合には、人体が直接その場所に触れることができない構造にしてください。
- ④アクチュエータの固定部や連結部が緩まない確実な締結を行ってください。
特に、作動頻度が高い場合や振動の多い場所にアクチュエータを使用する場合には、確実な締結方法を採用してください。
- ⑤動力源の故障の可能性を考慮してください。
動力源に故障が発生しても、人体または装置に損害を引き起こさない対策を施してください。
- ⑥装置の非常停止時の挙動を考慮してください。
装置の非常停止をかけるか、または停電などのシステムの異常時に安全装置が働き、機械が停止する場合、アクチュエータの動きによって、人体および機器、装置の損傷が起こらないような設計をしてください。
- ⑦装置が非常停止、異常停止後に再起動する場合の挙動を考慮してください。
装置の再起動により、人体または装置に損害を与えないような設計をしてください。
- ⑧分解・改造の禁止
本体を分解・改造(追加工含む)しないでください。けがや事故の恐れがあります。
- ⑨装置の非常停止として停止信号を使用しないでください。
コントローラ EMG(停止)とティーチングボックスの停止スイッチはアクチュエータを減速停止させるものです。装置における非常停止については、関連規格に適合している非常停止回路を別途設置してください。
- ⑩垂直使用の場合は、安全装置を組込むことが必要です。
人体や機械装置に損害を与えない安全装置を組込んでください。

⚠注意

- ①使用できる最大ストローク以内でご使用ください。
最大ストロークを超えたストロークで使用しますと本体が破損します。最大ストロークは各アクチュエータの仕様を参照ください。
- ②電動アクチュエータを微小ストロークで繰り返し往復させる場合には、1日に1回以上または1,000回往復に1回以上フルストローク作動を行ってください。
グリース切れを起こす場合があります。
- ③過大な外力や衝撃力が加わる使用は行わないでください。
過大な外力や衝撃力により、本体が破損します。モータを含む各部品は、精密な公差で製作されていますので、わずかな変形・位置ズレでも作動不良の原因となります。
- ④動作中の原点復帰は出来ません。
位置決め運転中・押当て運転中および押当て中は出来ません。

- ⑤オートスイッチを組み込んでご使用になる場合は、オートスイッチ/共通事項(Best Pneumatics No(2))を参照ください。

17.2 取付

⚠警告

- ①取扱説明書をよく読んで、内容を理解した上で製品を取付け、ご使用ください。
また、いつでも使用できるよう保管してください。
- ②ねじの締付けおよび締付トルクの厳守
取付け時は、推奨トルクでねじを締付けてください。
- ③製品には追加工をしないでください。
製品に追加工しますと強度不足となり製品破損を招き人体および機器、装置に損傷を与える原因となります。
- ④ロッド軸芯と負荷・移動方向は、必ず一致させるよう連結してください。
一致していない場合は、送りねじおよびブッシュにこじれを生じ、磨耗、破損させる原因になります。
- ⑤外部ガイドを使用する場合、アクチュエータ可動部と負荷との連結は、ストロークのどの位置においてもこじることなく接続してください。
ボディおよびピストンロッド摺動部に物をぶついたり加えたりして傷や打痕をつけないでください。各部品は、精密な公差で製作されていますので、わずかな変形でも作動不良の原因となります。
- ⑥回転する部分(ピンなど)にはグリースを塗布して焼き付きを防いでください。
- ⑦機器が適正に作動することが確認されるまで使用しないでください。
取付けや修理後に電気を接続し、適正な機能検査を行って、正しい取付けがされているか確認してください。
- ⑧片持固定の場合
片側固定、片側自由の取付(フランジ形、フート形、二山クレビス形、ダイレクトマウント形)状態で高速作動させた場合、ストローク端で発生する振動により曲げモーメントがアクチュエータに働き破損させる場合があります。このような場合は、アクチュエータ本体の振動を押さえる支持金具を設置していただくか、アクチュエータが振動しない状態まで速度を下げてください。また、アクチュエータ本体を移動させる場合や、ロングストロークのアクチュエータを水平かつ片側固定で取付ける場合においても、支持金具を使用してください。
- ⑨製品本体やワーク取付の際には、強い衝撃や過大なモーメントをかけないでください。
許容モーメント以上の外力が働くと、ガイド部のガタの発生、摺動抵抗の増加などの原因となります。
- ⑩メンテナンススペースの確保
保守・点検に必要なスペースを確保してください。

17.3 使用上のご注意

⚠警告

- ①運転中にはモータ部に手を触れないでください。
表面温度が運転条件により約 90～100℃前後に上昇することがあります。また、通電だけでも表面は高温になることがあります。火傷をする恐れがありますので、通電中のモータ部には決して手や指などを触れないでください。
- ②異常な発熱、発煙、発火等の状況が発生した場合、直ちに電源を遮断してください。
- ③異音や振動が発生した場合は、直ちに運転を停止してください。
異音や振動が発生した場合は、製品の取付不良の可能性があり放置すると装置自体が破損する恐れがあります。
- ④運転中、モータ回転部には絶対に触れないでください。
- ⑤アクチュエータ・コントローラおよび関連機器の設置、調整、点検、保守に際しては、必ず各機器の電源を遮断し、作業員以外が投入復帰できないように施錠または安全プラグ等の措置に講じてください。
- ⑥サーボモータ(DC24V)タイプでは電源投入後、最初の SVON 信号の ON 時に磁極検出動作を行います。磁極検出動作は、最大でリード長さ分動作します(磁極検出中に障害物に押当たった場合、移動方向が反転します)。設置・使用する場合はこの動作を考慮してください。

⚠注意

- ①コントローラとアクチュエータは出荷時の組合せでご使用ください。
出荷時に各アクチュエータのパラメータを設定出荷しています。異なる組合せの場合、故障の恐れがあります。
- ②運転前には以下の点検を実施してください。
 - a)電動線および各信号線の損傷の有無
 - b)各電源および信号線のコネクタのガタ、緩みの有無
 - c)取付のガタ、緩みの有無
 - d)作動異常の有無
 - e)装置の非常停止
- ③複数の人員が作業を行う場合、その手順、合図および異常時の措置、左記措置からの復帰手順を予め定め、作業に従事している人以外に作業を監視する人を設けてください。
- ④設定速度に対し、実際の速度が負荷・抵抗の条件により満たない場合があります。
選定の際、選定方法・仕様を確認の上ご使用ください。
- ⑤原点復帰時に搬送負荷以外の負荷や衝撃・抵抗を加えないでください。
押当原点復帰の場合には、原点位置がずれることがあります。
- ⑥銘板を取外さないでください。
- ⑦アクチュエータの作動確認は低速で行い、問題がないことを確認した後、所定の速度にて運転してください。

[接地]

⚠警告

- ①アクチュエータの接地は必ず施してください。
- ②接地は専用接地としてください。接地工事は D 種接地です。(接地抵抗100Ω 以下)
- ③接地はできるだけアクチュエータの近くとし、接地までの距離を短くしてください。

[開梱]

⚠注意

- ①現品が注文どおりのものかどうか、確認してください。
間違った製品を設置した場合、けが、破損等の恐れがあります。

17.4 使用環境

⚠警告

①下記雰囲気での使用は避けてください。

1. ゴミ、ほこりが多い場所や切粉が入りそうな場所。
2. 周囲温度が各機種仕様温度(仕様表参照)範囲を超える場所。
3. 周囲湿度が各機種仕様湿度(仕様表参照)範囲を超える場所。
4. 腐食性ガス・可燃性ガス・海水・水・水蒸気の雰囲気または付着する場所。
5. 強磁界、強電界の発生する場所。
6. 直接振動や衝撃が伝わるような場所。
7. 塵埃の多い場所や水滴・油滴のかかる場所。
8. 直射日光(紫外線)のあたる場所。
9. 標高 1000m を超える場所
放熱性および耐電圧の低下の恐れがあります。
詳細につきましては、当社へ問合せください。

②切削油などの液体が直接かかる環境では使用しないでください。

切削油、クーラント液、オイルミストなどが付着する環境では、故障や摺動抵抗の増加などの原因となります。

③粉塵、塵埃、切粉、スパッタなどの異物が直接かかる環境では、カバー等を設置してください。

ガタの発生、摺動抵抗の増加などの原因となります。

④直射日光の当たる場所では、日光を遮断してください。

⑤周囲に熱源がある場合は遮断してください。

周囲に熱源がある場合は、輻射熱により製品の温度が上昇することで使用温度が上昇して範囲を超える場合がありますので、カバー等で遮断してください。

⑥外部環境および運転条件などによりグリース基油の減少が促進され、潤滑性能が低下して機器寿命に影響を与える場合があります。

[保管]

⚠警告

①雨や水滴のかかる場所、有害なガスや液体のある場所では保管しないでください。

②日光の直接当たらない場所や、決められた温湿度範囲内(-10℃~60℃、35~85%結露・氷結のないこと)で保管してください。

③保管中は振動、衝撃を与えないでください。

17.5 保守・点検のご注意

⚠警告

①分解修理は行わないでください。

発火や感電の原因になります。

②配線作業や点検は、電源 OFF 後5分以上経過した後にテスト等電圧を確認してから行ってください。

感電の原因となります。

⚠注意

①保守点検は取扱説明書の手順で行ってください。

取扱いを誤ると、人体の損害の発生および機器や装置の破壊や作動不良の原因となります。

②機器の取外し

機器を取外す時は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認し、設備の電源を遮断してから行ってください。再起動する場合は安全であることを確認してから注意して行ってください。

③電動アクチュエータ移動子を手動で動かす場合、アクチュエータケーブルを外して行ってください。

電動アクチュエータとコントローラを接続した状態で移動子を動かした場合、モータ誘起電圧がコントローラに回り込むことによって、スムーズに電動アクチュエータを動かすことができません。また、高頻度で動かした場合この誘起電圧でコントローラが故障する恐れがあります。

[給油]

⚠注意

①初期潤滑されていますので無給油で使用できます。

給油される場合は当社に確認願います。

17.6 ロック付アクチュエータのご注意

⚠警告

①ロックの制動力を利用する制御、安全ブレーキとしては使用しないでください。

ロック付アクチュエータのロックは、落下防止を目的として設計されています。

②垂直方向で使用する際は、ロック付アクチュエータの使用をお勧めいたします。

ロック付でないアクチュエータをご使用の際は、電源 OFF 時に保持力がないためワークが落下する恐れがあります。ロック付を使用しない場合は、落下しても安全上支障のない装置設計をしてください。

③落下防止とはアクチュエータの動作を停止させて電源を OFF した際、振動や衝撃をとまなわれない状態でワークの自重落下を防ぐことを意味します。

④ロック保持の状態では衝撃を伴う荷重や強い振動をあたえないでください。

外部より衝撃的をとまなう荷重や強い振動が作用すると保持力の低下、ロック摺動部の破損や寿命が低下します。保持力を超えてスリップさせた場合についてもロック摺動部の磨耗が促進するため保持力の低下、ロック機構の寿命が低下しますのでご注意ください。

⑤ロック部、または、その付近に液体、油脂類を塗布しないでください。

ロック摺動部に液体、油脂類が付着すると保持力が著しく低下します。

⑥製品の取付、調整、点検時には、落下防止対策を施し、十分に安全を確保した上で作業を実施してください。

取付姿勢を垂直方向とした状態でロックを解除するとワークが自重落下する恐れがあります。

⑦手動でアクチュエータを動かす場合(SVRE 信号 OFF 時)、電源コネクタ[LK RLS]端子に電源 DC24V を供給してください。

ロックを解除せずに動かした場合、ロック摺動部の磨耗が促進するため保持力の低下、ロック機構の寿命が低下しますのでご注意ください。

⑧[LK RLS]を常時接続しないでください。

通常運転時は必ず[LK RLS]の電源 DC24V の供給を停止してください。[LK RLS]に電源を供給したままですとロックが強制解除されるため、停止(EMG)時にワークが自重落下する恐れがあります。

/配線方法については、コントローラ(JXC シリーズ)取扱説明書を確認ください。

18. コントローラおよび周辺機器/個別注意事項

18.1 設計上のご注意/選定

⚠警告

①規定の電圧で使用してください。

規定以外の電圧で使用すると誤動作・破損の恐れがあります。

印加電圧が規定より低い場合は、コントローラ部の内部電圧降下により、負荷が動作しない場合がありますので、動作電圧を確認して使用してください。

②仕様範囲を超えて使用しないでください。

仕様範囲を超えて使用すると、発火、誤動作、アクチュエータ破損の原因となります。仕様を確認の上、ご使用ください。

③非常停止回路を設置してください。

即時にアクチュエータの運転を停止し、電源を遮断できるように外部に非常停止回路を設置してください。

④コントローラがある確率で発生する故障・誤動作による危害・損害を防止するために、機器・装置を

多重系にする、フェール・セーフ設計するなどのバックアップシステムを事前に構築してください。

⑤コントローラおよび周辺機器の異常な発熱、発煙、発火などにより、火災や人体の危険が予想される

場合は、本体ならびにシステムの電源を即座に遮断してください。

⑥JXC_{PH}コントローラのEEPROMへの書き込み制限回数は100,000回です。

上記書き込み制限回数を超えてしまう場合は、正しく書き込みが出来ない恐れがあります。

18.2 取扱い上のご注意

⚠ 警告

- ①コントローラ内部およびコネクタ部に手を触れないでください。
感電、もしくは故障の原因となります。
- ②濡れた手で操作・設定をしないでください。
感電の原因となります。
- ③損傷、部品が欠けている製品は使用しないでください。
感電、発火、けがの原因となります。
- ④電動アクチュエータとコントローラは指定された組合せで使用してください。
アクチュエータ、もしくはコントローラ故障の原因となります。
- ⑤アクチュエータ動作時は、ワークに挟まれる、または接触しないように注意してください。
けがの恐れがあります。
- ⑥ワーク移動範囲の安全確認を行った後に、電源を接続、または電源スイッチをONしてください。
ワークが移動することで、事故の原因となります。
- ⑦通電中や電源遮断後しばらくの間高温となるため、本体に触れないでください。
高温によるやけどの恐れがあります。
- ⑧取付け、配線、点検作業は電源遮断後、5分以上経過した後にテスト等で電圧を確認してから行ってください。
感電、発火、けがの原因となります。
- ⑨埃・粉塵・水・薬液・油の飛散する場所では使用しないでください。
故障、誤動作の原因となります。
- ⑩磁界が発生している場所では使用しないでください。
誤作動、故障の原因となります。
- ⑪可燃性ガス・爆発性ガス・腐食性ガスの雰囲気では使用しないでください。
発火、爆発、腐食の恐れがあります。
- ⑫直接日光や熱処理炉等、大きな熱源からの輻射熱が加わらないようにしてください。
コントローラまたは周辺機器の故障の原因となります。
- ⑬温度サイクルがかかる環境下では使用しないでください。
コントローラまたは周辺機器の故障の原因となります。
- ⑭サージ発生源がある場所では使用しないでください。
大きなサージ電圧を発生させる装置(電磁式リフター・高周波誘導炉・モータなど)がある場合、コントローラおよび周辺機器内部回路素子の劣化または破壊の恐れがありますので、発生源のサージ対策を考慮頂くと共にラインの混触をさけてください。
- ⑮外部からの振動や衝撃が伝わらない環境にてご使用ください。
誤作動、故障の原因となります。
- ⑯リレー、電磁弁をコントローラ組合せして使用する場合は、サージ吸収素子内蔵タイプの製品をご使用ください。

18.3 取付

⚠警告

- ①コントローラおよび周辺機器は不燃物に取付けてください。
可燃物への直接取付け、また可燃物近くへの取付けは発火の原因となります。
- ②振動、衝撃のない場所を取付けてください。
誤作動、故障の恐れがあります。
- ③コントローラおよび周辺機器の使用温度が仕様を示す範囲以内となるように冷却の配慮をお願いします。
コントローラまたは周辺機器の故障、発火の原因となります。
- ④大型の電磁接触器やノーヒューズ遮断機などの振動源と、コントローラおよび周辺機器は別パネルにするか、離して取付けてください。
- ⑤コントローラおよび周辺機器は平らな面を取付けてください。
取付け面に凹凸や歪みがあると、ケース等に無理な力が加わり故障の原因となります。

18.4 配線

⚠警告

- ①ケーブルは、傷つけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、繰返しの曲げや引張力が加わらないようにしてください。
感電、発火、断線の原因となります。
- ②誤配線をしないでください。
誤配線の内容によっては、コントローラまたは周辺機器が破壊する可能性があります。
- ③配線作業は通電中に行わないでください。
コントローラまたは周辺機器が破損し誤動作する可能性があります。
- ④運搬時は、ケーブルを持たないでください。
けが、故障の原因となります。
- ⑤動力線や高電圧線と同一配線経路で使用しないでください。
動力線・高圧線から信号ラインへのノイズ・サージ混入により誤動作の恐れがあります。
コントローラおよび周辺機器の配線と動力線・高圧線は、別配線にしてください。
- ⑥配線の絶縁性を確認してください。
絶縁不良(他の回路と混触、端子間の絶縁不良等)があると、コントローラまたは周辺機器への過大な電圧の印加または電流の流れ込みによりコントローラまたは周辺機器が破壊する可能性があります。

18.5 電源

⚠注意

- ①線間および大地間ともノイズの少ない電源としてください。
ノイズの多い場合は絶縁トランスを接続してください。
- ②コントローラ入力電源と入出力信号用電源は、系統を分離して配線を行ってください。
- ③雷によるサージ対策を行ってください。この時、雷用サージアブソーバの接地とコントローラおよび周辺機器の接地とは分離してください。

18.6 接地

⚠警告

- ①コントローラのノイズ耐性を確保するため接地は必ず施してください。
感電、もしくは発火の原因となります。
- ②接地は専用接地としてください。
接地工事はD種接地です。(接地抵抗100Ω以下)
- ③接地はできるだけコントローラまたは周辺機器の近くとし、接地までの距離を短くしてください。
- ④万一、接地により誤動作するようなことがある場合は、接地と切り離してください。

18.7 保守点検

⚠警告

- ①保守点検を定期的実施してください。
配線、ねじの緩みがないことを確認してください。
システム構成機器の誤動作の原因となる可能性があります。
- ②保守点検完了後に適正な機能検査を実施してください。
正常に装置・機器が動作しないなど、異常の場合は運転を停止してください。
意図しない誤動作により、安全が確保できなくなる可能性があります。
非常停止指示を与え、安全確認を行ってください。
- ③コントローラおよび周辺機器の分解・改造・修理はしないでください。
- ④コントローラ内部に導電性異物や可燃性異物を混入しないでください。
発火、爆発の原因となります。
- ⑤絶縁抵抗試験および絶縁耐圧試験は行わないでください。
- ⑥保守スペースを確保してください。
保守点検に必要なスペースを考慮した設計をしてください。

19. バッテリレスアブソリュートエンコーダ/個別注意事項

⚠警告

① 強磁界の環境では使用しないでください。

本バッテリレスアブソリュートエンコーダは磁気センサを使用しています。

そのためアクチュエータのモータ部を強磁界環境で使用すると、誤動作や故障が発生いたします。

主な状況としては、

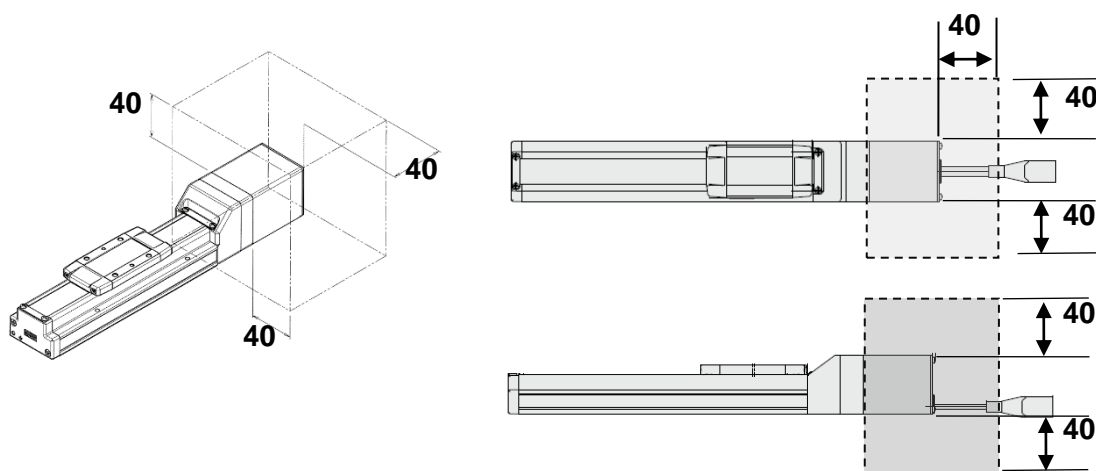
- ・搬送能力(推力、速度)の低下
- ・位置ズレによるワークへの衝突より、アクチュエータの破損

などが発生します。

アクチュエータのモータ部に磁束密度 1mT 以上の磁場をかけないように設置してください。

(例 1)

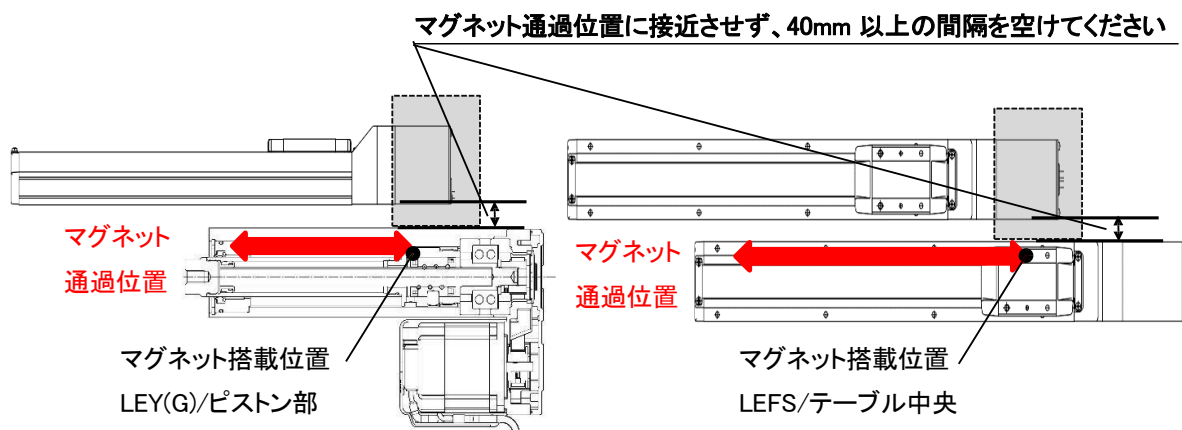
オートスイッチ付きエアシリンダ(CDQ2)と並べて設置する場合は、40mm 以上の間隔を空けてください。



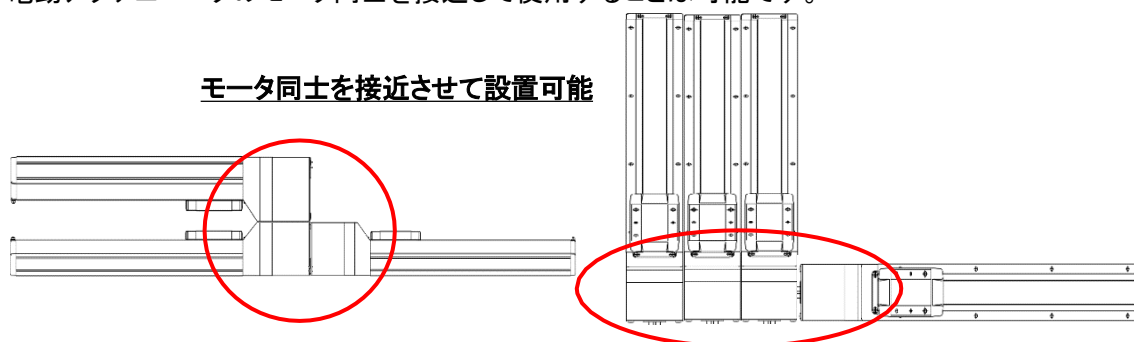
エアシリンダ設置禁止領域

(例 2)

オートスイッチ用マグネット搭載の電動アクチュエータ LEY(G)、LE□F シリーズを並べて設置する場合は、マグネットが通過する位置に対して 40mm 以上の間隔を空けてください。



電動アクチュエータのモータ同士を接近して使用することは可能です。



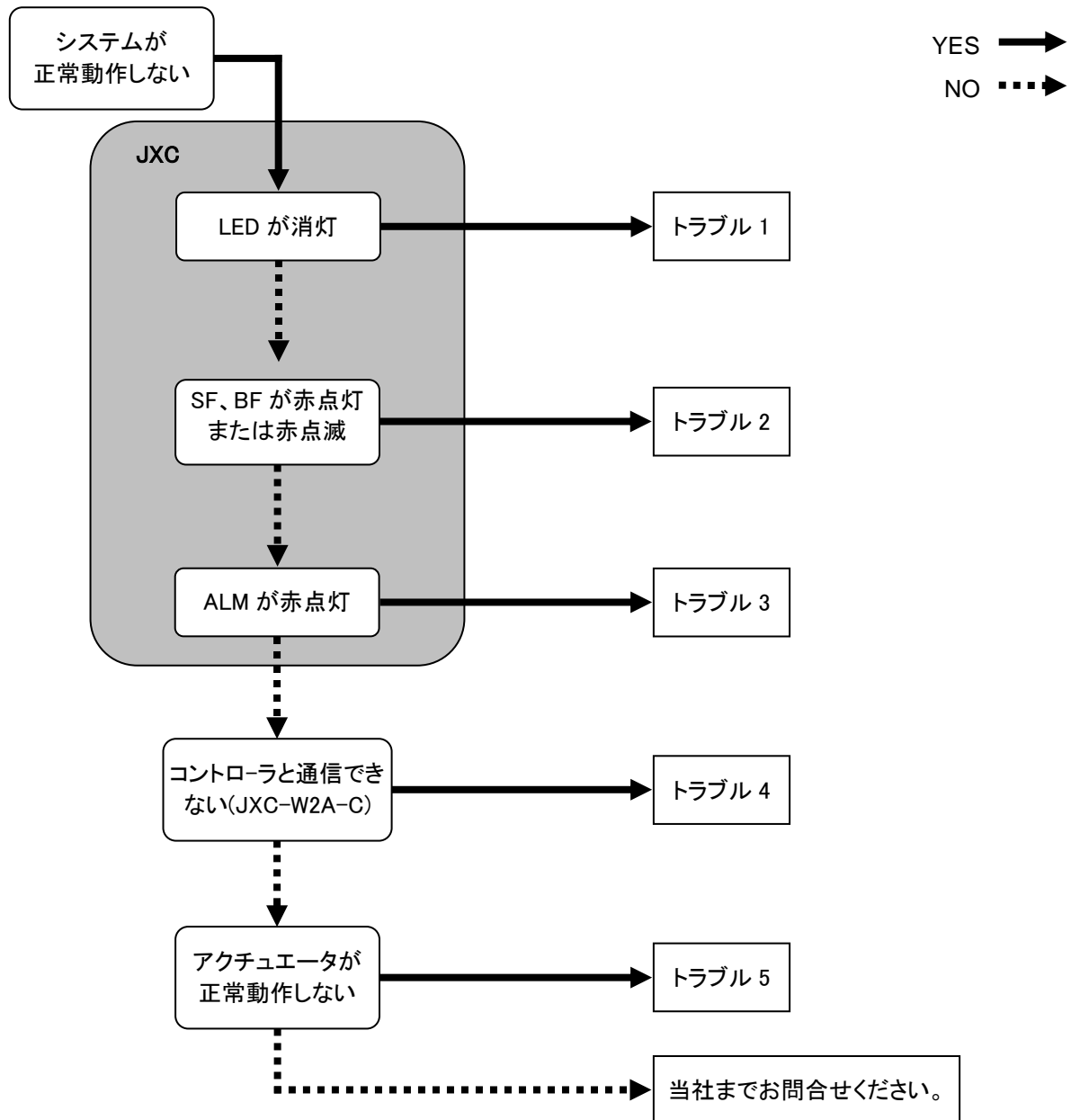
- ① コントローラとアクチュエータ間のコネクタ接続に緩みがないことを確認ください。
モータ動力線に接触不良が発生すると、モータへの電力不足により保持力が低下します。
これにより、垂直運転の場合、アクチュエータ可動部が下降します。
(このときロック付きアクチュエータでもロックが働きません。)
また、接触不良よって発生するサージ電圧によりコントローラが破損する場合があります。

20. トラブルシューティング

動作不良が発生した場合は、以下のフローチャートでトラブル現象を選択してください。

トラブル現象に該当する原因が確認されず、製品交換により正常復帰する場合、製品自体の故障発生が考えられます。

製品故障は、ご使用環境(アプリケーション)により発生する場合がありますので、その場合の対策内容は別途ご相談ください。



トラブル No.	トラブル 現象	トラブル 推定原因	原因の調査方法・箇所	対策
1	PWR ALM BF SF の LED が消灯	電源不良	コントローラの PWR(緑)が、電源投入時、SVON の ON 指示時、アクチュエータ動作時のいずれかで消灯していないか確認。	接続アクチュエータ及び本コントローラの取扱説明書を参照し、適切な電圧及び電源容量の電源を使用してください。 ⇒ 3. 製品仕様 ⇒ 5. 外部接続図
		配線不良	電源プラグ配線に誤配線、断線、短絡がないか確認。	コントローラの取扱説明書を参照し、配線を修正してください。 ⇒ 5. 外部接続図 ⇒ 6. PWR: 電源プラグ詳細
2	BF 赤点灯	通信データ 未受信	通信ケーブルについて、下記を確認。 ・PLC から本コントローラに通信ケーブルが接続されていること ・PLC の通信速度が適切なこと ・断線、短絡がないこと ・コネクタ接合部に緩みがないこと ・ケーブルに繰返し曲げ応力および引張力がかからないこと	コントローラの取扱説明書を参照し、通信ケーブルの配線・接続を修正、もしくは交換してください。 ⇒ 5. 外部接続図 また、PLC の通信速度の設定に異常があった場合は、PLC の取扱説明書参照し、設定を修正してください。
			通信、電源ライン周辺にノイズを発生させるような機器、高圧線等がないか確認。	通信、電源ケーブルをノイズ源から離す、遮蔽する等を実施してください。
			PLC の電源状態に異常が無い確認。	PLC の取扱説明書を参照し、電源及び電源配線を修正してください。
	BF 赤点滅	PROFINET 通信異常	Device name の設定がされているか確認。	重複のない Device name を設定してください。
			通信ケーブルについて、下記を確認。 ・PLC から本コントローラに通信ケーブルが接続されていること ・PLC の通信速度が適切なこと ・断線、短絡がないこと ・コネクタ接合部に緩みがないこと ・ケーブルに繰返し曲げ応力および引張力がかからないこと	コントローラの取扱説明書を参照し、通信ケーブルの配線・接続を修正、もしくは交換してください。 ⇒ 5. 外部接続図 また、PLC の通信速度の設定に異常があった場合は、PLC の取扱説明書参照し、設定を修正してください。
			通信、電源ライン周辺にノイズを発生させるような機器、高圧線等がないか確認。	通信、電源ケーブルをノイズ源から離す、遮蔽する等実施してください。
			PLC の電源状態に異常が無い確認。	PLC の取扱説明書を参照し、電源及び電源配線を修正してください。
SF 赤点灯	アラーム 発生	アラームの内容確認	コントローラの取扱説明書を参照し、アラーム内容に従って適切な対策を行ってください。 ⇒15.モータ制御に関するアラーム検出詳細	
3	ALM の点灯	アラーム 発生	コントローラの取扱説明書を参照してアラームの種類を確認してください。	コントローラの取扱説明書を参照し、内容に従って適切な対策を行ってください。 ⇒15.モータ制御に関するアラーム検出詳細

4	コントローラと通信できない (JXC-W2A-C)	USBドライバの未インストール	通信ユニットのUSBドライバのインストールはできていますか。	通信ユニットのUSBドライバをインストールしてください。 通信ユニットをPCに接続するとUSBドライバのインストールが始まります。インストール手順は[JXC-W2 設定ソフト インストール手順]を確認ください。
		COMポート誤設定	設定ソフトにCOMポート設定ができていますか。	通信ユニットに割り当てられるCOMポートは、PCにより異なります。通信ユニットを接続した状態で、COMポート番号を確認ください。 COMポート番号は、PC内のデバイスマネージャーで確認できます。COMポート番号の確認方法および設定方法につきましては、[JXC-W2 設定ソフト インストール手順]を確認ください。
		接続不良	接続状況を確認ください。	モータコントローラ(JXC)=通信ケーブル=通信ユニット=USBケーブル=PCの接続ができていることを確認ください。コネクタ部などが損傷していると通信できません。 モータコントローラ(JXC)の電源が投入されていることを確認ください。電源OFF中は通信ができません。 PCにモータコントローラ(JXC)以外の機器(PLCや計測機器)が接続しているようであれば、外して確認ください。(PC内で他の機器との通信が干渉している可能性があります。)
5	全く動かない	ロック解除異常	ロックの解除スイッチをON、OFFした時にロックから解除音がしますか。	アクチュエータからロック解除音がしない場合はロック故障の可能性があります。 ⇒異常が続く場合は当社までご連絡ください。
		外部装置不良	コントローラに接続しているPLCが正常に動作していますか。 コントローラ単体でのテスト運転で動作を確認してください。	コントローラの取扱説明書を参照し、内容に従って適切な対策を行ってください。 ⇒9.1 メモリ割付
		仕様の不一致	適切な仕様の製品を選択しているか、供給電源仕様、およびアクチュエータとコントローラの組合せを再確認してください。	コントローラの適応アクチュエータの型式品番とアクチュエータの型式品番の組合せが正しいことをご確認ください。 ⇒3.製品仕様
		停止指示中	EMG端子が非通電の場合、停止状態(サーボOFF)となり動作しません。EMG端子にDC24Vを通電しているか確認してください。	EMG端子にDC24Vを通電してください。

5

時々動かなくなる

配線不良	配線は正しく接続されていますか。 コントローラの取扱説明書を参照し配線の再確認および断線、短絡の確認を行ってください。	配線を修正し、各信号の入出力が正しく行われることを確認してください。 ⇒ <u>5.外部接続図</u> ⇒ <u>9.1 メモリ割付</u>
ノイズ対策	確実な接地を行ってください。 ケーブル類の束線は避けてください。	コントローラの取扱説明書を参照し、内容に従って適切な対策を行ってください。 ⇒ <u>3.4 取付方法</u>
パラメータ誤入力	適切なパラメータ値が入力されていますか。 アクチュエータとコントローラの組合せを再確認してください。	正しいパラメータを再入力し動作を確認してください。 ⇒ <u>10.設定データ入力</u>
電圧降下	電源に一時的な電圧降下が発生していませんか。 (電源の一時的な電圧降下により CN1:電源コネクタの EMG 端子が OFF し、停止となりますが電圧が復帰する事により停止が解除されます。)	電動アクチュエータ仕様の最大電力と比べて電源の電源容量が不足しているため、瞬間的な電圧降下が発生している可能性があります。 ⇒ <u>3.製品仕様</u>
押当て運転不良	押当て運転時、INP が ON となっていますか。 (INP によって押当て運転の完了を検出している場合、PLC は運転の完了を確認できません。)	押当て運転の確認は、省電力モードが有効となる前に行ってください。 ⇒ <u>9.1 メモリ割付</u>
仕様の不一致	適切な仕様の製品を選択しているか、供給電源仕様、およびアクチュエータとコントローラの組合せを再確認してください。	コントローラの適応アクチュエータの型式品番とアクチュエータの型式品番の組合せが正しいことをご確認ください。 ⇒ <u>3.製品仕様</u>
信号タイミング	上位機器(PLC)からコントローラに指示する信号のタイミングを確認ください。	PLC の処理遅れやコントローラのスキャン遅れが発生するため、通信サイクルタイムの 2 倍以上、入力信号の間隔および信号状態の維持を設けてください。 ⇒ <u>11.4 コントローラの入力信号に対する応答時間について</u>

	SVON 時間	SVON 入力を ON した後、SVRE 出力が ON となってから、動作指示をしてるか確認してください。	電源投入直後は、SVON 入力から SVRE 出力まで、電動アクチュエータの位置により 10 秒程度(最大 20 秒)要することがあります。SVRE 出力が ON となってから、動作指示をしてください。
	アラーム発生	コントローラに発生したアラームの種類を確認してください。	コントローラ取扱説明書を参照し、アラームの種類をご確認ください。内容に従って適切な対策を行ってください。 ⇒15.モータ制御に関するアラーム検出詳細
5	送り位置がずれる	原点位置ズレ	押当原点復帰の場合、アクチュエータが原点位置まで駆動していますか。原点復帰を数回行い原点位置の確認を行ってください。
	パラメータ誤入力	適切なパラメータ値、または正しいプログラムが入力されていますか。アクチュエータの最大速度、最大加速度、最大減速度について再確認してください。	正しいパラメータを再入力し動作を確認してください。 ⇒10.設定データ入力
	仕様の不一致	適切な仕様の製品を選択しているか、供給電源仕様、およびアクチュエータとコントローラの組合せを再確認してください。	コントローラの適応アクチュエータの型式品番とアクチュエータの型式品番の組合せが正しいことをご確認ください。 ⇒3.製品仕様
正しい位置に動作しない	配線不良	配線は正しく接続されていますか。コントローラ取扱説明書を参照し配線の再確認および断線、短絡の確認を行ってください。	配線を修正し、各信号の入出力が正しく行われることを確認してください。 ⇒5.外部接続図 ⇒9.1 メモリ割付
	仕様の不一致	適切な仕様の製品を選択しているか、供給電源仕様、およびアクチュエータとコントローラの組合せを再確認してください。	コントローラの適応アクチュエータの型式品番とアクチュエータの型式品番の組合せが正しいことをご確認ください。 ⇒3.製品仕様
	信号タイミング	上位機器(PLC)からコントローラに指示する信号のタイミングを確認ください。	PLC の処理遅れやコントローラのスキャン遅れが発生するため、通信サイクルタイムの 2 倍以上、入力信号の間隔および信号状態の維持を設けてください。 ⇒11.4 コントローラの入力信号に対する応答時間について
	データ書き込み不良	データ(ステップデータ、パラメータ)が正しく書き込まれているか確認してください。データを書き込み中(電源 LED(緑)が点滅中)に、コントローラ入力電源を OFF した、またはケーブルを挿抜した可能性があります。	再度正しいデータ(ステップデータ、パラメータ)を入力し動作を確認してください。 ⇒3.2 各部詳細 ⇒10.設定データ入力

5	速度がでない	パラメータ誤入力	適切なパラメータ値が入力されていますか。 アクチュエータの最大速度、最大加速度について再確認してください。	正しいパラメータを再入力し動作を確認してください。 ⇒10.設定データ入力
		運転パターン不適合	運転パターンが三角駆動などになっていないか確認してください。最大速度に達する前に減速し始めている可能性があります。	移動距離を長くするか、加速度を大きく設定してください。 ⇒10.設定データ入力
		仕様の不一致	適切な仕様の製品を選択しているか、供給電源仕様、およびアクチュエータとコントローラの組合せを再確認してください。	コントローラの適応アクチュエータの型式品番とアクチュエータの型式品番の組合せが正しいことをご確認ください。 ⇒3.製品仕様
		電圧降下	電源に一時的な電圧降下が発生していませんか。 (電源の一時的な電圧降下により CN1:電源コネクタのEMG端子がOFFし、停止となりますが電圧が復帰する事により停止が解除されます。)	電動アクチュエータ仕様の最大電力と比べて電源の電源容量が不足しているため、瞬間的な電圧降下が発生している可能性があります。 ⇒3.製品仕様

21. 送受信データの取扱いについて

送受信データには、データの内容により 1byte データ、2byte データ、4byte データがあります。特に、2byte データ、4byte データ、マイナス値データの取扱いについて下記に説明します。

(1)2byte データ

速度、加速度、減速度等の 2byte データについては、下記の例のように取扱います。

例) Output データの“速度”:Byte6,Byte7 に 100mm/s のデータを入力する場合

100mm/s は 16 進数で 0064h です。

00 64 h のデータのは、下記の通りです。

	速度	
Byte6	00h	
Byte7	64h	
	Bit7	Bit0

(2)4byte データ

“位置”等の 4byte データについては、下記の例のように取扱います。

例) Output データの“位置”:Byte8~Byte11 に 700.00mm のデータを入力する場合

“位置”は、0.01mm 単位のデータとしています。

700.00mm を表す値は 10 進数で 70000 となり、16 進数では 00011170h となります。

00 01 11 70 h のデータの送信は下記の通りです。

	位置	
Byte8	00h	
Byte9	01h	
Byte10	11h	
Byte11	70h	
	Bit7	Bit0

(3)マイナス値データ

マイナス値データについては、下記の例のように取扱います。

例では 4byte のマイナス値データについて説明します。

例) Output データの“位置”:Byte8~Byte11 に **-700.00mm(マイナス値)** のデータを入力する場合

“位置”は、0.01mm 単位のデータとしています。

マイナス値は 2 の補数で表現します。

-700.00mm を表す値は 10 進数で-70000 となり、16 進数では FFFEEE90h となります。

FF FE EE 90 h のデータの送信は下記の通りです。

	位置	
Byte8	FFh	
Byte9	FEh	
Byte10	EEh	
Byte11	90h	
	Bit7	Bit0

22. 用語集

本書で使用する主な用語は以下のとおりです。

	用語	定義
D	Device name デバイスネーム	システム内でユーザが任意に設定する、PROFINET スレーブ機器の名称です。
E	Ethernet	IEEE802.3として標準化されている LAN の規格。 現在使用されているほとんどの LAN が Ethernet です。
G	GSDML ファイル	PROFINET スレーブ機器の情報や通信の設定、また、PROFINET 経由で設定可能なパラメータ等が記載されたファイルです。
I	IP address IP アドレス	ネットワーク上の機器を識別するために指定するネットワーク層における識別用の番号です。MAC アドレスを物理アドレスというのに対応して、論理アドレスとも呼ばれます。
M	MAC address MAC アドレス	ネットワーク機器のハードウェアに一意に割り当てられる物理アドレスです。 ネットワーク上で、各ノードを識別するために設定されています。
	MRP	Media Redundancy Protocol リングネットワーク障害時に高速な経路切替を行い、通信を維持する機能です。
P	PLC	Programmable Logic Controller の略。論理演算や順序操作、算術演算などのプログラムに従って、逐次制御を行うコントローラです
つ	通信速度	フィールドバスなどで、データを送受信する速度です。上位機器(PLC など)に依存し、単位は bps(bit per second)を使用します。
	通信サイクルタイム	上位機器からコントローラにデータを送信する周期のことです。
と	トポロジー	コンピュータネットワークの接続形態です。 各端末や制御機器がどのような形態で接続されるかをあらわします。 代表的なトポロジーには、スター型、バス型、リング型などがあります。
ふ	フィールドバス	工場などで稼動している現場機器(測定器、操作器)と PLC 間の信号のやり取りをデジタル信号にて行う規格です。

商標

本書に記載されている会社名、システム名、製品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文では「™」、 「®」は明記していません。

・PROFINET は、PROFIBUS and PROFINET International のライセンスに基づいて使用される商標です。


改訂履歴

A 版 : 記載内容変更[2023 年 2 月]

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>

本社 / 〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX 15F

 **0120-837-838**

受付時間 9:00~17:00 (月~金曜日)

⑨ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© 2021 SMC Corporation All Rights Reserved



No. JXC※-OMY0003-A